

RRI

Bank of the Ryukyus' Okinawan Economic Review

りゅうぎん調査

2024
No.658

8

Ryugin Research Institute



経営 トップに聞く

株式会社フードリボン 代表取締役社長 宇田 悦子 氏

特集1 沖縄県におけるスポーツツーリズムの実態調査

特集2 沖縄県内における 2024 年プロ野球春季キャンプの経済効果



りゅうぎん総合研究所

琉球銀行グループ
BANK OF THE RYUKYUS GROUP

CONTENTS

経営トップに聞く 株式会社フードリボン 01

～捨てられていた資源に新たな息吹を吹き込み循環型社会の実現を目指す～

代表取締役社長 宇田 悦子 氏

特集1 沖縄県におけるスポーツツーリズムの実態調査 07

りゅうぎん総合研究所 研究員 我謝 和紀

特集2 沖縄県内における 2024 年プロ野球春季キャンプの経済効果 32

りゅうぎん総合研究所 研究員 城間 櫻

アジア便り 台湾 41

～台湾の経済・半導体産業の動向について～

レポーター:金城 俊(琉球銀行法人事業部)

則和企業管理顧問有限公司(琉球銀行業務提携先/台湾現地コンサルタント会社)へ出向中

新時代の教育研究を切り拓く 43

1.マルキデスOIST学長がJ-PEAKSキックオフシンポジウムに参加

2.エネルギー効率を飛躍的に高める革新的なEUVリソグラフィー先端半導体製造技術を発表

沖縄科学技術大学院大学 コミュニケーション・広報ディビジョンメディアセクション

(同大学のHP記事より許可を得て転載)

県内大型プロジェクトの動向167 48

行政情報176 50

内閣府沖縄総合事務局経済産業部

沖縄県の景気動向 (2024年6月) 54

～景気は、緩やかに拡大している(10カ月連続)～

学びバンク 66

・なんみん祭 ～地域の融和と発展願う～

琉球銀行 若狭支店 支店長 糸数 幸弘

・シェアリングサービス ～持続可能な消費の手段～

琉球銀行 総合企画部 サステナビリティ推進室 梶川 日菜子

・台湾の商戦期 ～「週年慶」県産品に商機～

琉球銀行 法人事業部、台湾現地コンサルタント会社へ出向中 金城 俊

・勝連城跡周辺事業 ～PFI活用 多くの効果～

琉球銀行 赤道支店 支店長 吉山 朋幸

経営情報 相続登記の義務化 68

提供 太陽グラントソントン税理士法人

県内の主要金融経済指標 70

捨てられていた資源に

新たな息吹を吹き込み

循環型社会の実現を目指す。



株式会社フードリボン
代表取締役社長 宇田 悦子 氏

株式会社フードリボンは農業資源活用の研究開発及び企画・製造を手がける法人である。「捨てるものがない、循環型の社会」の実現を目指し、パイナップルの葉やシークワサーの搾りかすなどの未利用農産資源に着目し、それらを利用した天然繊維の開発や、飲料やカトラリーなどの商品開発をおこなっている。パイナップルの葉などから高品質の天然繊維を効率良く取り出す独自の特許技術を開発し、2024年5月に同社初となる本社工場を大宜味村に開所した。今回は、新本社を訪ね、宇田社長に自社の設立経緯や経営理念、本社工場のコンセプトなどについて伺った。

(※本社工場の詳細は本紙48ページ「県内大型プロジェクトの動向」にて掲載)

インタビューとレポート 我謝 和紀

御社の設立経緯についてお聞かせください。

当社は2017年に設立いたしました。創業の原点には、ある沖縄の「おばあ」との出会いがありました。

私は神奈川県出身で、創業前は美容関係の企業に11年間勤めていました。もともと独立志向が強く、3人目の子供の出産を機に退職し、その後に個人事業を開始し、農産物を粉末化する会社の業務を受託しました。その業務の過程で、日本各地の農業現場では廃棄されている

ものが多くあることを知りました。その一つがシークワサーで、果実の9割は果汁として出荷されるが、その半分の量は搾りかすとして廃棄されていました。廃棄される果皮にはノビレチンなどの有用成分が多く含まれているということを専門家に伺い、シークワサーの一大生産地である沖縄県大宜味村へ出張で訪れ、村の産業まつりに参加してシークワサーの果皮パウダーを無料で村民に配っていた時、一人のおばあが声をかけてくれました。



2024年5月に開所した本社工場（大宜味村字田港）

「あなたたちのやっていることは素晴らしいわ。私も自宅でシークワサーの果皮を使って料理に使ったりして工夫しているのよ。よかったら家に一回いらっしやい。」

その言葉に甘えて、後日家に伺いました。驚いたことに、そこには粉碎機をはじめ様々な道具が置いてありました。素材の魅力をよく知っているからこそ、おばあが作ったシークワサーの粉は私たちが作るよりも色鮮やかで、風味や香りがしっかりと残っていました。その他にもカラキの樹皮を使ったりキュールなどをご馳走してくれて、他人の私を家族のようにもてなしてくれました。大宜味村ではそういった経験をいくつもさせてもらい、学びになると同時にすごく温かい気持ちになりました。

ある日、おばあに何のためにこの仕事をしているのかを問われ、とっさに「大宜味村のために」と答えました。その瞬間、何もできていないのにそう答えた自分に、驕っているところがあることに気づきとても恥ずかしくなりました。

改めて「何のために」を自分に問いかける中で、まず「地域からたくさんのことを教わり、

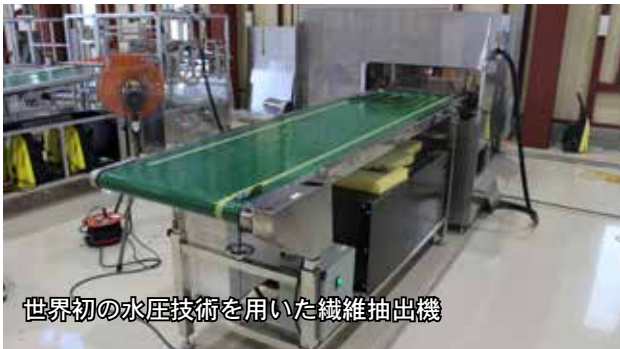
その土地の産物を使わせていただいている。」

という周囲への感謝の気持ちに気づきました。地域の自然やその地に暮らす人々への感謝を忘れてはいけないこと、決して驕らないこと、相手のためを思って行動すること、という当たり前のようで、忘れかけていた大切なことに気づかせてくれた大宜味村に恩返しをしたいという想いが強く芽生えました。

当時、出張で通っていたのですが、それではどうしても本気さが伝わらない、生半可な気持ちではできない、姿勢や結果で示さないといけないと思い、決意をもって子供たちと沖縄へ引っ越し、後に本社を大宜味村へ移しました。

慣れない環境での起業は困難なことも多かったかと思います。どのような経緯で事業化するに至ったのでしょうか。

当社の事業は、パイナップルの葉などから繊維を開発する「天然繊維事業」、繊維抽出の際に残る葉肉（残渣）を乾燥粉碎し生分解性の樹脂に練り込む素材にする「生分解性素材事業」、シークワサーを果皮ごと利用して製品化する「シークワサー事業」の3つでスタートしまし



世界初の水圧技術を用いた繊維抽出機



最終的に綿にして原料として活用



取り出した繊維を細かく切断



パイナップルの葉からできた高品質の生糸

た。その中で、まず初めに手掛けたのは創業のきっかけでもあるシークワサー事業です。シークワサーから取れる精油がソニー株式会社製の「アロマスティック」の沖縄限定の精油として採用されたことを皮切りに、ラグジュアリーホテルのターンドアロマやおしぼりの香りとしてご使用いただきました。また、オリジナルの化粧品やシークワサーの無添加ジュースなどを開発し、販売をスタートしました。

そんな中、隣の東村から「特産物であるパイナップルも活用してほしい」というお話をいただき、その活用方法を模索していたところ、パイナップルの葉から手作業で繊維を取り出し繊維製品を作るという伝統産業がフィリピンにあることを知りました。沖縄でも同じことができないかと考え、パイナップルの葉から繊維を取り出すことに挑戦しました。これが天然繊維事業の始まりです。東村の役場に相談し、葉をいただいてテストにご協力いただき、その後にご縁をいただいた美ら島ファーム様から収穫した後のパイナップルの葉を譲っていただけになったことで、2019年より同事業を開始しました。

事業化するためには繊維を量産できる設備が必要になります。そこで海外から繊維抽出機を導入して抽出を試みるも、全く思ったような繊維が取れず、品質も悪かったため、独自で研究開発する道に進みました。2021年にクラウドファンディングにより資金を集め、既にある技術を応用した繊維抽出機を製造しました。その機械を使い、まだ不十分な品質の繊維を、創意工夫で製品化してくださったのが、沖縄のアパレルブランドの老舗であるPAIKAJIさんでした。製品開発にご苦労いただきながらも、アロハシャツを銀座・和光にて発売でき、他にも日本の老舗ジーンズブランドであるEVISUジーンズでも優れた加工技術でジーンズを製造・販売できました。しかし繊維の生産効率や品質は大きくは改善されず、限定的な製品は作れても、一般に流通するようになるにはほど遠いものでした。

そこから試行錯誤する日々が続きました。当時は技術に関するノウハウや知見を持ち合わせていなかったため、専門家の方をはじめ多くの方にご協力をいただき、様々な研究・実験をおこないました。そうして辿りついたのが、「水」



天然繊維から製造したアロハシャツとジーンズ



シークワサーを果皮ごと使った無添加ジュース



パイナップル葉残渣を活用し製造した食器類



使用済みの衣服などを新たな製品へ

です。事業当初の弊社役員で現在顧問の竹繊維研究者の藤井教授と、その知人の技術者も紹介してもらい、弊社にて世界初の水圧技術を用いた抽出機を開発いたしました。2023年に特許を取得し、現在は今年5月に完成した新工場や提携しているインドネシアの工場に導入しています。

生分解性素材事業は2021年より開始しました。パイナップルの葉から繊維を抽出する過程で出る残渣も捨てることなく使うことは弊社の方針の一つです。当初は残渣を微粉末化して既存のバイオプラスチック樹脂に練り込んでいましたが、その後開発を重ね、現在は残渣を発酵させ糖に変え、バイオプラスチックの中でも一番需要のあるPLA樹脂そのものの原料にする開発をしています。今まで販売してきたストローやカトラリーも順次切り替え、より環境負荷の少ない、社会的な意義のある非可食の未利用資源で樹脂そのものを作るという取り組みに発展させます。現在も一部地域では実証していますが、使い終わった後の製品は地域ごとに適した形で回収し、エネルギー化や、土壌改良に活用し、循環する仕組みにより全体の環境負荷

を下げることを目指しています。

研究開発など困難な道へと挑戦する姿勢が実を結んだことと思います。その根底にある経営理念や社名に込めた思いなどをお聞かせください。

当社の社名を英字表記すると「FOOD REBORN」となります。生産者と消費者をつなぐ「リボン」と、捨てられていた農業資源を生まれ変わらせるという「REBORN」をかけていて、活動の内容がそのまま社名となっています。

また、当社の経営理念は、「かふうあらしみそーれ、とくとうみそーれ」です。これは沖縄の方言で「あなたに幸せが訪れますように、徳を積みましょーね」という意味です。この言葉は創業のきっかけとなったおばあから教えていただきました。おばあは感謝を忘れずに、人の喜ぶことを生きがいにして、日々を楽しみながら過ごしていました。私は、自分の忙しい毎日に、何のために生きているのかを見直させていただく機会をこの地でいただいたと思っています。おばあをはじめ、沖縄で出会った人達の生き方に触れ、心を動かされた体験を表すこの



自由にものづくりができるクリエイティブスペース



ワークショップなどができるコミュニティスペース



ミシンを複数台常備し縫製技術の修得が可能



多様な商品を展示販売

言葉が、目には見えないけれども大切なことを伝えていると思い、経営理念にすると同時に私自身の生きる指針、そして戒めとしています。

また、社名の下にはスローガンをつけています。これから先の子供達、孫世代に残したい未来を考えた時に、ワクワクと正しさはきっと両立できると信じる気持ちと、そんな未来へ向かう希望を乗せ、「捨てるものがない明日へ」を弊社のスローガンとしています。

2024年5月に御社初となる本社工場を大宜味村に開所し話題となっております。

本社工場は内閣府の沖縄振興特定事業推進費民間補助金を活用し、新築いたしました。本社工場のコンセプトは大きく「産業、教育、観光」の3つです。

「産業」は、工場生産だけでなく、畑からできた繊維素材を使って、最終的にメイドイン沖縄の製品づくりを目指し、手仕事をする人、デザイナー、アパレルブランドなどが交流しながらものづくりができる他にはない産業拠点を目指します。

「教育」は、そのものづくりに地域の皆様に

携わってもらい、縫製技術の研修を実施し、シングルマザーなどの女性が活躍できる場の創出を目指すほか、生産の過程を見られる場所として企業研修の受け入れ実施などをして刺激ある学びの場になることを目指します。

「観光」は、繊維抽出の工場見学や繊維を使ったものづくりなどのワークショップを実施し、体験型の観光を受け入れできる施設を目指します。今年6月には第一弾として、大阪の高校生の修学旅行を受け入れました。学生の方々にはものづくりの体験を通して、素材について考えるきっかけとなり、社会に出た時に良い経験として役立ててもらえとうれしいですね。

海外展開や今後の展望についてお聞かせください。

沖縄県内で生産されているパイナップルの果実量は約7,000トンであり、それと同じ量の葉がとれると推計できます。しかしその葉から抽出できる繊維はわずか1.5%程であり、県内のすべての葉を使ったとしても、ファッション業界に届ける量としては限定的な製品しかできません。また、弊社の技術やビジネスを活かすに



台湾の中原大学と産学連携契約を締結



インドネシアの王族 HRH. マンクナゴロ 10 世が着用するジャケットにパイナップル繊維が採用

は海外に持っていく必要があると考え、2020年より台湾へ展開し、その後台湾からの繋がりでパイナップルの生産量が多く、同時に農家の貧困課題を抱えているインドネシアを中心にアジア展開を進めています。

台湾のパイナップルの生産量は約46万トン、インドネシアでは約280万トンです。台湾では当社と大宜味村と台湾紡績協会の3社での協定や現地の中原大学と産学連携契約を結ぶなどし、紡績から製品開発までの協力体制を構築しました。

インドネシアでは現地の農業組織（INDUK KUD）と協定を結び、同組織の所有する建物に繊維抽出機を設置し、生産における協力体制を構築しました。またインドネシアでは伝統衣装であり正装でもあるバティックを代表にした大きな繊維産業があります。その原料となる繊維は主にコットンですが、ほぼ全てを海外からの輸入に頼っているという現状です。日本の技術で、自国の未利用農業資源が繊維に生まれ変わり、農家所得向上と持続可能な繊維産業を創出することにつながることは期待をいただいています。インドネシアは年中葉が採れるため、

法人概要

商 号：株式会社フードリボン

住 所：沖縄県国頭郡大宜味村字田港 1032 番地 1

連 絡 先：TEL 098-917-1830

設 立：2017 年 9 月

役 員：代表取締役社長 宇田 悦子

取締役 COO 平良 香織

取締役副社長 中川 広一郎

取締役会長 髙原 安伸

従 業 員 数：11 名（2024 年 7 月）

U R L：<https://food-reborn.co.jp/>

事 業 内 容：農業資源活用の研究開発及び企画・製造

機械の増設をして需要に応えられるように、天然繊維の量産を強化していきます。

沖縄では、パイナップルの収穫が終わる時期が8月なので、そこから葉を仕入れて繊維抽出を本格稼働させます。かりゆしウェアや、県内のリゾートホテルのタオルなど、メイドイン沖縄の繊維製品を展開していきます。

また、沖縄ではかりゆし、インドネシアではバティックといった各国の地域未利用資源からその地域に伝わる繊維製品の製造を中心に、伝統を尊重しながら1着を大事に長く着ることをコンセプトに、様々な展開を予定しております。まずは原料となる天然繊維の安定的な生産と量の確保に注力していきたいと思っています。

最後に

昨今は様々な製品において素材の生産背景に注目が集まってきており、高品質・低コスト・便利さといった経済性と、環境配慮や地域貢献といった社会性を両立することが重要だと考えます。当社もそのような製品づくりを心掛け、循環型社会の実現を目指してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

特集1

調査レポート
沖縄県におけるスポーツ
ツーリズムの実態調査りゅうぎん総合研究所
研究員
我謝 和紀

共同調査について

りゅうぎん総合研究所と一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(以下、OCVB)は沖縄県におけるスポーツツーリズムの実態について共同で調査しました。

OCVBにて県外からのスポーツ大会来場者向けのアンケート調査を実施し、りゅうぎん総合研究所にてその集計結果を分析し、調査レポートとしてまとめました。両社は今後とも適宜連携しながら「スポーツアイランド沖縄」の形成のため、調査を実施してまいります。

要 旨

・沖縄県はスポーツ推進計画のアウトター施策の一環として「スポーツツーリズムの推進」を掲げている。2019年度まではスポーツ大会などの件数増加に伴い、国内入域観光客数に占めるスポーツ関連目的旅行者の割合も増加傾向にあったが、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け大きく減少した。今後、旅行者の増加が見込まれる中、スポーツを通じた地域・経済のさらなる活性化のため、スポーツを取り巻く環境の変化に対応した戦略的なスポーツツーリズムの誘客促進策の検討が求められる。

・OCVBにて、2023年11月から2024年1月にかけて、県外からの参加が多い4つのスポーツ大会(Bリーグ、ツール・ド・おきなわ、石垣島マラソン、NAHAマラソン)の県外(国内・海外)からの来場者を対象にアンケート調査を実施した。その集計結果をもとに、調査対象の大会を「観るスポーツ」、「するスポーツ」にて大別し、来場者の属性・旅行内容・消費額について当社にて比較と分析をおこなった。また、アンケートの総費用(渡航代含む)にかかる回答と県外からの参加者数をもとに各大会における直接支出額を試算した。その結果、NAHAマラソンの直接支出額は約5.6億円～7.6億円となり、大会別では最も高くなることが推計

された。また、一人当たりの平均直接支出額はツール・ド・おきなわが約11万円となり、大会別では最も高くなることが推計された。直接支出額への貢献度が高い属性について、観るスポーツにおいては「30代の女性」、するスポーツについては「50代の男性」が最も多く、アンケート調査結果における来場者数が最多の属性と一致し、それぞれ貢献度が高いことが推測される。

・これらの結果から、スポーツツーリズムの誘客にあたり、来場者数の増加及び質の向上、消費額の増加が課題であることがわかった。来場者数の増加を図る上で、観るスポーツとするスポーツでは、来場者の年代も異なることから、ターゲット層にリーチする戦略的なプロモーションが求められるほか、本県へのスポーツツーリズムでの誘客を図る上で地域・観光拠点となるスポーツ関連施設の整備・充実化も必要となる。また、各大会とも一人当たりの平均直接支出額は一般観光と比較して低くなることが推測される結果となったが、県外からの来場者の7割程は大会前後で一般観光を行っていることから、会場周辺の飲食・観光情報の発信の強化だけでなく、沖縄全体を周遊させるコンテンツ造成の検討が求められる。

1.はじめに

沖縄県では、プロ野球キャンプ、バスケットボールリーグ(Bリーグ)などの観戦型スポーツからマラソン大会などの参加型スポーツまで、年間を通して様々なスポーツイベントが開催されている。このようなスポーツイベントを観光資源とした「スポーツツーリズム」が地方への観光誘客効果の高いコンテンツとして全国的に注目されている。沖縄県においても「第2期沖縄県スポーツ推進計画」(2022年3月)の基本施策として「スポーツツーリズムの推進」を掲げており、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(以下、OCVB)などの観光団体やスポーツ団体と連携し、県内で開催されるスポーツイベントや本県のスポーツにふさわしい環境条件をいかしたスポーツ交流拠点の形成等を通じて、県外からの観光誘客促進を図っている。

本レポートではOCVBが沖縄県より受託した「スポーツ観光戦略的誘客促進事業」の一環として、同財団が実施したアンケート調査「スポーツ大会参加に係る実態調査」(2023年11月～2024年1月)の結果をもとに、各大会

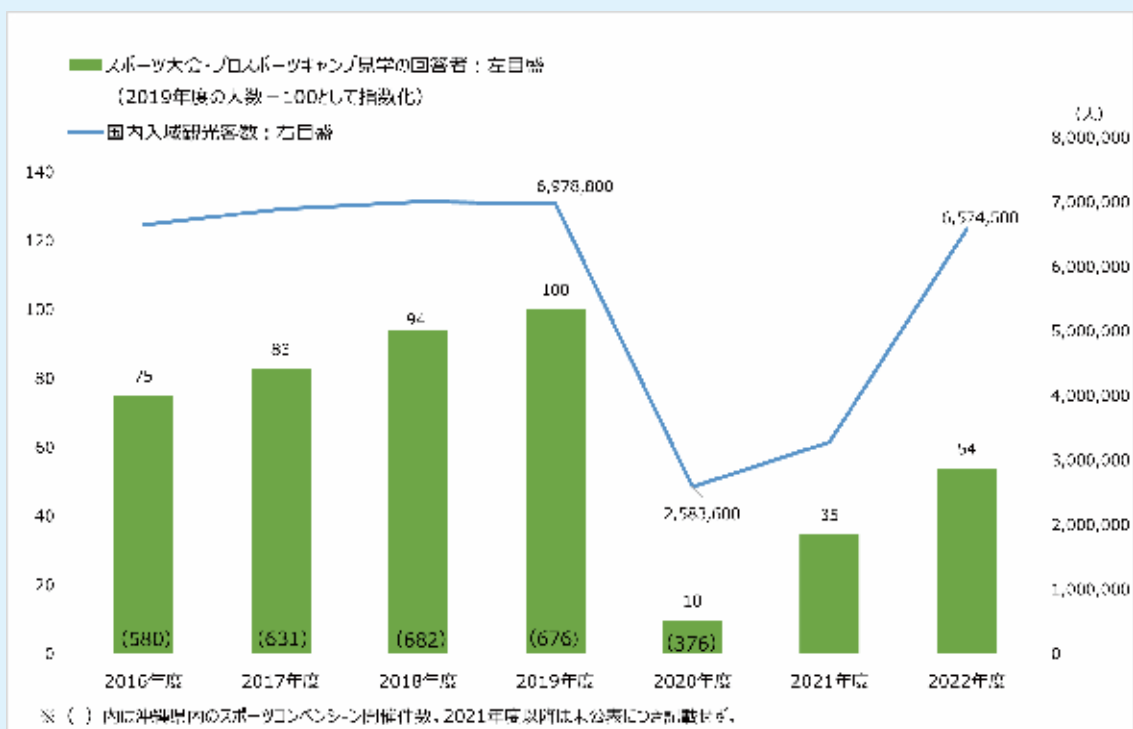
の来場者の属性や旅行内容、消費額について集計し、その特徴を分析した。また、各大会の直接支出額の推計や最も直接支出額への貢献度が高い属性を分析し、スポーツツーリズムの誘客促進に向けた課題をまとめた。

2.沖縄県におけるスポーツツーリズムの現状

(1)沖縄県におけるスポーツツーリズムの現状

沖縄県のスポーツ関連目的旅行者の割合は、2016年度から2019年度において増加したものの、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け大きく減少した(図表1)。今後、旅行者の増加が見込まれる中、スポーツを通じた地域・経済のさらなる活性化のため、スポーツを取り巻く環境の変化に対応した戦略的なスポーツツーリズムの誘客促進策の検討が求められる。沖縄観光の課題である閑散期と繁忙期の平準化や長期滞在傾向等による経済効果増大に寄与するスポーツコンベンションの推進、沖縄県の魅力的なスポーツ環境のプロモーションの展開、沖縄のソフトパワーを活用した高付加価値コンテンツの開発および促進が求められている。

図表1 沖縄県における国内入域観光客数の推移およびスポーツ関連目的旅行者の指数¹



出所：沖縄県「観光統計実態調査」および「スポーツコンベンション開催実績一覧」をもとにりゅうぎん総合研究所にて作成

(2) 第2期沖縄県スポーツ推進計画

沖縄県は「新たな振興計画(新・沖縄21世紀ビジョン基本計画)」(2021年5月)におけるスポーツ関連施策として『世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成』を掲げ、その個別計画として2026年度までの5年間の計画期間とする「第2期沖縄県スポーツ推進計画(以下、スポーツ推進計画)」(2022年3月)を策定した。スポーツ推進計画では、「スポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成」を基本施策の一つとし、そのツーリズムに

おける施策の一環として「スポーツツーリズムの推進」を掲げている。そこでは、サイクルツーリズム、みるスポーツ、県内スポーツイベント等への参加を目的とした誘客促進を図る取り組みのほか、スポーツ観光を推進し消費単価の拡大に向けた取り組みを示している。

沖縄県は、世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成に向け沖縄の特性を活かした本県におけるスポーツ振興の基本理念として4点を示している(図表2)。

図表2 「スポーツアイランド沖縄」の形成に向けた基本理念

1. 県民が健康・長寿であるため生涯を通してスポーツを楽しむこと
2. 国内外で活躍するトップアスリートを輩出すること
3. 我が国の南端のスポーツ交流拠点として年間を通したスポーツコンベンションが開催されること
4. 沖縄の地理的特徴や恵まれた自然・温暖な気候、特色ある地域・文化・産業とスポーツを関連づけ、スポーツの持つソフトパワーを活用することにより、地域・経済の活性化につながる取り組みが全県的に行われていること

出所：沖縄県「第2期沖縄県スポーツ推進計画」より抜粋

(3) スポーツ観光戦略的誘客促進事業

「スポーツ観光戦略的誘客促進事業」は、スポーツツーリズムの普及・定着を図るため、県内で実施されているスポーツイベントや本県のスポーツ環境の魅力や優位性を県外・国外等においてプロモーションを実施することで、本県への観光誘客を促進するとともに、沖縄におけるスポーツを通じた「稼ぐ力」を引き出し、世

界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成を図ることを目的として、OCVBが沖縄県より委託を受け運営する事業である。主な事業内容は、スポーツ観光誘客にかかるマーケティングリサーチ、消費単価拡大に向けたコンテンツの造成、プロモーションの実施などである(図表3)。

図表3 「スポーツ観光戦略的誘客促進事業」(2023年度)の主な事業内容

1. スポーツ観光誘客におけるマーケティングリサーチの実施
 - ▶大会開催情報やスポーツ旅に係る環境情報の取りまとめ
 - ▶各種プロモーションでの情報発信
 - ▶県内4件のスポーツ大会(イベント)を対象としたスポーツツーリスト実態調査
2. スポーツ観光誘客促進のためのプロモーションの実施
 - ▶国内および海外催事に出展し、誘客効果が見込める競技を中心とした各種プロモーションの展開(マラソン、サイクリングなど)
3. スポーツアイランド沖縄の優位性及び魅力の発信
 - ▶プロモーションで使用するパンフレットなどのスポーツ情報発信ツールの作成やスポーツノベルティーの制作
 - ▶スポーツアイランド沖縄WEBサイトやSNSの運用・分析
4. 消費単価拡大のためのツアー造成及び商談会の実施
 - ▶旅行商品造成を促進するため、旅行会社等を対象としたプロモーションの実施や商談会などへの参加
5. 県内スポーツチーム連携プロモーションの実施
 - ▶県内で活動するスポーツチームと連携し、県外での試合やイベントなどへの来場者や関係者に対しスポーツアイランド沖縄の魅力を発信
6. スポーツコミッション沖縄との連携
 - ▶スポーツコンベンションの更なる発展を目的に沖縄県スポーツ振興課、沖縄県スポーツ協会、OCVBスポーツチームの三者間で定期的にコミッション会議を実施
 - ▶ツーリズムEXPOジャパンやSPORTEC2023へ沖縄県スポーツ協会との共同出展

出所：OCVB「令和5年度スポーツ観光戦略的誘客促進事業」より抜粋

3. アンケート調査結果分析

OCVBは2023年11月～2024年1月において開催された4つのスポーツ大会の「県外(国内・海外)からの来場者」を対象にWEBアンケート形式の実態調査「スポーツ大会参加に

係る実態調査」を実施した(図表4、5)。なお、対象のスポーツ大会は県外からの参加者数が多い大会として、沖縄県との協議により選定した。

図表4 調査対象のスポーツ大会概要

大会名	開催日程	開催拠点	参加者数	概要
Bリーグオールスター 2024	2024.1.12（金） ～2024.1.14（日）	沖縄市 (沖縄アリーナ)	13,736名 県外:4,516 県内:9,220	毎年1月に開催される国内バスケットボールリーグ（Bリーグ）のオールスターゲーム。2017年よりスタート。開催地はクラブの提案をもとに運営の審査により決定する。出場する選手はファン投票やリーグ推薦などにより決定し、ファンを中心に同リーグの中でも動員の多い人気イベントとなっている。
第35回ツール・ド・おきなわ	2023.11.11（土） ～2023.11.12（日）	名護市	3,176名 県外:1,967 県内:1,209	毎年11月の第2土曜日から日曜日にかけて開催される自転車ロードレース大会。1989年よりスタート。沖縄県北部を舞台とし、やんばるの自然を堪能できるイベントとして人気。自転車ロードレースのほかにも距離別・目的別のサイクリングイベントが2日間にわたり行われ、国内最大規模のロードレース大会となっている。
石垣島マラソン 2024	2024.1.21（日）	石垣市	3,410名 県外:2,068 県内:1,342	毎年1月の第4日曜日に開催されるマラソン大会。2003年よりスタート。日本最南端のマラソン大会であり、離島ならではのロケーションや気候が楽しめるイベントとして人気。石垣島の主要の観光イベントの1つとなっている。
NAHAマラソン 第37回大会	2023.12.3（日）	那覇市	18,874名 県外:7,777 県内:11,097	毎年12月の第1日曜日に開催されるマラソン大会。1985年よりスタート。那覇を中心に沖縄本島南部の各市町村を一周する。沖縄県内のマラソンイベントでは最大規模の参加者数を誇り、県内のみならず県外・海外からの参加者も多い。沿道の応援者も多いイベントとなっている。

出所：各大会の公式WEBサイトおよびOCVBへのヒアリングをもとにリゅうぎん総合研究所にて作成
 ※Bリーグの参加者数内訳については運営事務局にて集計したチケット販売割合をもとに算出

図表5 アンケート別の調査期間と回答数

大会名	調査期間	回答数
Bリーグオールスター2024 (以降、Bリーグ)	2024年1月13日（土） ～2024年1月14日（日）	245
第35回ツール・ド・おきなわ (以降、ツール・ド・おきなわ)	2023年11月10日（金） ～2023年11月11日（土）	252
石垣島マラソン2024 (以降、石垣島マラソン)	2024年1月20日（土）	214
NAHAマラソン第37回大会 (以降、NAHAマラソン)	2024年12月2日（土） ～2024年12月3日（日）	326

出所：リゅうぎん総合研究所にて作成

調査対象の4つの大会を下記のように「観るスポーツ」と「するスポーツ」に大別し「属性」、

「旅行内容」、「消費額」の3つの観点から、比較や分析をおこなった(図表6)。

図表6 調査対象のスポーツ大会の形態別の分類

【観るスポーツ】 Bリーグ

【するスポーツ】 ツール・ド・おきなわ、石垣島マラソン、NAHA マラソン

出所：リゅうぎん総合研究所

なお、調査対象の大会について、上記の分類別の比較を基本とするが、大会ごとに特徴がみられる場合は大会別に比較をした。また、必要に応じて沖縄県の観光関連の統計資料をもとに県外からの一般的な観光(以下、一般観光)との比較をした。

※アンケート集計結果の全容については本文の添付資料を参照。

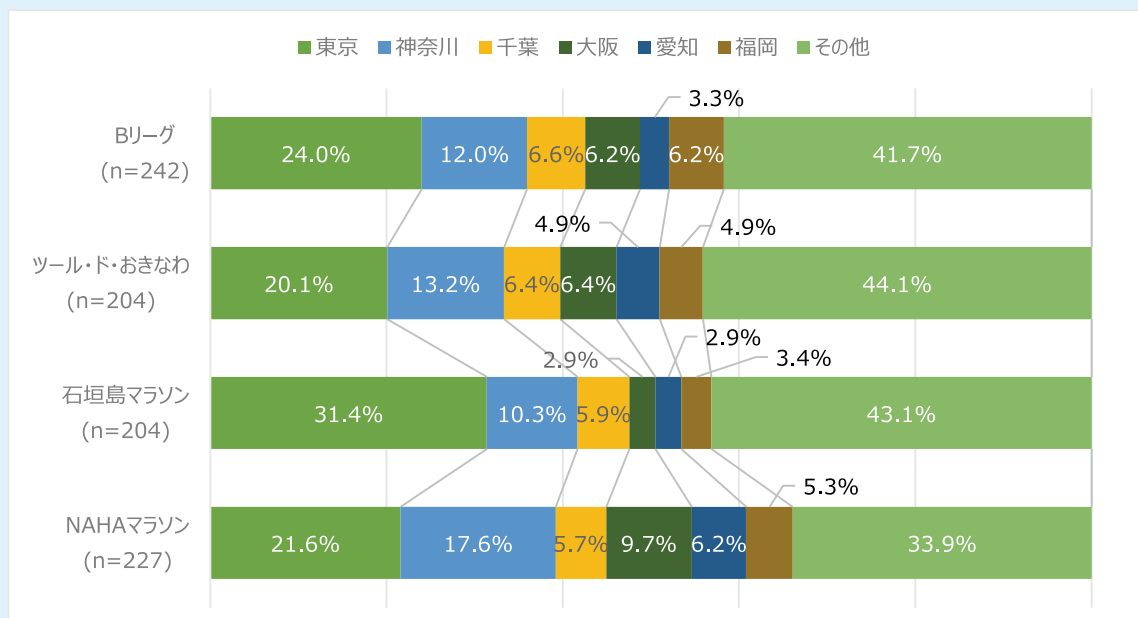
(1)属性による比較

まず初めに、大会来場者の属性について①居住地、②性別および年代、③年収の3つの観点から比較・分析した。

①居住地

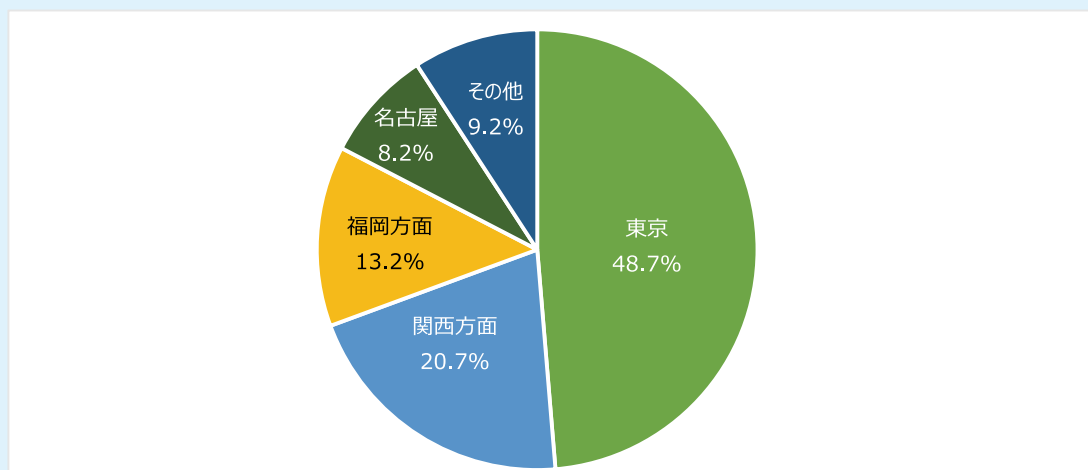
各大会ともにアンケート回答者の約7割以上が県外(国内)からの来場者となり、その居住地の内訳については、「東京」が最も高い割合となった。次に神奈川県や千葉の関東圏、大阪、愛知、福岡が続き、これらの上位層で全体の約6割を占めた(図表7)。なお、同時期の沖縄県における国内入域観光客(2023年11月～2024年1月)についても東京や関西方面、福岡方面からの入域が多く、一般観光と同様に直行便が多い地域からの来場が多いことが推測される(図表8)。

図表7 県外(国内)からのスポーツ大会来場者の居住地別の割合



(出所) OCVB「スポーツ大会参加に係る実態調査」の集計結果をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

図表8 沖縄県における国内入域観光客の地域別の割合(2023年11月～2024年1月)



出所：沖縄県「入域観光客数概況」をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

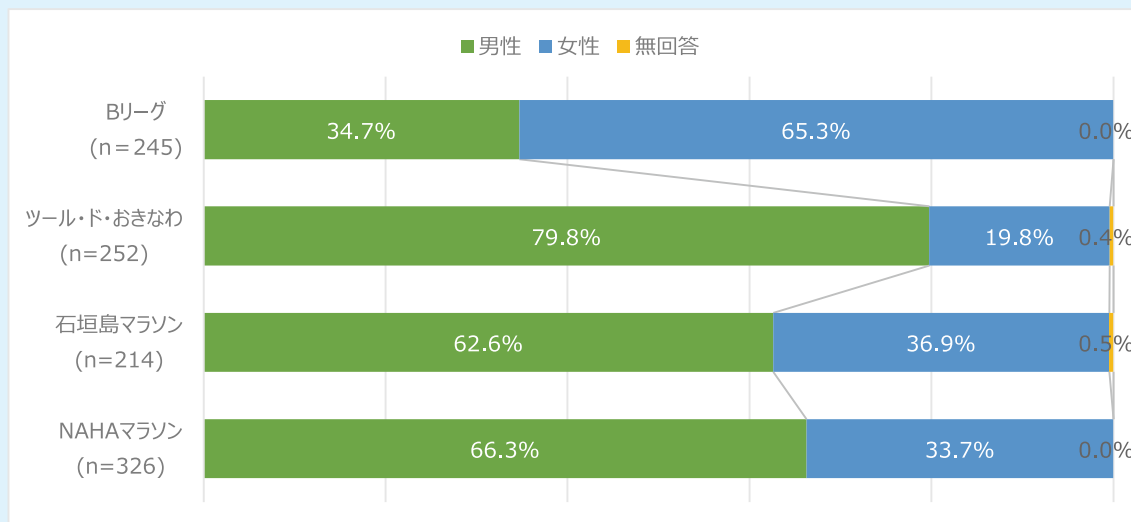
②性別および年代

性別については、観るスポーツは「女性」が全体の約7割を占め、するスポーツでは各スポーツともに「男性」が全体の約6～7割を占めた(図表9)。

年代については、観るスポーツでは「30代」、

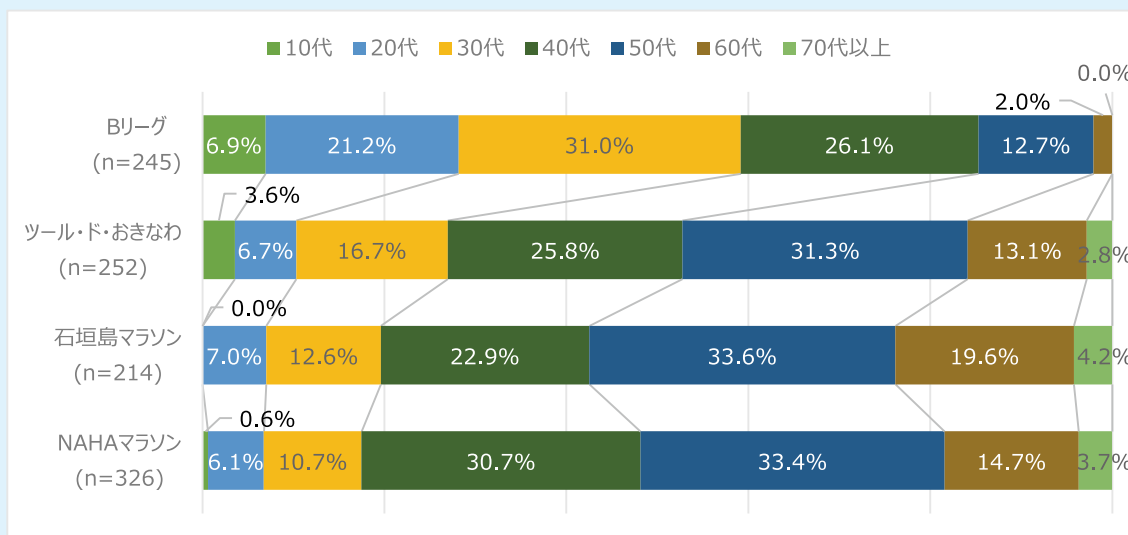
するスポーツでは「50代」がそれぞれ最も高い割合となり、性別と同様、大会種類ごとの明確な違いが見られた(図表10)。なお、観るスポーツはするスポーツに比べ「20代」の割合が高く、若年層を中心とした幅広い年齢層の来場があることが推測される。

図表9 県外からのスポーツ大会来場者の性別の割合



出所：OCVB「スポーツ大会参加に係る実態調査」の集計結果をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

図表10 県外からのスポーツ大会来場者の年代別の割合



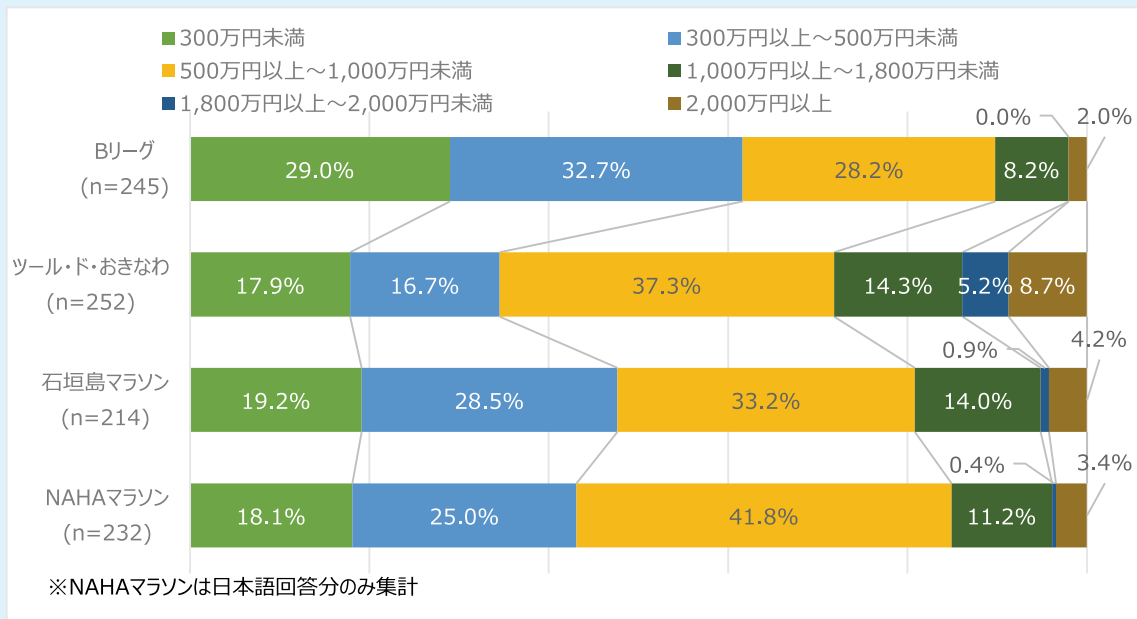
出所：OCVB「スポーツ大会参加に係る実態調査」の集計結果をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

③年収

年収について、観るスポーツでは「300万円以上～500万円未満」、するスポーツでは「500万円以上～1,000万円未満」がそれぞれ最も高い割合となった(図表11)。また、前述の年代の

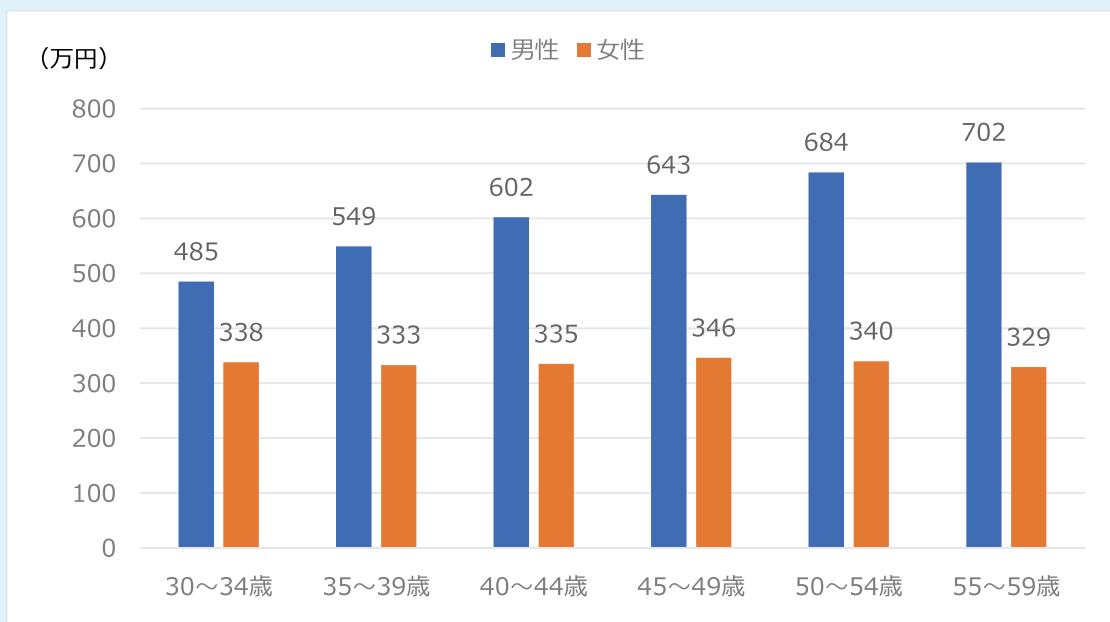
割合も加味し、国税庁の「民間給与実態統計調査」(2022年度)における年代別の平均年収と比較したところ、大きな差異はなく、各大会とも年代別の一般所得層の来場が多いことが推測される(図表12)。

図表11 県外からのスポーツ大会来場者の年収別の割合



出所：OCVB「スポーツ大会参加に係る実態調査」の集計結果をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

図表12 年齢階層別の平均給与



出所：国税庁 令和4年分民間給与実態統計調査より抜粋し、りゅうぎん総合研究所にて作成

(2) 旅行内容による比較

次に、大会来場者の旅行内容について①同行者、②滞在日数、③宿泊施設の3つの観点から比較・分析した。

① 同行者

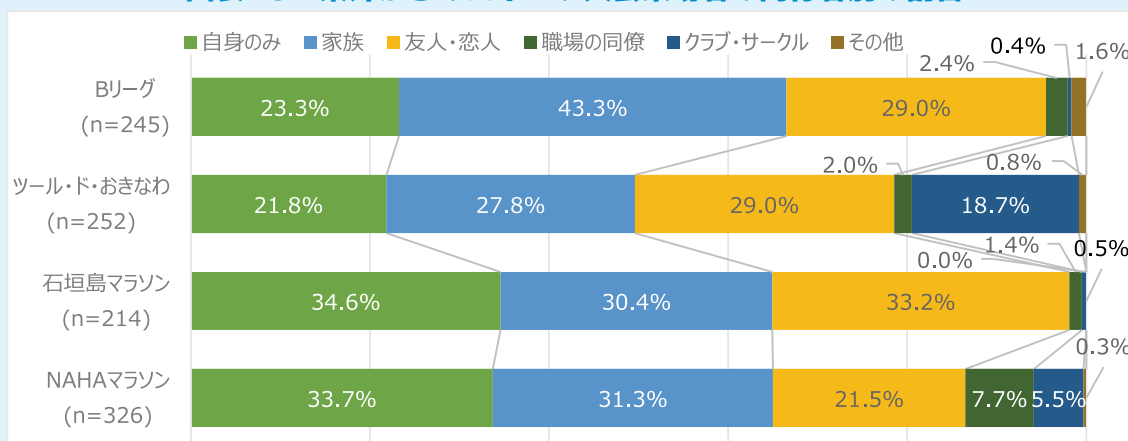
同行者について、観るスポーツでは「家族」が最も高い割合となった。するスポーツにおいて、ツール・ド・おきなわは「友人・恋人」が最も高い割合となった一方、NAHAマラソンおよび石垣島マラソンは「自身のみ」が最も高い割

合となった(図表13)。

旅行人数についてはツール・ド・おきなわを除き、各大会とも「1～2人」が最も高い割合となっており、身近な人との少人数での来場が多いことが推測される(図表14)。

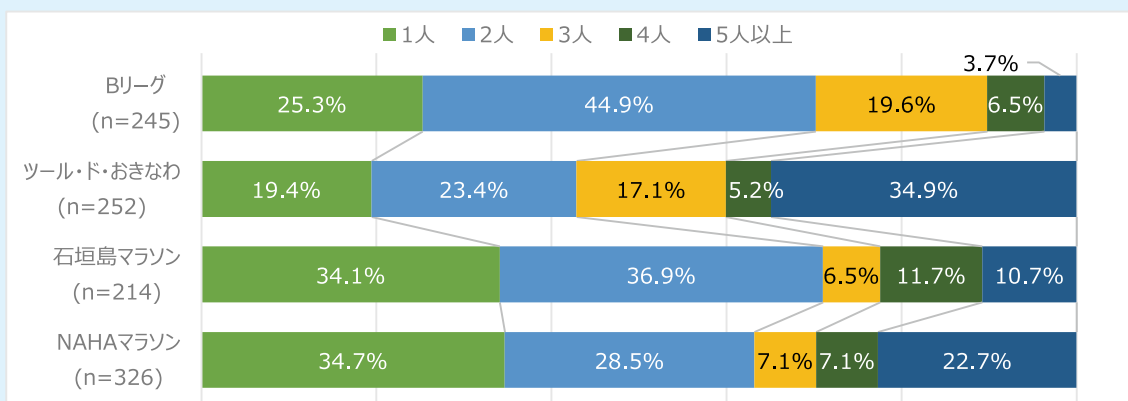
なお、ツール・ド・おきなわについては「5人以上」での来場割合が最も高く、「クラブ・サークル」での参加が他の大会に比べて高い割合となっていることから、団体での出場が多いことが推測される。

図表13 県外からのスポーツ大会来場者の同行者別の割合



出所：OCVB「スポーツ大会参加に係る実態調査」の集計結果をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

図表14 県外からのスポーツ大会来場者の旅行人数別の割合



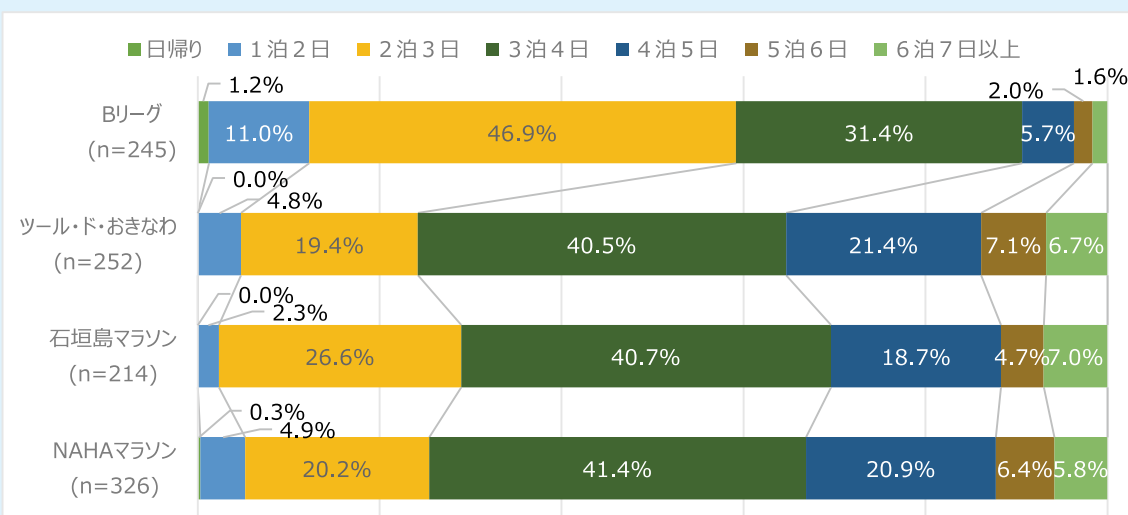
出所：OCVB「スポーツ大会参加に係る実態調査」の集計結果をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

②滞在日数

滞在日数について、観るスポーツでは「2泊3日」が最も高い割合となった一方、するスポーツでは「3泊4日」が最も高い割合となっており、するスポーツではエントリー日程や休憩時間なども加味してゆとりを持った旅行日数を組んでいる来場者が多いことが推測され

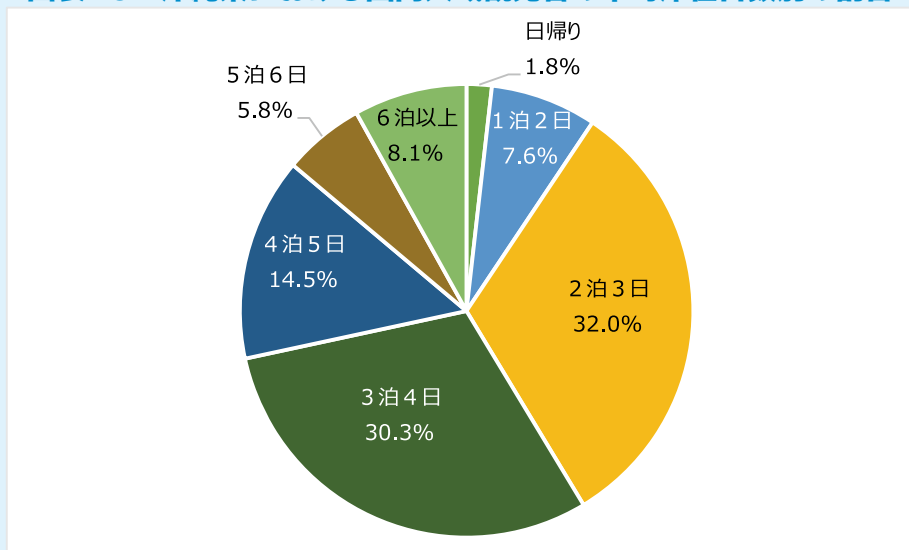
る(図表15)。なお、沖縄県の観光統計実態調査(2022年度)における国内観光客の一人あたりの平均滞在日数は「2泊3日」および「3泊4日」がほぼ同じ割合であるが、するスポーツの滞在日数は「3泊4日」以上の割合が高くなっており、一般観光と比べて滞在日数は長くなる傾向がみられた(図表16)。

図表15 県外からのスポーツ大会来場者の滞在日数別の割合



出所：OCVB「スポーツ大会参加に係る実態調査」の集計結果をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

図表16 沖縄県における国内入域観光客の平均滞在日数別の割合



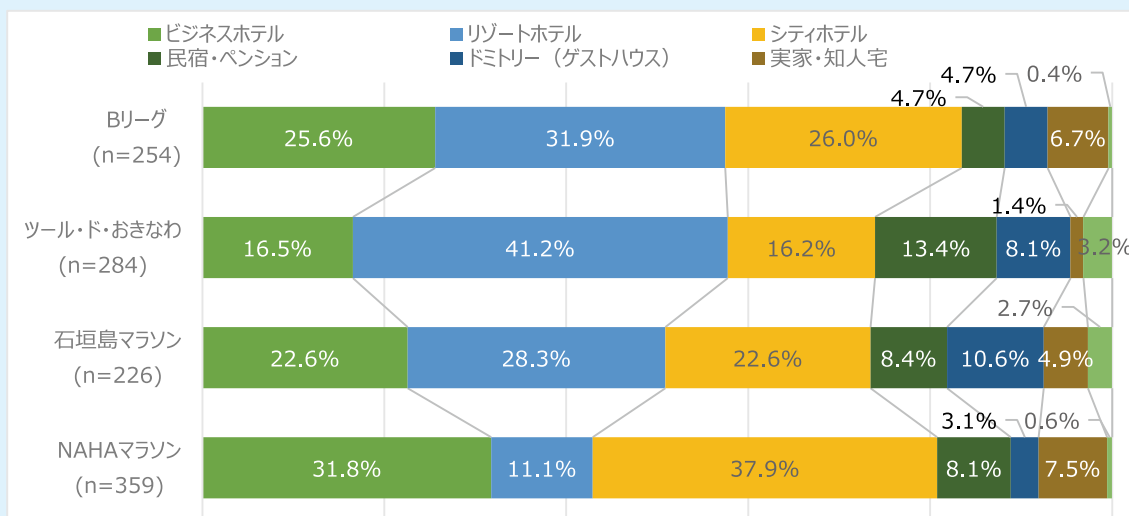
出所：沖縄県「観光統計実態調査（2022年度）」をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

③宿泊施設

宿泊施設について、観るスポーツでは「リゾートホテル」が最も高い割合となった（図表17）。するスポーツにおいて、ツール・ド・おきなわおよび石垣島マラソンでは「リゾートホテ

ル」が最も高い割合となった一方、NAHAマラソンでは「シティホテル」が最も高い割合となっており、大会会場近くに宿泊する傾向があることが推測される。

図表17 県外からのスポーツ大会来場者の宿泊施設別の割合（複数回答）



出所：OCVB「スポーツ大会参加に係る実態調査」の集計結果をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

(3)消費額による比較

次に、大会来場者の消費額について①移動費（渡航代・県内移動費）、②宿泊費、③会場内消費の3つの観点から比較・分析した。

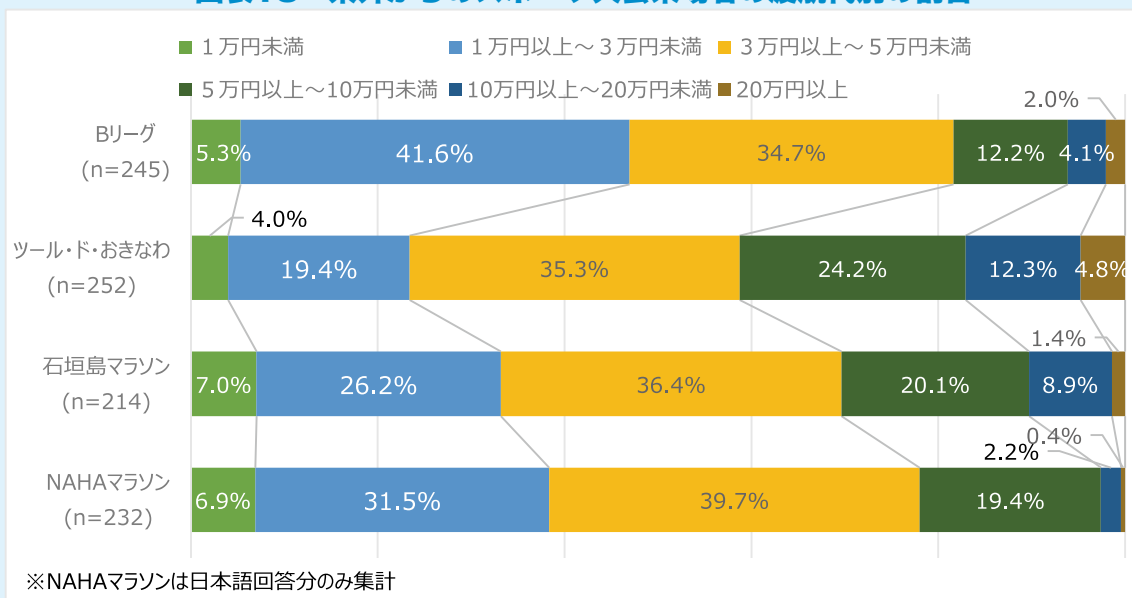
①移動費（渡航代・県内移動費）

渡航代について、観るスポーツでは「1万円以上～3万円未満」が最も高い割合となった一方、するスポーツでは「3万円以上～5万円未満」が最も高い割合となっており、来場者の年代・年収などの属性と関連することが推測され

る（図表18）。

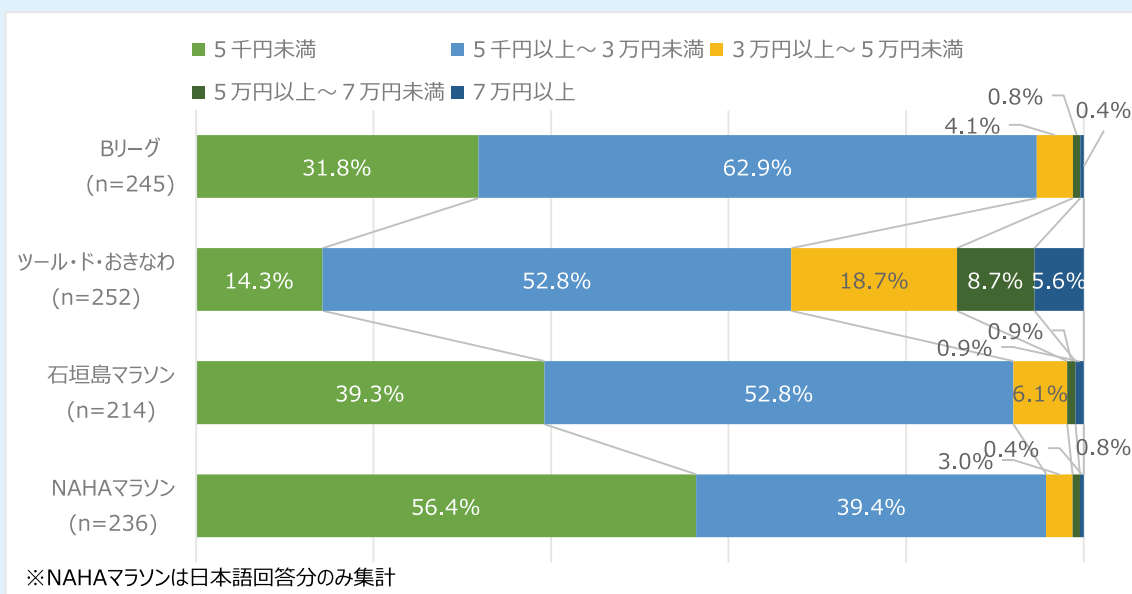
県内移動費について、観るスポーツでは「5千円以上～3万円未満」が最も高い割合となった。するスポーツにおいて、ツール・ド・おきなわおよび石垣島マラソンでは「5千円以上～3万円未満」が最も高い割合となった一方、NAHAマラソンにおいては「5千円未満」が最も高い割合となったことから、空港から大会会場までの距離に比例することが推測される（図表19）。

図表18 県外からのスポーツ大会来場者の渡航代別の割合



出所：OCVB「スポーツ大会参加に係る実態調査」の集計結果をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

図表19 県外からのスポーツ大会来場者の県内移動費別の割合



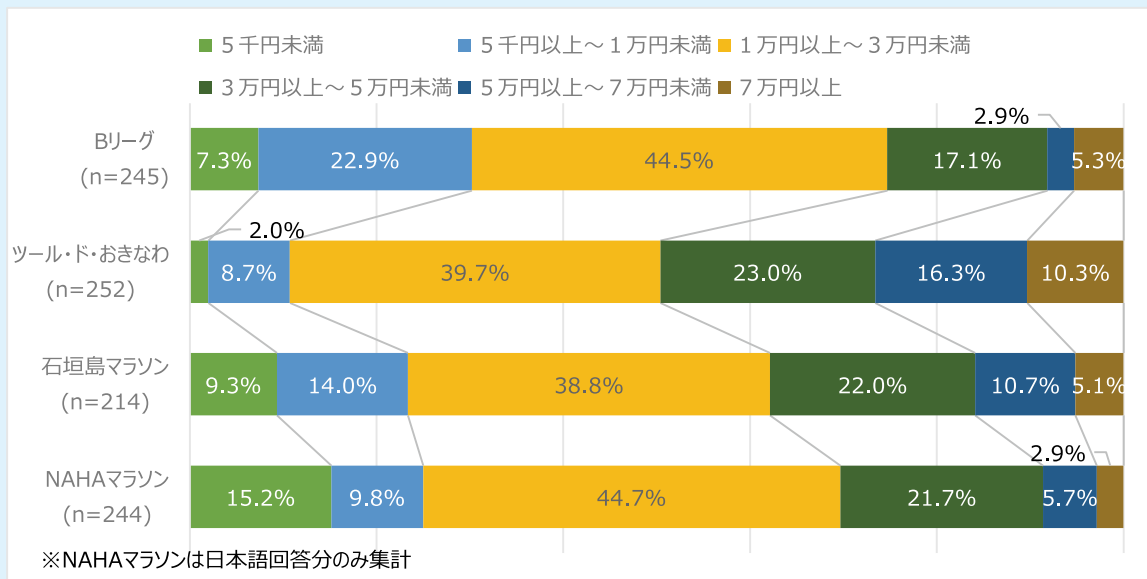
出所：OCVB「スポーツ大会参加に係る実態調査」の集計結果をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

②宿泊費

宿泊費については、各大会とも「1万円～3万円未満」が最も高い割合となった(図表20)。なお、沖縄県の観光統計実態調査(2022年度)における観光客一人あたりの県内宿泊費は「38,774円」であり、大会来場者の宿泊費は一

般観光における宿泊費と比較して低くなっていることがわかった。前述の平均滞在日数も加味すると、スポーツ大会目的の宿泊のため、宿泊プランなどを選定し、宿泊代金をおさえている傾向があることが推測される。

図表20 県外からのスポーツ大会来場者の宿泊費別の割合



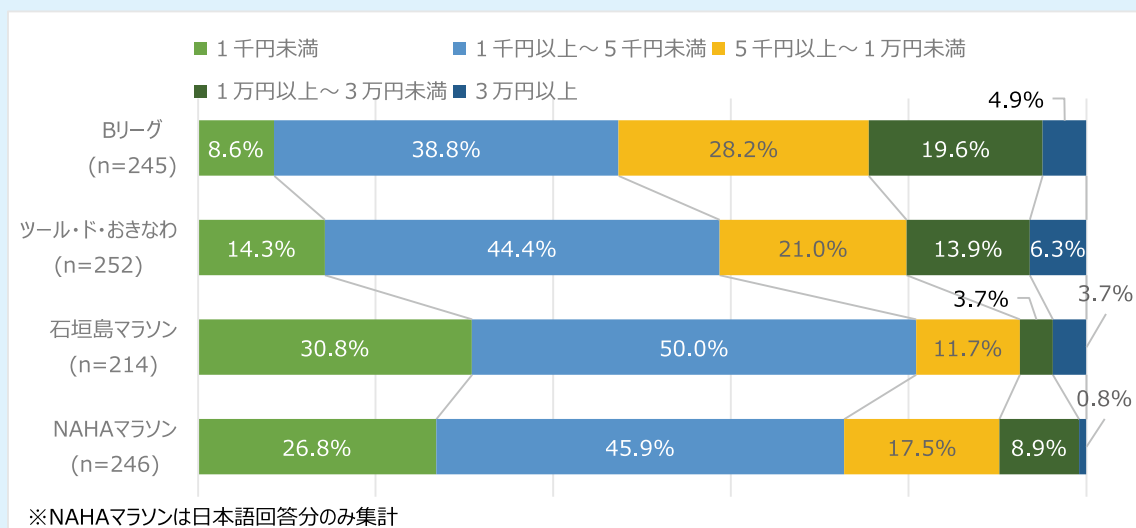
出所：OCVB「スポーツ大会参加に係る実態調査」の集計結果をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

③会場内消費

大会会場内の消費については、各大会とも「1千円以上～5千円未満」が最も高い割合となった(図表21)。なお、観るスポーツについて

は「5千円以上～1万円未満」の割合がするスポーツと比べて高くなっており、幅広い価格帯のグッズ展開などが影響していると考えられる。

図表21 県外からのスポーツ大会来場者の会場内消費別の割合



出所：OCVB「スポーツ大会参加に係る実態調査」の集計結果をもとに、りゅうぎん総合研究所にて作成

(4) アンケート調査結果のまとめ

前項のアンケート調査の分析結果を大会種別(観るスポーツ、するスポーツ)毎に整理し、また一般観光との比較についてまとめた。

①観るスポーツ

属性について、「30代の女性」の割合が最も高く、若年層を中心とした幅広い層の来場があることがわかった。また、年代別の一般所得層

の来場者が多いことが推測される。

旅行内容について、同行者は家族との少人数(1～2人)での来場が多いことが推測される。また、宿泊施設はその種類から会場近くとする傾向があることがうかがえ、滞在日数は「2泊3日」の割合が最も高くなった。

消費額について、移動費(渡航代、県内移動費)は年代・年収などの属性や空港からの距離に関連することが推測される。また、会場内消

費については、するスポーツと比べ、消費額が高く、幅広い価格帯のグッズ展開などが影響していると考えられる。

②するスポーツ

属性について、「50代の男性」の割合が最も高く、中年層からの需要が高いことが推測される。また、観るスポーツと同様、年代別の一般所得層の来場者が多いことが推測される。

旅行内容について、同行者はツール・ド・おきなわを除き、自身のみや友人・恋人との少人数（1～2人）での来場が多いことが推測される。また、宿泊施設は観るスポーツと同様、会場近くとする傾向があるも、滞在日数は「3泊4日」の割合が最も高く、エントリー日程や休憩時間なども加味してゆとりを持った旅行日数を組んでいる来場者が多いことが推測される。

消費額について、移動費（渡航代、県内移動費）は観るスポーツと同様、年代・年収などの属性や空港からの距離に関連することが推測される。

③一般観光との比較

居住地の内訳について、各大会とも東京などの関東圏や大阪、愛知、福岡にて全体の6割以

上を占めており、同時期の一般観光と同様に直行便が多い地域からの来場が多いことが推測される。

滞在日数について、観るスポーツについては一般観光の平均滞在日数と大きな差異はみられなかった一方、するスポーツにおいては一般観光の平均滞在日数より長くなる傾向がみられた。

宿泊費については一般観光より低く、スポーツ大会目的の宿泊のため、宿泊代金をおさえている傾向があることが推測される。

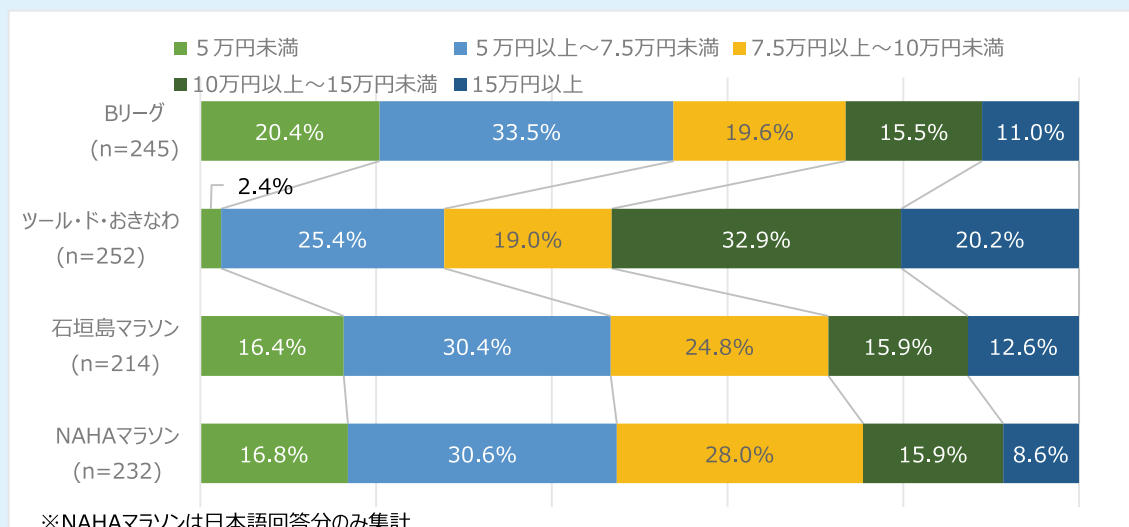
4.直接支出額の試算

(1)直接支出額の試算

①スポーツ大会別の直接支出額

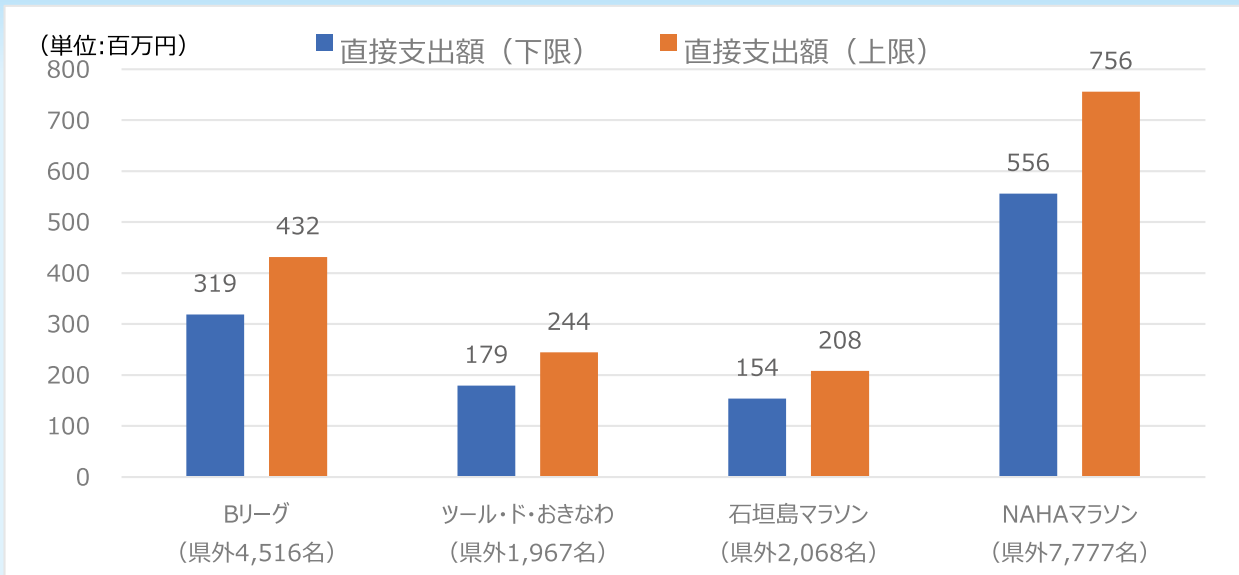
前項のアンケートの「旅行の総費用（渡航代含む）」の回答結果（図表22）および各大会の県外からの参加者数をもとに直接支出額を試算した。その結果、Bリーグでは約3.2億円～4.3億円、ツール・ド・おきなわでは約1.8億円～2.4億円、石垣島マラソンでは約1.5億円～2.1億円、NAHAマラソンでは約5.6億円～7.6億円となり、大会別ではNAHAマラソンが最も直接支出額が高くなることが推計された（図表23）。

図表22 県外からのスポーツ大会来場者の旅行の総費用別の割合（渡航代含む）



出所：OCVB「スポーツ大会参加に係る実態調査」の集計結果をもとに、リゅうぎん総合研究所にて作成

図表23 スポーツ大会別の直接支出額(渡航代含む)



出所：りゅうぎん総合研究所にて作成

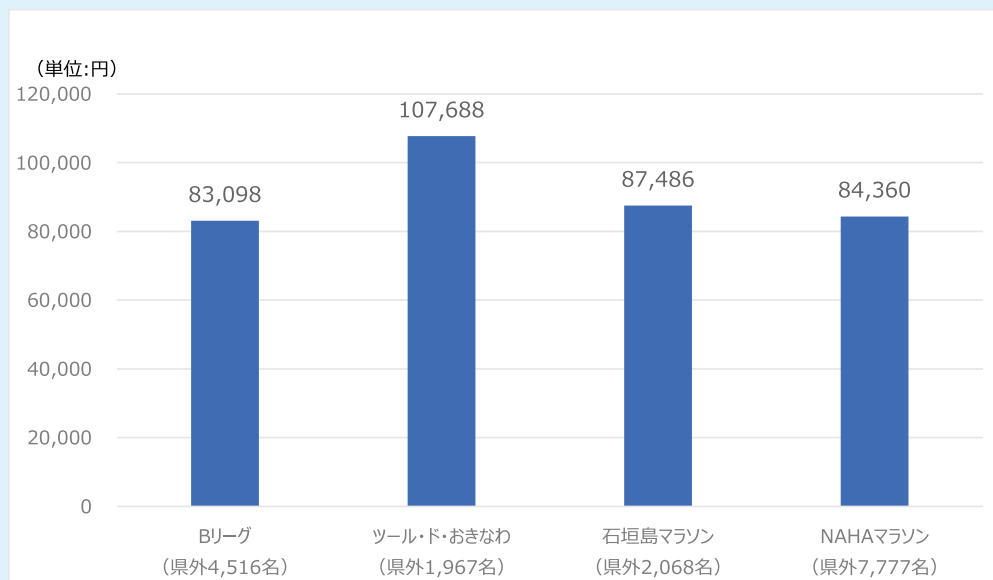
②一人あたりの平均直接支出額

続いて、直接支出額を県外参加者数で除した一人あたりの平均直接支出額を算出した。その結果、大会別ではツール・ド・おきなわが約11万円と、最も高くなることが推計された。

また、沖縄県の観光統計実態調査(2022年度)における観光客全体消費単価は「103,706

円」となっており、これと比較して、一人あたりの平均直接支出額はツール・ド・おきなわを除き低くなった(図表24)。なお、観光全体消費単価には渡航代は含まれていないことを考慮すると、各大会とも一人あたりの平均直接支出額は一般観光と比較して低くなることが推測される。

図表24 一人当たりの平均直接支出額(渡航代含む)



出所：りゅうぎん総合研究所にて作成

(2)直接支出額への貢献度が高い属性

①直接支出額が高い費用帯

前項で試算した直接支出額について、「旅行の総費用(渡航代含む)」の回答における費用帯別に観ると、Bリーグでは「5万円以上～7.5万円未満」、ツール・ド・おきなわでは「10万円以上～15万円未満」、石垣島マラソンおよび

NAHAマラソンでは「7.5万円以上～10万円未満」と回答した費用帯が最も直接支出額が高くなることが推計された(図表25)。なおツール・ド・おきなわについては、石垣島マラソンと比べて県外からの参加者数は少ないが、直接支出額の合計は高くなっており、上記の「10万円以上～15万円未満」を含め高い費用帯での参加割合が多いことに起因すると推測される。

図表25 費用帯別の直接支出額(渡航代含む)

(単位:円)

大会名		5万円未満	5万円以上 ～7.5万円未満	7.5万円以上 ～10万円未満	10万円以上 ～15万円未満	15万円以上	計
Bリーグ (県外4,516名)	直接支出額(下限)	40,463,360	74,739,800	64,014,300	67,740,000	71,804,400	318,761,860
	直接支出額(上限)	49,567,616	110,614,904	84,498,876	100,932,600	86,165,280	431,779,276
ツール・ド・おきなわ (県外1,967名)	直接支出額(下限)	2,203,040	24,784,200	27,882,225	65,107,700	59,305,050	179,282,215
	直接支出額(上限)	2,698,724	36,680,616	36,804,537	97,010,473	71,166,060	244,360,410
石垣島マラソン (県外2,068名)	直接支出額(下限)	14,145,120	32,157,400	37,068,900	32,674,400	37,844,400	153,890,220
	直接支出額(上限)	17,327,772	47,592,952	48,930,948	48,684,856	45,413,280	207,949,808
NAHAマラソン (県外7,777名)	直接支出額(下限)	55,683,320	117,432,700	161,567,175	122,098,900	99,156,750	555,938,845
	直接支出額(上限)	68,212,067	173,800,396	213,268,671	181,927,361	118,988,100	756,196,595

※「5万円未満」の最低支出額を40,000円、「15万円以上」の最大支出額を180,000円とし、試算した。

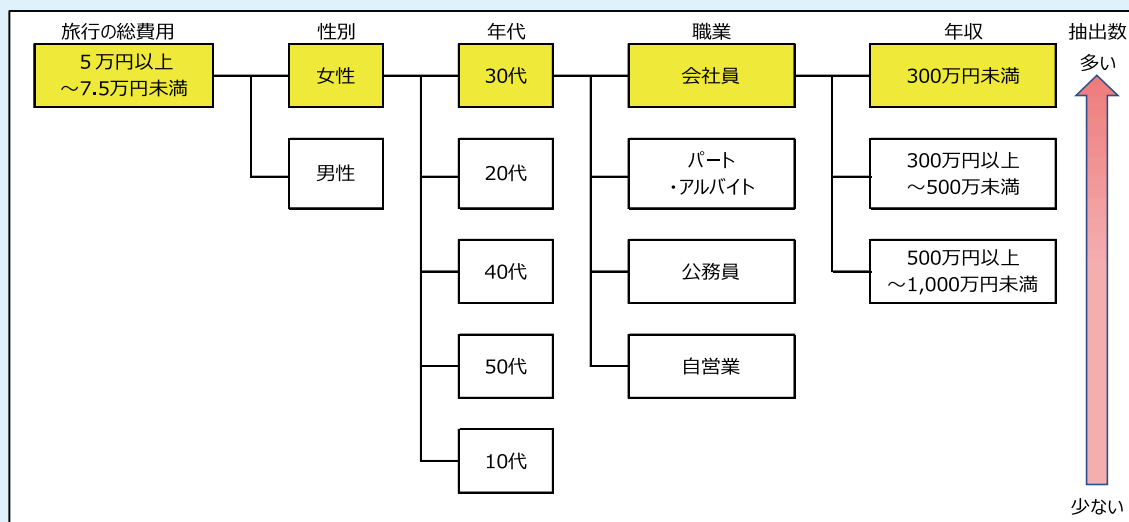
出所: リゅうぎん総合研究所にて作成

②直接支出額への貢献度が高い属性

続いて、各大会の直接支出額への貢献度が高い属性について、前述の直接支出額が高い費用帯を起点として、ツリー分析²により抽出した(図表26)。その結果、観るスポーツにおいては

「30代の女性」、するスポーツについては「50代の男性」が最も多く抽出され、前項のアンケート結果における来場者数が最多の属性と一致し、それぞれ貢献度が高いことが推測される(図表27)。

図表26 ツリー分析手法(例:Bリーグ)



出所: リゅうぎん総合研究所にて作成

図表27 大会別の最も直接支出額が高い属性

大会名	旅行の総費用	性別	年代	職業	年収
Bリーグ (n=245)	5万円以上～7.5万円未満 (82)	女性 (55)	30代 (19)	会社員 (14)	300万円未満 (5)
ツール・ド・おきなわ (n=252)	10万円以上～15万円未満 (83)	男性 (62)	50代 (22)	会社員 (18)	500万円以上～1,000万円未満 (7)
石垣島マラソン (n=214)	7.5万円以上～10万円未満 (53)	男性 (38)	50代 (18)	会社員 (12)	1,000万円以上～1,800万円未満 (9)
NAHAマラソン (n=232)	7.5万円以上～10万円未満 (65)	男性 (53)	50代 (16)	会社員 (16)	500万円以上～1,000万円未満 (9)

※ () 内は抽出数

出所: リゅうぎん総合研究所にて作成

5.スポーツツーリズムの課題の整理

これまでのアンケートの分析結果や直接支出額の試算を踏まえ、スポーツツーリズムの誘客促進に向けた課題について整理した。

(1)来場者数の増加および質の向上

人口減少が進む中で今後も継続的にスポーツイベントを行うためには、一定規模の来場者数の維持が求められる。アンケートの結果から、観るスポーツではBリーグの人気もあり若年層の来場が多い一方、するスポーツでは中年の割合が多いことがわかった。このことから、ターゲット層にリーチする戦略的なプロモーションのほか、満足度向上に繋がる情報発信やコンテンツの造成等を行いリピーターの確保に向けた方策の検討が必要である。

(2)消費額の増加

スポーツイベントは一度に数千人から数万人の参加があり、各大会の直接支出額は数億円にのぼることがわかった。一方で、各大会への県外からの参加者の一人当たりの平均直接支出額と沖縄県の観光全体消費単価を比較すると、スポーツツーリズム消費単価は観光全体消費単価より低くなっていることが推測される結果となった。また、各大会ともに参加者の多くは大会会場付近に宿泊する傾向があるほか、参加者の約7割は大会前後で一般観光を行っていることがわかった。以上のことから、消費単価向上に向けた取り組みとして、会場周辺の飲食・観光情報の発信の強化だけでなく、大会前後に楽しめる観光ツアーの造成および大会関連イベントの開催など、沖縄全体を周遊させるコンテンツの提供や長期的な滞在を促す仕

組みづくりを行い、滞在日数の延伸を促す方策の検討が必要である。

(3)スポーツ関連施設の整備・充実化

昨今、全国各地でアリーナ・スタジアム建設が進んでおり、沖縄県においても2021年に沖縄アリーナが開業された。2023年8月にはFIBAバスケットボールワールドカップ2023が沖縄アリーナで開催され、当大会を通しての県内経済効果は約107億円に上った。また、沖縄県は2031年度までにJリーグ規格スタジアムを開業する計画を発表し、スポーツイベントを通じた地域経済への効果が期待される。以上のことから、アリーナ・スタジアムを活用したスポーツイベントはアウェイツーリズムを推進し、地域経済の中核となることが期待されることから、地域・観光拠点となるスポーツ関連施設の整備・充実化を図り、国際競技大会の開催など各種スポーツコンベンションへの対応に係る検討が必要である。

6.最後に

今回のアンケート調査を通して、スポーツ大会の来場者について大会別・分類別にその特徴を探ることができた。今後もターゲット層の明確化とスポーツコンテンツの需要動向をリアルタイムで把握し、上記の課題に対する取組みの効果を検証するため定期的なアンケート調査の実施が必要である。また、必要に応じてアンケート対象や質問内容についても検討が必要であろう。

今回の調査を起点に、沖縄県のスポーツツーリズムの振興に資する効果的な取組みの実施を期待したい。

1. 2019年度=100として指数化。2020年度および2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から4-6月期、7-9月期の調査は実施せず。同時期はスポーツ大会・キャンプなどの開催件数もわずかであったため、回答割合は0%として試算。
2. ツリー分析は株式会社琉球銀行営業統括部様の協力のもと共同で分析した。

7. 添付資料

スポーツ大会参加に係る実態調査

(1) 調査概要

① 調査対象

下記4つのスポーツ大会における沖縄県外(国内・海外)からの来場者

大会名	調査期間	回答数
Bリーグオールスター2024 (以降、Bリーグ)	2024年1月13日(土) ～2024年1月14日(日)	245
第35回ツール・ド・おきなわ (以降、ツール・ド・おきなわ)	2023年11月10日(金) ～2023年11月11日(土)	252
石垣島マラソン2024 (以降、石垣島マラソン)	2024年1月20日(土)	214
NAHAマラソン第37回大会 (以降、NAHAマラソン)	2024年12月2日(土) ～2024年12月3日(日)	326

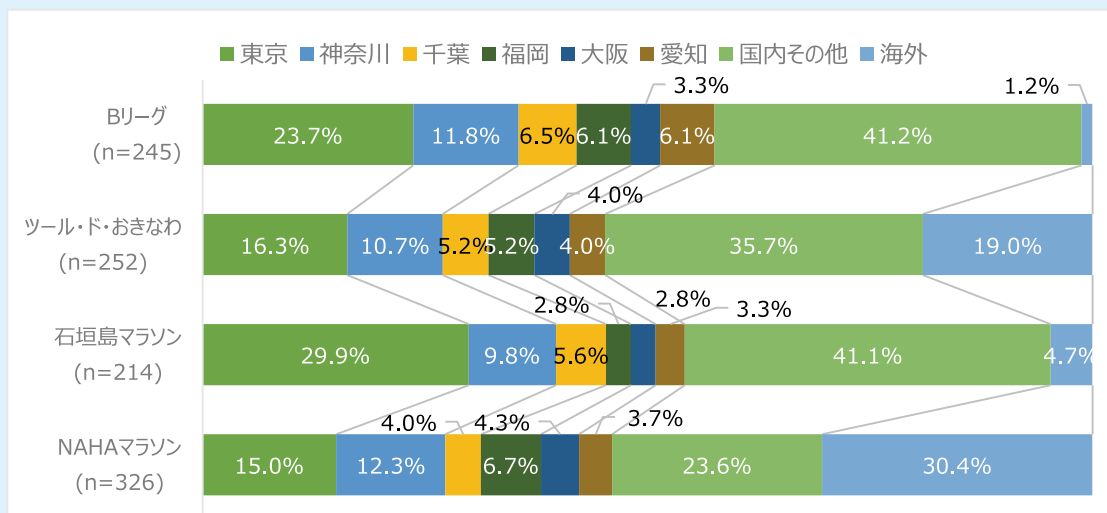
② 調査方法

大会会場にて任意の来場者にQRコードを配布し、WEB形式の選択式のアンケート調査を実施。

(2) 調査概要

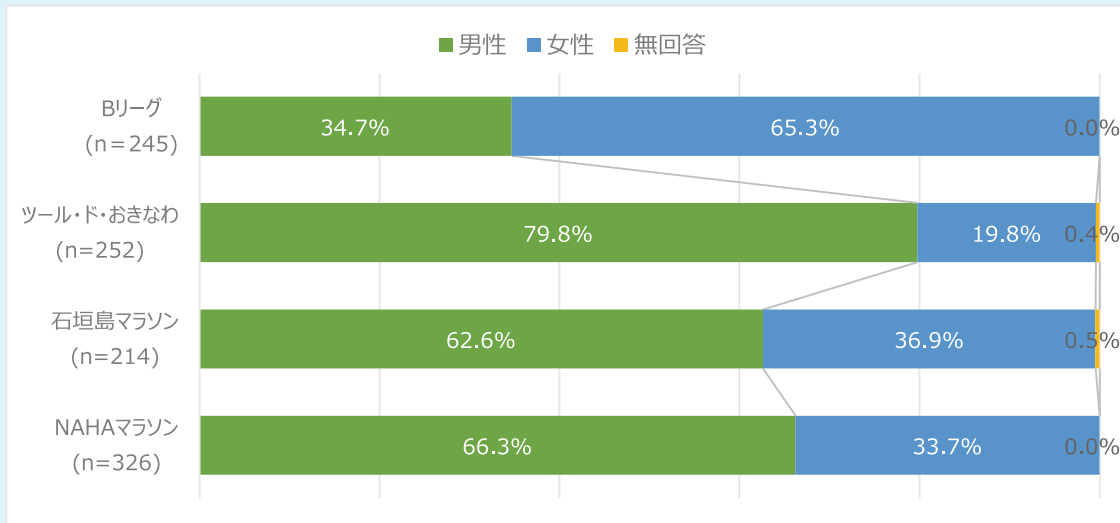
① 現在のお住まいを教えてください。

・各大会とも県外(国内)からの来場者が約7割以上を占め、国内では「東京」が最も割合が高くなった。



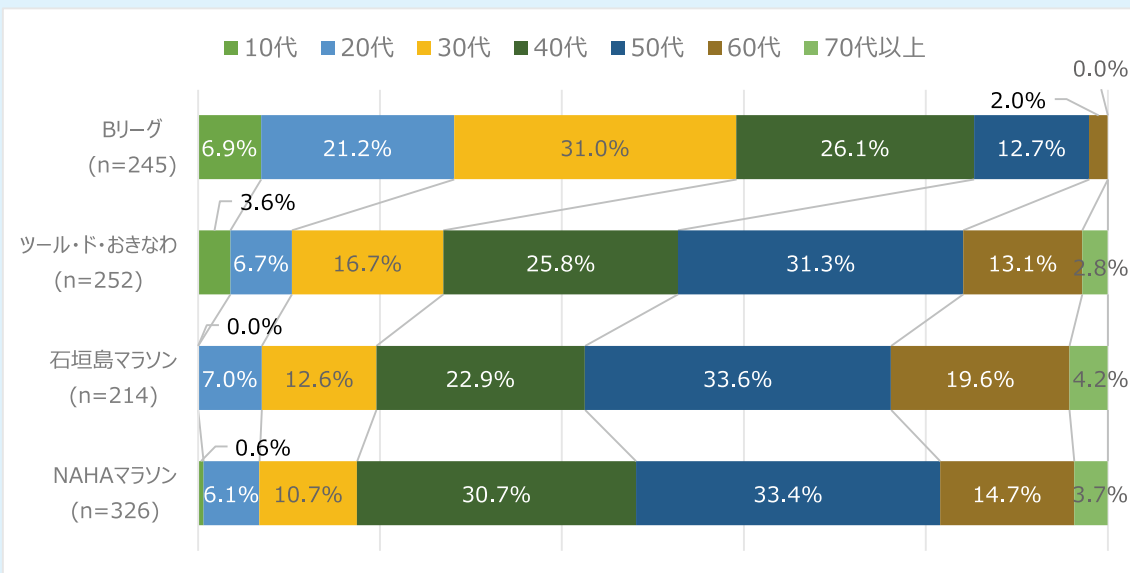
②性別を教えてください。

・Bリーグでは「女性」が約7割、ツール・ド・おきなわおよび石垣島マラソン、NAHAマラソンでは「男性」約6～7割となった。



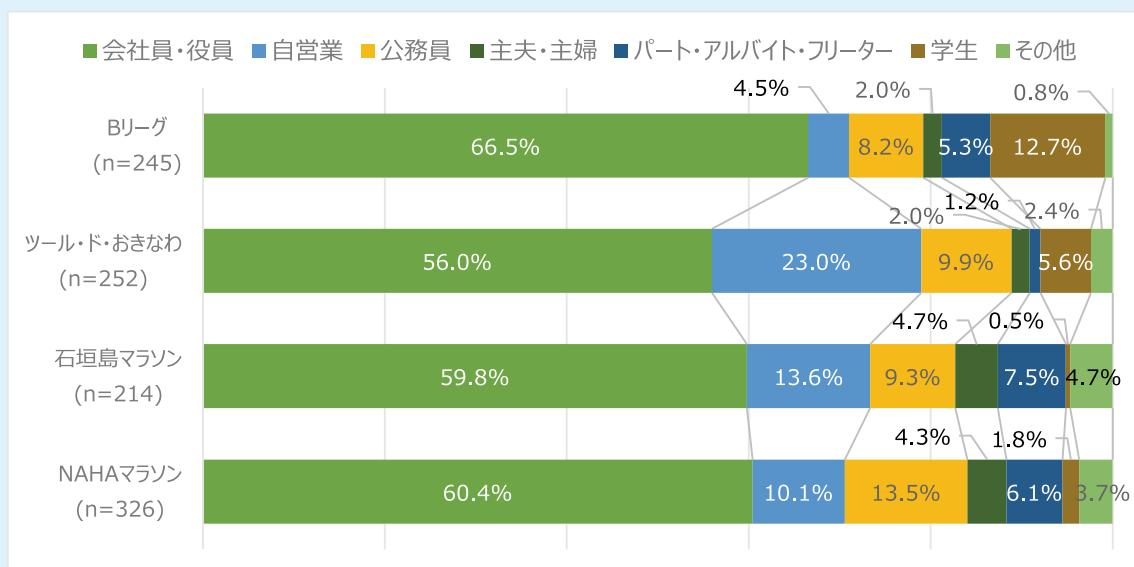
③年代を教えてください。

・Bリーグは「30代」が約3割、ツール・ド・おきなわおよび石垣島マラソン、NAHAマラソンは「50代」が約3割となった。



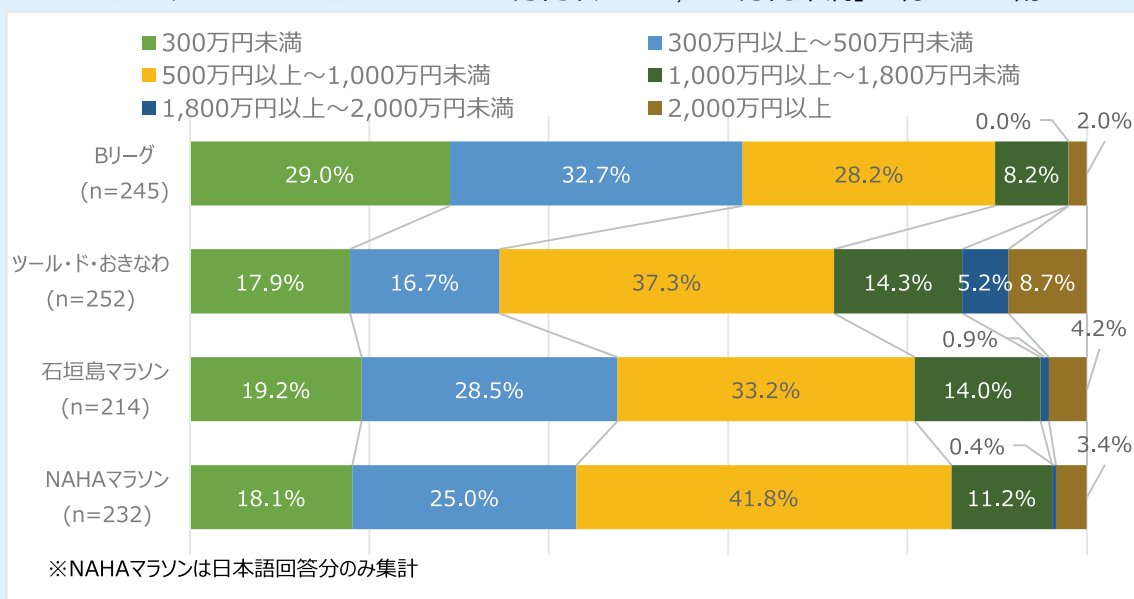
④ご職業を教えてください。

・各大会ともに「会社員・会社役員」が約6割となった。



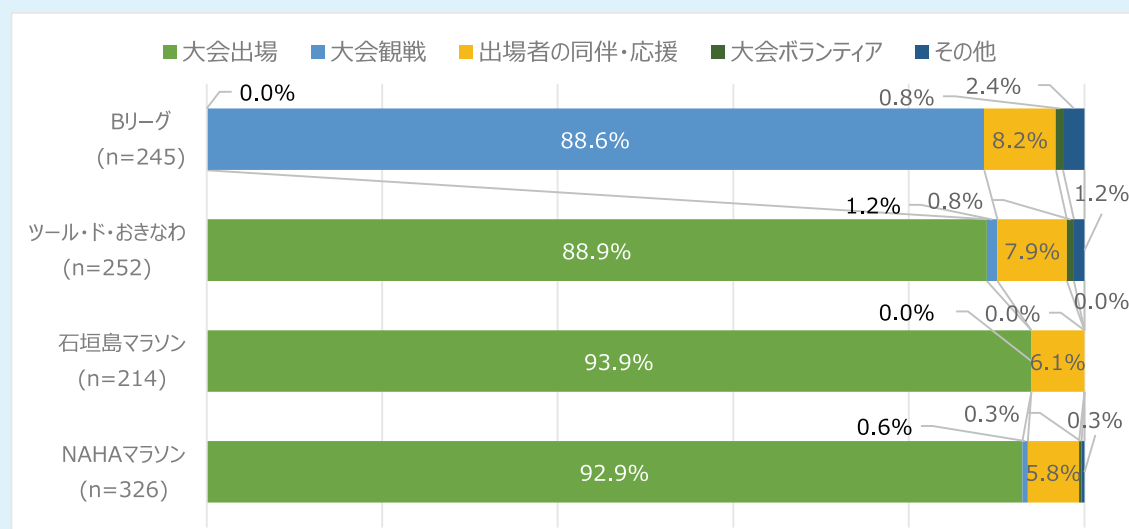
⑤年収を教えてください。

・Bリーグは「300万円以上～500万円未満」が約3割、ツール・ド・おきなわおよび石垣島マラソン、NAHAマラソンでは「500万円以上～1,000万円未満」が約3～4割となった。



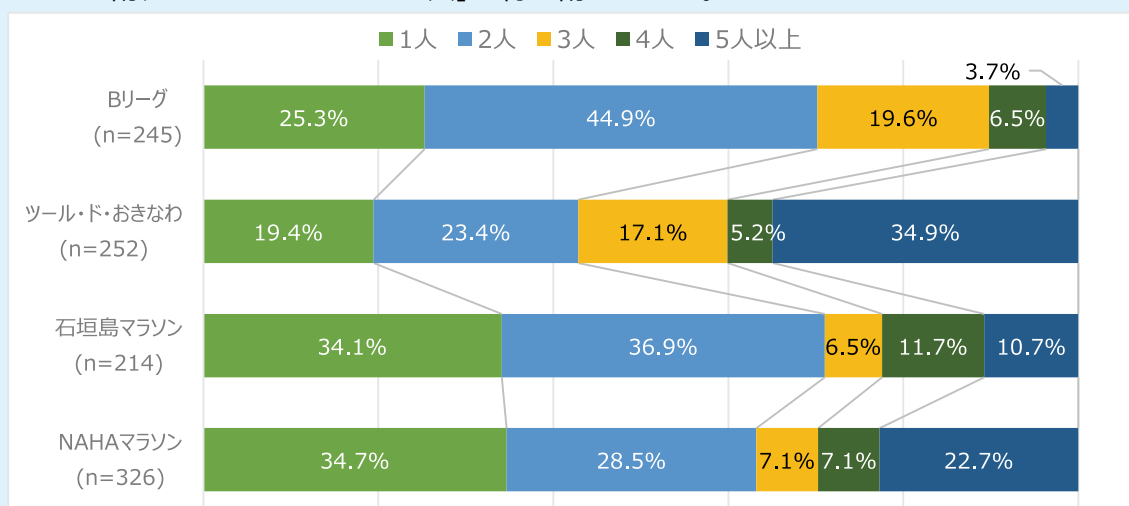
⑥今回の旅の目的を教えてください。

・Bリーグは「大会観戦」が約9割、ツール・ド・おきなわおよび石垣島マラソン、NAHAマラソンは「大会出場」が約9割となった。



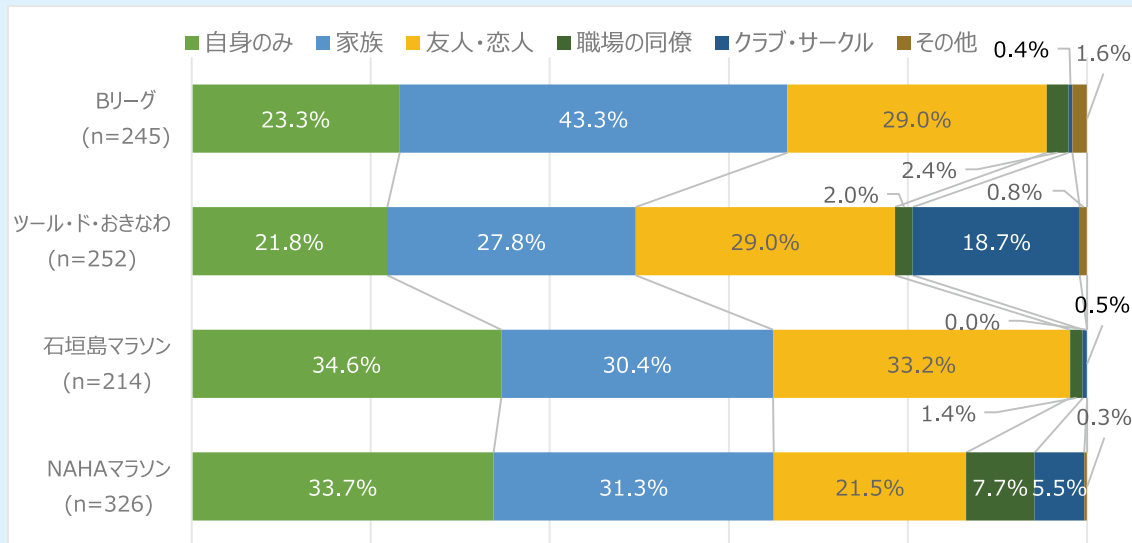
⑦今回の旅行の人数を教えてください。(本人含む)

・Bリーグおよび石垣島マラソンは「2人」が約4割、ツール・ド・おきなわは「5人以上」が約3割、NAHAマラソンは「1人」が約3割となった。



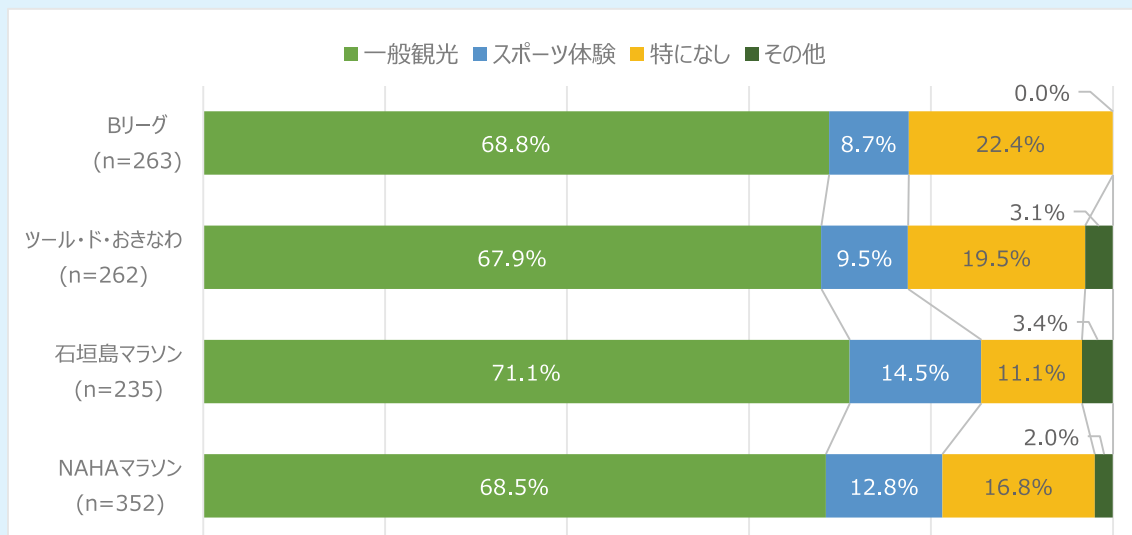
⑧どなたと一緒に来ましたか。

・Bリーグは「家族」が約4割、ツール・ド・おきなわは「友人・恋人」が約3割、石垣島マラソンおよびNAHAマラソンは「自身のみ」が約3割となった。



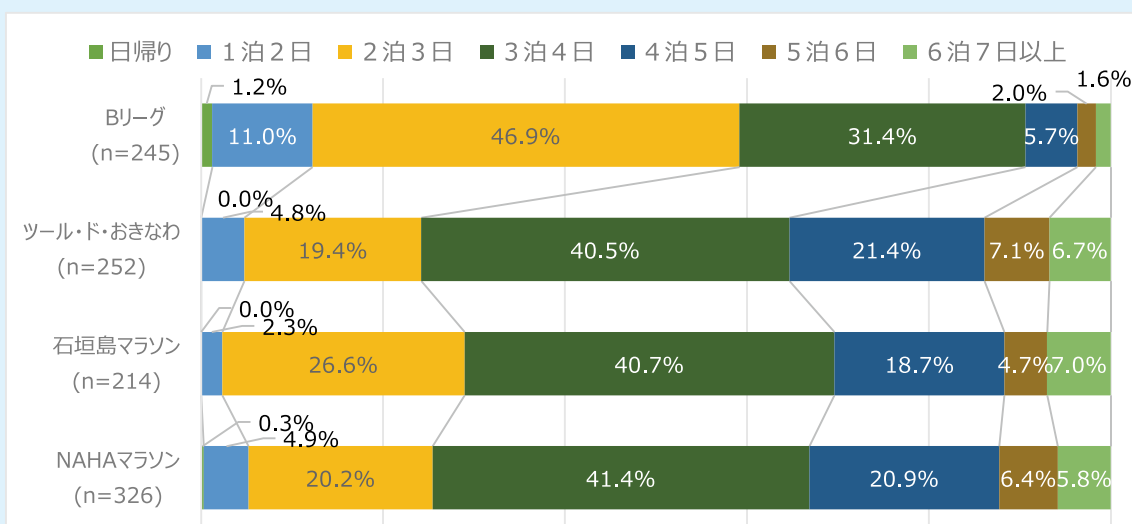
⑨大会(試合観戦)以外はどのように過ごしますか、または過ごされましたか。(複数回答可)

・各大会とも「一般観光」が約7割となった。



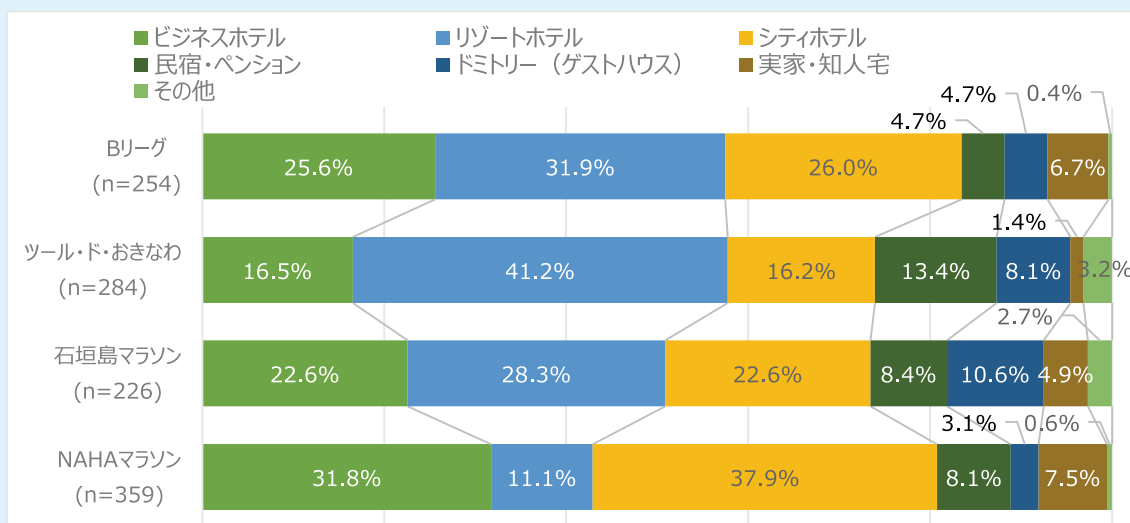
⑩滞在日数を教えてください。

・Bリーグは「2泊3日」が約5割、ツール・ド・おきなわおよび石垣島マラソン、NAHAマラソンは「3泊4日」が約4割となった。



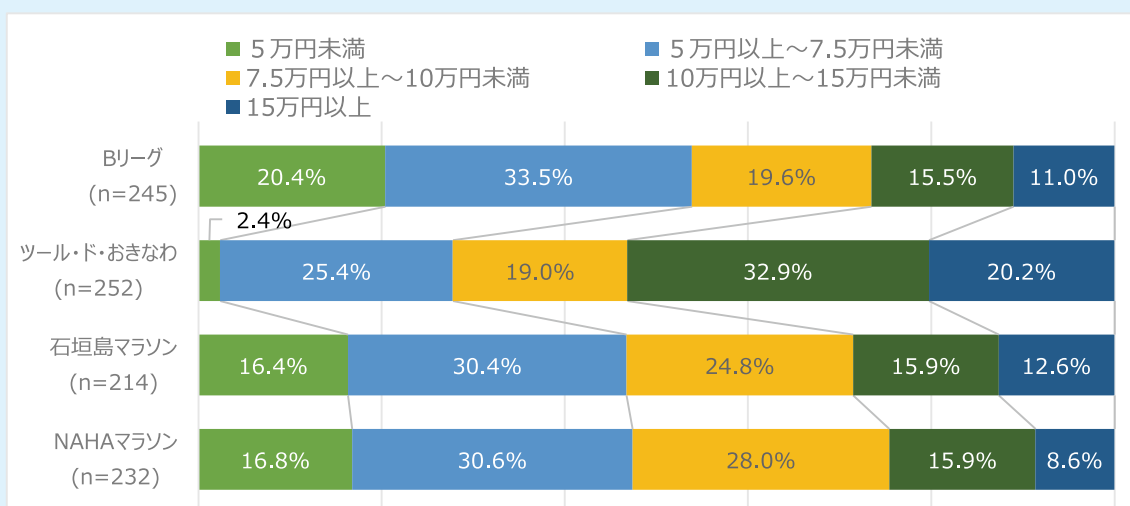
⑪今回利用される宿泊施設について教えてください。(複数回答可)

・Bリーグおよびツール・ド・おきなわ、石垣島マラソンは「リゾートホテル」が約3～4割、NAHAマラソンは「シティホテル」が約4割となった。



⑫今回の旅の総費用(大会参加費用や沖縄までの交通費含む)を教えてください。(予定含む)

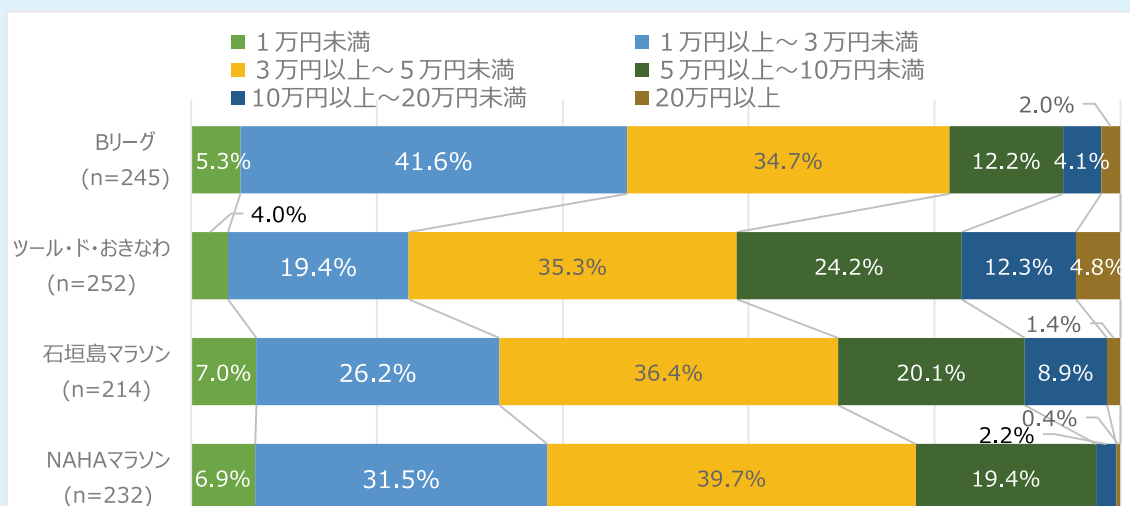
・Bリーグおよび石垣島マラソン、NAHAマラソンは「5万円以上～7.5万円未満」が約3割、ツール・ド・おきなわは「10万円以上～15万円未満」が約3割となった。



※NAHAマラソンは日本語回答分のみ集計

⑬沖縄までの渡航代(航空券・船など)を教えてください。

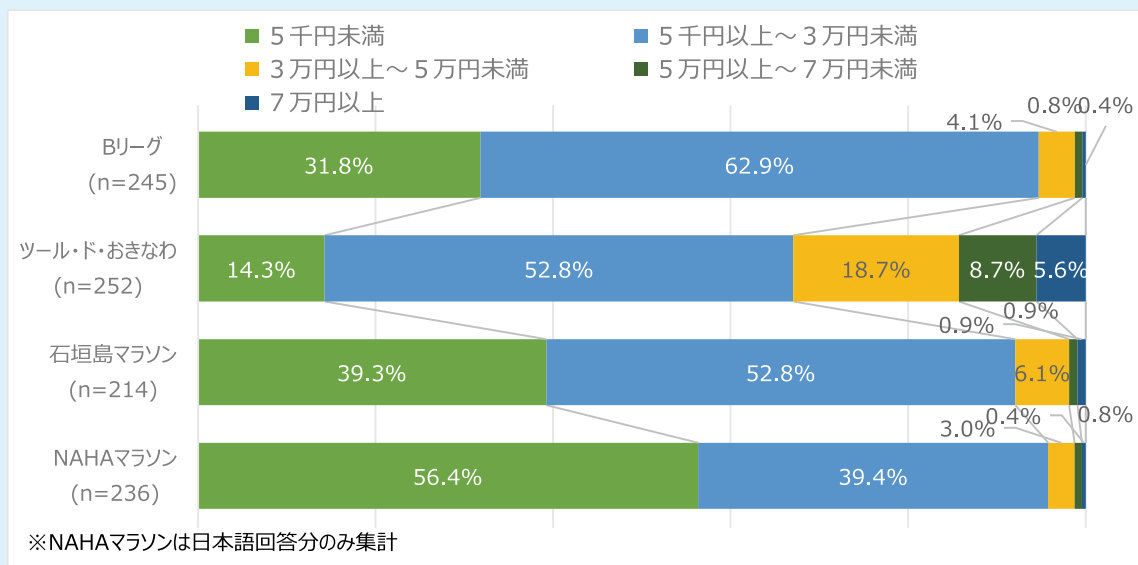
・Bリーグは「1万円以上～3万円未満」が約4割、ツール・ド・おきなわおよび石垣島マラソン、NAHAマラソンは「3万円以上～5万円未満」が約4割となった。



※NAHAマラソンは日本語回答分のみ集計

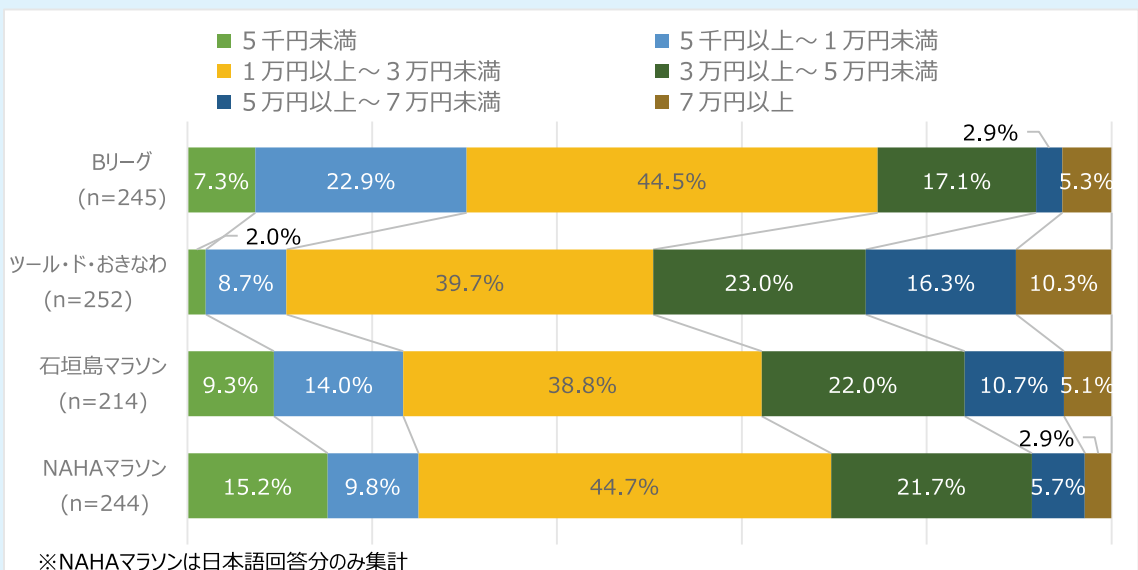
⑭沖縄県内の移動費(レンタカー・バス・タクシーなど)を教えてください。

・Bリーグおよびツール・ド・おきなわおよび石垣島マラソンは「5千円以上～3万円未満」が約5～6割、NAHAマラソンは「5千円未満」が約6割となった。



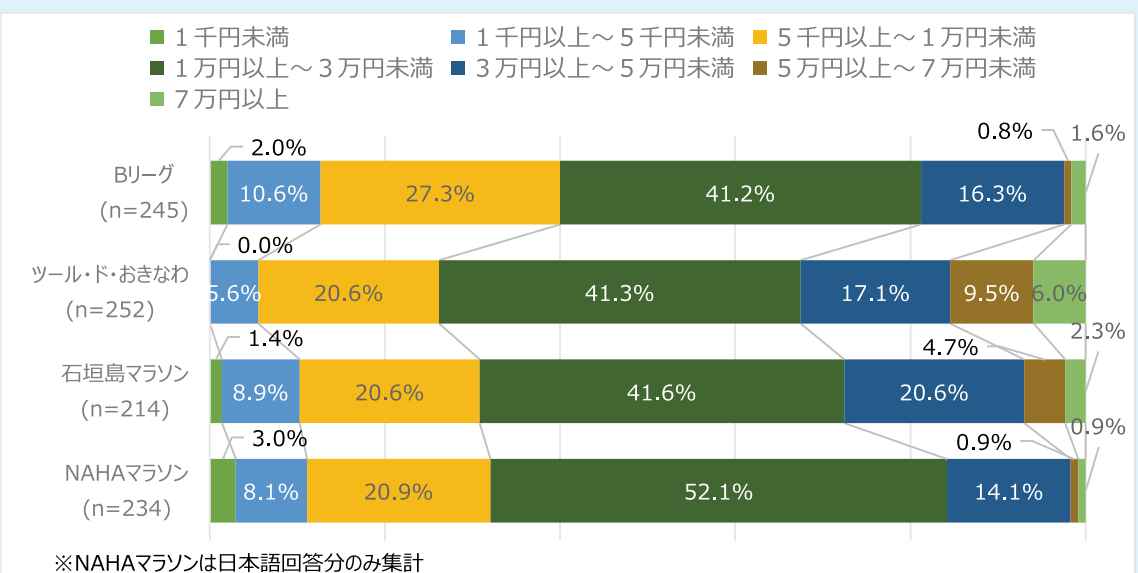
⑮宿泊費を教えてください。

・各大会とも「1万円以上～3万円未満」が約4割となった。



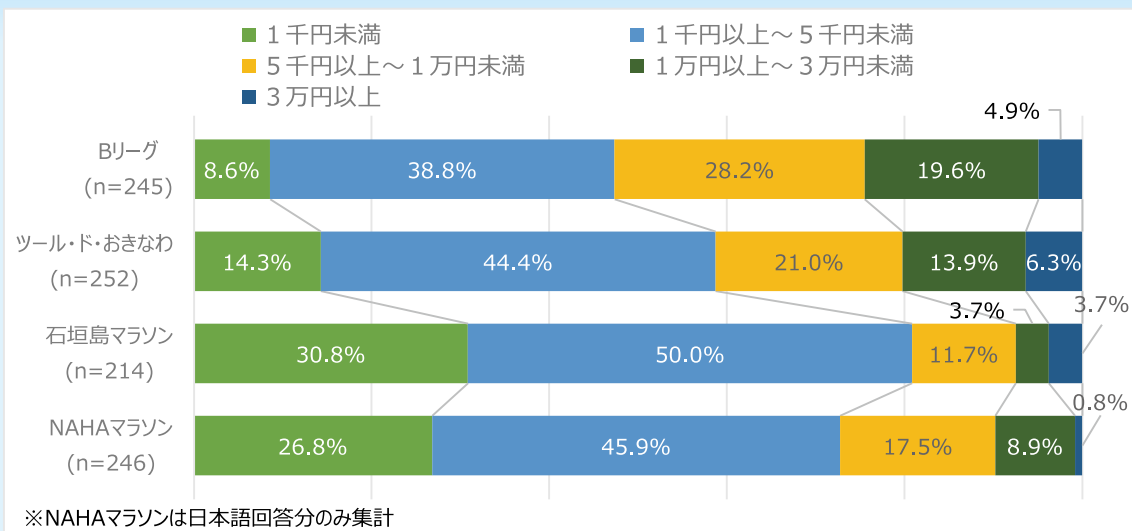
⑯飲食費を教えてください。

・各大会とも「1万円以上～3万円未満」が約4～5割となった。



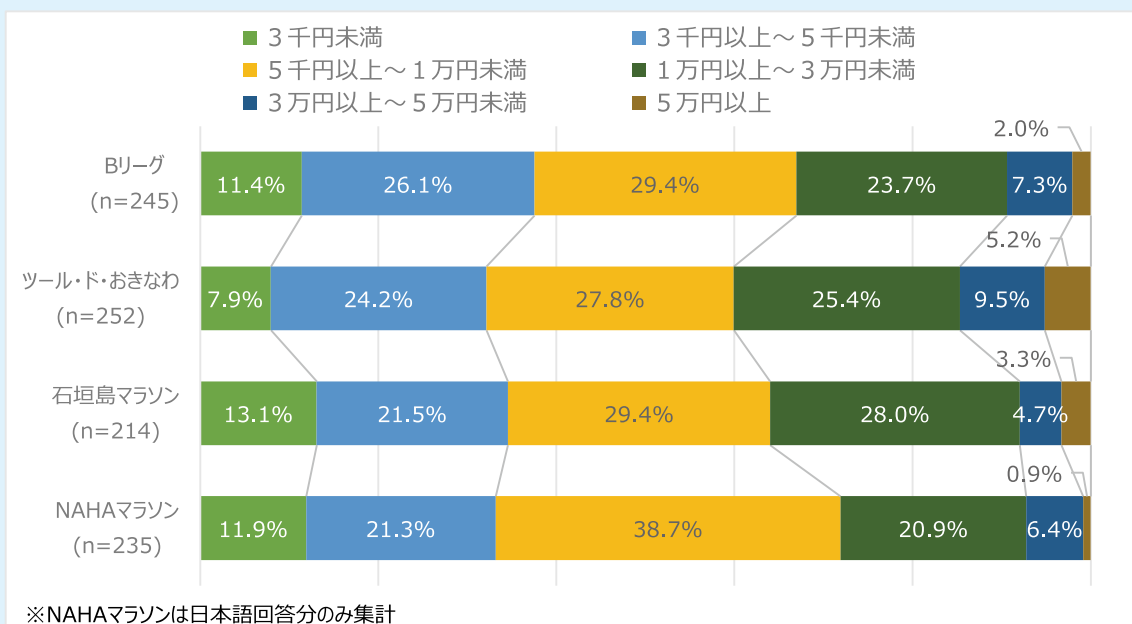
⑰大会会場内での消費(飲食、物販購入など)を教えてください。

・各大会とも「1千円以上～5千円未満」が約4～5割となった。



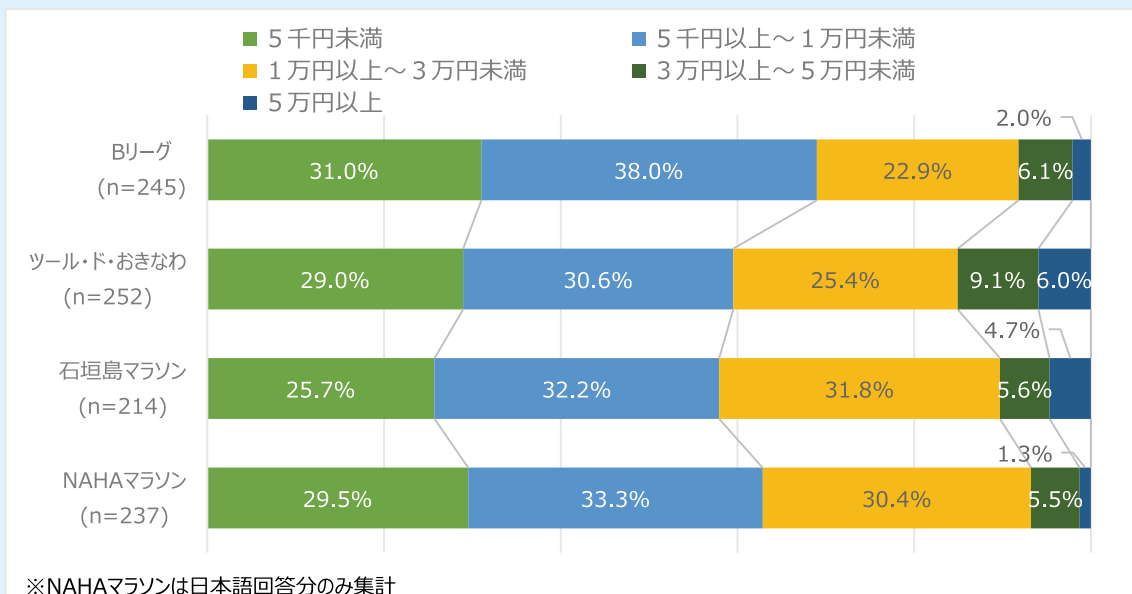
⑱おみやげ代を教えてください。

・各大会とも「5千円以上～1万円未満」が約3～4割となった。



⑲その他費用(娯楽、観光)を教えてください。

・各大会とも「5千円以上～1万円未満」が約3～4割となった。



⑳今回のご旅行を通して、沖縄県へのご意見(大会の運営以外)があればお聞かせください。
(記述式)

・アンケートの回答より一部抜粋し、大会毎に記載した。

B リーグ

- ・ 朝ごはんを食べられるところが少なかった
- ・ 交通手段(県内)が難しいです
- ・ 交通の便がよりよいとうれしいです
- ・ ゆいレールとカーシェアの連動
- ・ ゆいレールとカーシェアリングの最終駅での接続
- ・ 沖縄大好きです！車の運転が下手なので、ゆいレールがもっと延伸したらいいな…
- ・ 交通が自家用車での移動をメインにしているようなので、普段電車メインで生活している感覚だとちょっと大変でした。
- ・ 那覇市からアリーナまでの直通バスがあれば良いと思います
- ・ バスの一日乗車券があると助かります
- ・ 那覇から中部まで来るバスの本数を増やしてほしい。臨時バスなど出してほしい。
- ・ 空港からのバスの本数を増やしてくれたら嬉しいです！
- ・ バス路線図がわかりやすいとよいです
- ・ 沖縄でスポーツ大会があると観光とセットで魅力が二倍三倍で素晴らしいです！

ツール・ド・おきなわ

- ・ 自転車がある場合には空港までレンタカーの乗り入れを認めて欲しい。レンタカー会社まで乗せられないことが多いです。
- ・ 空港からレンタカー駐車場までのアクセスが悪かった。
- ・ 交通面の利便性の向上をのぞみます。
- ・ 那覇空港からのピストン送迎があれば最高だと思う。
- ・ 空港から名護までのバスに自転車が乗せづらい。複数人できたら同じバスに乗れない場合もあると思う。
- ・ パックツアーがあれば
- ・ 大会時以外のサイクリング情報などあれば良いです
- ・ 10年以上、毎年来てます。サイクルイベントをもっと増やしてほしい。
- ・ 名護がサイクリングフレンドリーな場所なこと、もっと知られてほしい！大会以外にもサイクリングツアーを組んでほしいくらいです。
- ・ 毎年おきなわ観光の機会にもなってます
- ・ 初参加ですが、今後もツールド沖縄続けてください。

石垣島マラソン

- ・ 大会用に駐車場を開放してほしいです
- ・ 八重山郡に来たついでに離島を訪問するのだが、船の便数が少なくてロスタイムが大きい。
- ・ 観光施設の新設
- ・ 観光をもっと盛り上げてほしい
- ・ いろいろなイベント芸能があればきたいです
- ・ 海岸線にゴミが目立つかな
- ・ ビーチクリーンも沖縄を訪れた方のアクティビティに加えてほしい。
- ・ マラソン応援の情報が少ない
- ・ 沖縄大好きです。自然保護をよろしくお願いします。
- ・ 石垣島良いところです、また来たいです。
- ・ 古き良き石垣島を残しつつ発展してほしい

NAHA マラソン

- ・ レンタカーの割引があると嬉しいです。
- ・ マラソン走った後に温泉行きたいので割引チケット入っていたら嬉しいです。
- ・ 観光の移動手段が少ないと感じる
- ・ 交通の便をよりよくお願いします
- ・ 飛行機の混雑解消
- ・ グルメ情報を知りたい
- ・ 空港の駐車場が少ない
- ・ ホスピタリティ溢れる対応有難うございます！
- ・ 宿泊代が高騰してるので、安くなってほしい。
- ・ 県民が皆さん、親切で温かい、また来てしまいました！
- ・ ホスピタリティ溢れる対応有難うございます！
- ・ Good job!
- ・ 希望台日繼續友好
- ・ 非常棒謝謝

【補注】

直接支出額を求める式は以下の通りである。

直接支出額(下限) = 最低支出額 × 各費用帯の回答割合 × 参加者数
 直接支出額(上限) = 最大支出額 × 各費用帯の回答割合 × 参加者数

※最低支出額: 各費用内訳における最低金額
 ※最大支出額: 各費用内訳における最大金額
 ※回答割合: 各費用内訳の回答割合
 ※参加者数: 各大会の県外からの参加者数



沖縄県内における2024年 プロ野球春季キャンプ の経済効果

経済効果は過去最高の
177億9,300万円



りゅうぎん総合研究所
研究員

城 間 櫻

要 旨

- ・ 2024年の沖縄県内におけるプロ野球春季キャンプの経済効果は、177億9,300万円となり、2023年の101億5,300万円を大きく上回った。
- ・ 延べ観客数は約45万7,000人となり、前年(37万9,000人)から20.6%増となった。うち県外からの観客数は約9万8,000人と推測された。
- ・ 今年は新型コロナ5類移行後初のキャンプシーズンとなり人流回復の動きが強くみられ、各キャンプ地は連日、県内外から訪れる多くの観客で賑わいをみせた。経済効果、観客数はともにコロナ禍前の2019年(経済効果141億3,100万円、観客数40万8,000人)を上回り過去最高となった。
- ・ プロ野球春季キャンプは、観光のオフシーズンに多くの観客や関係者が来沖し消費活動を行うことから「観光消費額の平準化」に寄与し、県経済に与えるインパクトは大きい。経済効果の最大化を目指すにあたり、観光消費額の大きい県外客の誘客および消費行動を促すことが重要である。
- ・ また、地元飲食店や土産品店の出店促進は、キャンプ地の賑わい創出及び来場者の消費行動を促し、経済効果に大きく影響する。
- ・ さらにプロ野球春季キャンプにおける誘客は、沖縄観光の新たな客層の獲得及びリピーター創出につながる。温暖な気候を活かした「スポーツアイランド沖縄」の形成は沖縄観光発展の重要な位置を占めており、プロ野球春季キャンプはスポーツツーリズム推進の一翼を担う存在として、継続・進化していくことが期待される。そのためには県や自治体、地元事業者、そして地域住民が一体となって持続可能な受け入れ態勢を構築していくことが不可欠である。
- ・ 今後もキャンプ集積地としての付加価値向上を図り、沖縄のスポーツ産業を牽引する観光コンテンツとしてさらに発展していくことが望まれる。

1. 2024年の春季キャンプの概要

(1) キャンプ実施球団の状況

2024年2月に沖縄県内で春季キャンプを実施した国内プロ野球球団は、12球団中9球団となった。前年と同様、1軍キャンプは9球団、2軍キャンプは5球団となり、開催球場は14球場となった(図表1)。キャンプ期間は前年と同程度であった。

今年は2023年5月に新型コロナウイルス感染症の法的な位置づけが5類に移行されてから初のキャンプシーズンを迎えた。各会場は連日多くのファンで賑わい、県内外からの延べ観客数はコロナ禍前の2019年の観客数を上回り、過去最高を記録した。

その他、日本シリーズで38年ぶりの日本一に輝いた阪神や、球団創設20年の節目に今江敏晃新監督を迎えた楽天のキャンプ実施が注目を集めた。選手では、選手会長に就任した巨人の大城卓三選手、昨季ルーキーイヤーで一軍デビューを果たした中日の仲地礼亜選手といった県出身選手のキャンプイン、DeNAのドラフト1位ルーキーの度会隆輝選手のキャンプ初参加などが話題を呼んだ。

(2) キャンプ参加者・観客の人数

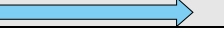
① 選手・球団関係者・報道陣

キャンプ参加人数は、選手(1～2軍計)・球団関係者は全9球団合計で約1,180人(前年と同数)となり、報道関係者や解説者は約1,800人(前年比200人減)となった。報道関係者や解説者は、県出身選手の参加や、38年ぶりの日本一で反響を巻き起こした阪神のキャンプインなどが注目を集めた。一方で、県内へ訪れる報道関係者は減少した。2月前半に実施された巨人の宮崎キャンプでは松井秀喜氏が臨時コーチを務めるなど話題が多く、そうした影響も一因として考えられる。

② 観客数

キャンプ期間中の延べ観客数は、約45万7,000人(オープン戦含む)となった。天候に恵まれた日が多く、新型コロナ5類移行から9カ月が経ち迎えたキャンプシーズンとなったこともあり、前年(約37万9,000人)から7万8,000人増と大幅に増加した。さらに、これまでで最も多くの観客数を集めた2019年(約40万8,000

(図表1) 沖縄県内における2024年春季キャンプの実施状況

球団名 (略称)	キャンプ地	開催球場	キャンプ期間	
			2月	日程
北海道日本ハムファイターズ (日本ハム)	名護市	タビックススタジアム名護		2/1 ~ 2/25
	(二軍) 国頭村	かいぎんスタジアム国頭		2/1 ~ 2/24
広島東洋カープ (広島)	沖縄市	コザしんきんスタジアム		2/15 ~ 2/27
中日ドラゴンズ (中日)	北谷町	Agreスタジアム北谷		2/1 ~ 2/25
	(二軍) 読谷村	オキハム読谷平和の森球場		2/1 ~ 2/24
横浜DeNAベイスターズ (DeNA)	宜野湾市	ユニオンですからスタジアム宜野湾		2/1 ~ 2/25
東京ヤクルトスワローズ (ヤクルト)	浦添市	ANA BALL PARK 浦添		2/1 ~ 2/28
阪神タイガース (阪神)	宜野座村	バイトするならエントリー宜野座スタジアム		2/1 ~ 2/27
	(二軍) うるま市	具志川野球場		2/1 ~ 2/27
東北楽天ゴールデンイーグルス (楽天)	金武町	金武町ベースボールスタジアム		2/1 ~ 2/18
	(二軍) 久米島町	久米島野球場		2/1 ~ 2/18
千葉ロッテマリーンズ (ロッテ)	石垣市/ 糸満市	石垣市中央運動公園野球場/ 糸満市西崎総合運動公園		2/1 ~ 2/25
	(二軍) 石垣市	石垣市中央運動公園野球場		2/1 ~ 2/25
読売ジャイアンツ (巨人)	那覇市	沖縄セルラースタジアム那覇		2/16 ~ 2/28

(出所) 球団HPおよびスポーツ紙報道よりリゅうぎん総合研究所作成

※球団は沖縄県でのキャンプを始めた年の順で掲載

人)を上回り、過去最高となった。

昨年はコロナ対策の規制が緩和され各球団による様々なファンサービスが3年ぶりに復活したが、マスクの着用や大声の禁止などを求める注意喚起も残っていた。今年はマスクなしで選手とファンが交流する姿が戻り、サイン会に長蛇の列ができるなど、各イベントの賑わいが目立った。特に阪神のキャンプ地は連日例年を超える県外ファンで賑わい、初日に開催された歓迎セレモニーも大盛況を収めるなど、日本一となった好影響がみられた。また、伝統の一戦として注目を集める巨人対阪神をはじめ、後半の3連休(2/23~25)に開催されたオープン戦では各会場で多くの観客を動員した。

コロナ禍前の2019年からの変化としては、名護市営球場が「タピックススタジアム名護」としてリニューアルオープンし、一部球場を変更していた日本ハムが2020年より再び名護でキャンプインするようになったことや、従来石垣市でキャンプを実施していたロッテが、2022年以降は一軍のキャンプ地を後半のみ糸満に移すようになったことなどが挙げられる。

延べ観客数のうち、県外からの観客数は約9万8,000人と推測され、前年(約4万9,000人)の2倍となった。人流回復の動きが強まっており、入域観光客数が増加したことが主な要因だと考えられる。加えて、期間中は概ね天候に恵まれたことや、3連休が2回あり日並びが良かったことなども追い風となった。また、韓国や台湾の野球チームとの試合観戦を目的とした外国客の来県もみられた。

2. 経済効果の試算について

(1) 春季キャンプの関連支出額(直接支出額)

キャンプでは、球団関係者のほかに県外からの観客が県内で宿泊、飲食、娯楽レジャー、土産品・グッズ購入などに支出するほか、多くの県民がキャンプ地へ出かけて飲食や土産品・グッズを購入する。また、キャンプ受け入れ地の自治体による練習施設等のインフラ整備や、協力会によるキャンプ応援のための関連経費の支出などがあり、これらを合計したものが直接支出額となる。

この直接支出額を推計すると、総額で129億1,900万円となり、前年(71億2,700万円)を57億9,200万円上回った(図表2)。

試算結果の内訳をみると、宿泊費が45億4,800万円でもっとも多く、次いで飲食費が25億6,800万円、

土産品・グッズ購入が18億9,100万円などとなった。観客数が増加したことに加え、宿泊費や飲食費を中心に1人あたりの単価が上昇したことなどから、多くの項目で大幅に増加した。練習施設等の整備費は、前年までのコロナ対策費の反動などが主因となり減少した。

(図表2) 2024年プロ野球春季キャンプ関連支出額(直接支出額)

支出項目		支出額 (百万円)	前年差 (百万円)
宿 泊 費		4,548	2,418
飲 食 費		2,568	1,009
土 産 品 ・ グ ッ ズ 購 入		1,891	1,011
交 通 費		1,408	686
娯 楽 ・ レ ジ ャ ー 費		1,112	569
練 習 施 設 等 の 整 備 費		410	▲129
ア ル バ イ ト へ の 支 払 い		112	15
ク リ ー ニ ン グ 代		86	1
施 設 等 使 用 料		69	10
そ の 他		716	202
合 計		12,919	5,792

(出所) りゅうぎん総合研究所

(2) 春季キャンプの沖縄県内における経済効果

まず、県内の産業全体の自給率は100%ではないため、(1)で求めた直接支出額129億1,900万円に自給率を掛けると県内で供給された分である111億1,100万円が求められ、これが直接効果となる(図表3)。

次に、直接効果である宿泊費、飲食費、交通費、施設整備費などが県内で支出されると、当該産業だけでなく、こうした産業に原材料、サービスなどを提供している産業の売上増加へと波及し

(図表3) 2024年プロ野球春季キャンプ
経済効果の試算結果

【単位:百万円】				
	経済効果 (生産誘発額)	【単位:百万円】		
		粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	営業余剰 誘発額
直 接 効 果	11,111	5,543	2,483	1,368
1 次 間 接 効 果	4,486	2,525	1,112	660
2 次 間 接 効 果	2,195	1,400	573	421
総合効果 (経済効果)	17,793	9,467	4,169	2,449
直 接 支 出 額	12,919	-		
波 及 効 果	1.4 (倍) …(総合効果/直接支出額)			

(出所) りゅうぎん総合研究所

- (注) 1. 直接効果は、直接の支出による効果(自給率が100%でなければ移輸入の分、直接支出額を下回る)。
2. 1次間接効果は、原材料を他の産業から購入することによって起こる波及効果。
3. 2次間接効果は、直接効果、1次間接効果によって生み出された雇用者所得の増加が個人消費の拡大を通して再び生産を誘発する効果。
4. 生産誘発額は、直接支出の増加により誘発された各部門の生産額の合計。
5. 付加価値は、誘発された生産額の中に占める粗付加価値(雇用者所得や営業余剰など)。
6. 端数処理により合計は合わないことがある。

ていく。これを1次間接効果といい、これが44億8,600万円となる。さらに、直接効果と1次間接効果で生じた各産業における雇用者の所得増加は、これら雇用者の消費支出を増加させ、関連する各産業の生産を誘発していく。これを2次間接効果といい、これが21億9,500万円となる。

これらの直接効果、1次間接効果、2次間接効果を合わせた金額が177億9,300万円となり、これがいわゆる県内におけるプロ野球春季キャンプの経済効果となる。

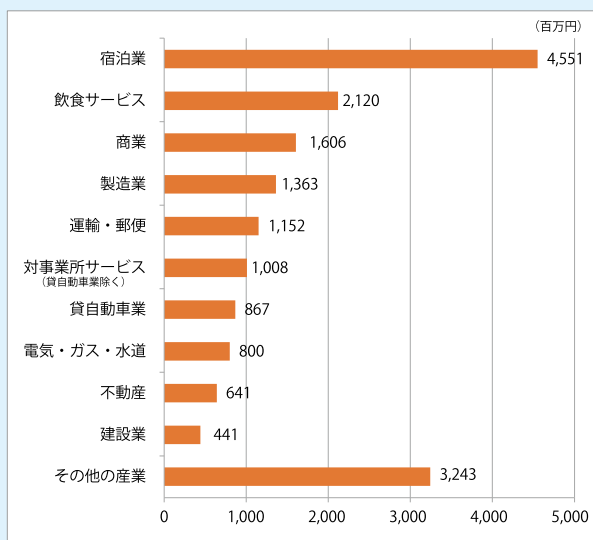
また、これらの効果のうち、賃金などの雇用者所得や企業の営業余剰などに当たる粗付加価値額が94億6,700万円となり、この中で雇用者所得が41億6,900万円となる。今年の経済効果である177億9,300万円は、前年(101億5,300万円)を76億4,000万円上回った。

(3) 産業別の経済効果

今年の経済効果である177億9,300万円を産業別にみると、宿泊業が45億5,100万円と最も大

きく、次いで飲食サービス(飲食店など)が21億2,000万円、商業が16億600万円、製造業が13億6,300万円、運輸・郵便が11億5,200万円などの順となった(図表4)。

(図表4) 2024年プロ野球春季キャンプにおける産業別経済効果



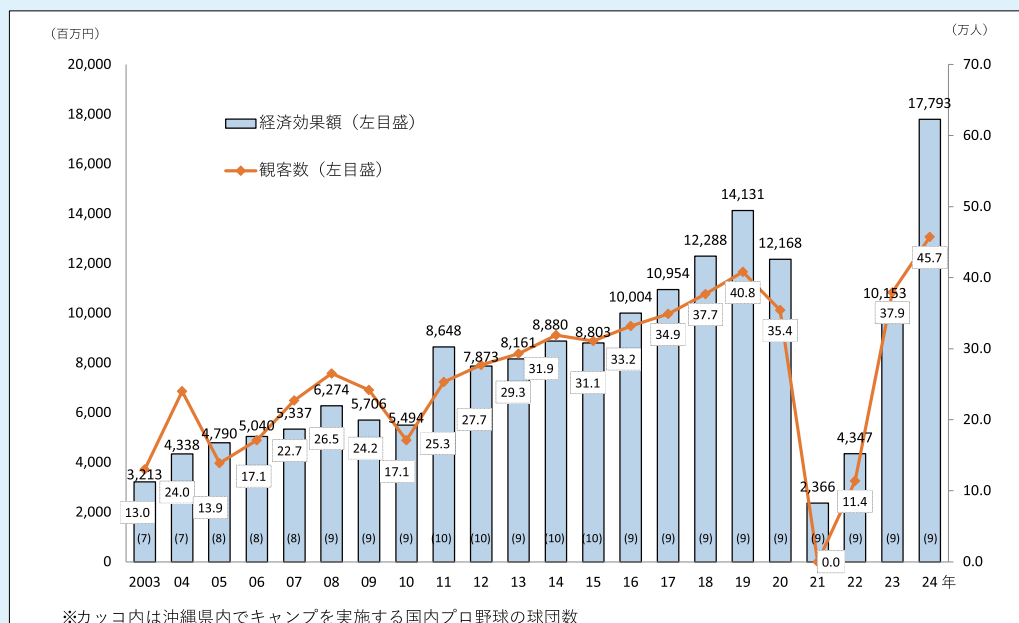
3. プロ野球春季キャンプ経済効果の拡大に向けた課題と展望

2024年の県内におけるプロ野球春季キャンプの経済効果は、前年比75.2%増と大幅に増加した(図表5)。キャンプ実施球団数は前年と同数の9球団となったが、新型コロナ5類移行後のキャンプシーズンとなり人流回復の動きが強くみられ、観客数が増加したことで全体の

消費額も大きくなり、経済効果の拡大に寄与した。

コロナ禍以前、最も経済効果の大きかった2019年との比較では25.9%増となった。観客数が約4万9,000人増加したことに加え、宿泊単価や物価の上昇などにより1人あたりの観光消費額が増加していることなどから、過去最高の経済効果となった。

(図表5) プロ野球春季キャンプの経済効果と観客数の推移



※カッコ内は沖縄県内でキャンプを実施する国内プロ野球の球団数
(出所) リゅうぎん総合研究所。カッコ内は沖縄県内でキャンプを実施する国内プロ野球の球団数

プロ野球春季キャンプは、観光閑散期である2月に多くの観客や関係者が来沖し消費活動を行うことから、県経済に与えるインパクトは大きい。ここでさらなる経済効果の拡大を目指すにあたり、(1)設備強化、(2)消費行動の促進、(3)交通問題の解消の3つの視点から、現状の課題を整理したい。

(1)設備強化

県内キャンプの継続実施に向け、これまで各自治体や協力会においては、球団側の要望に対し柔軟かつスピード感を持って対応してきた。特にハード面においては、近年加速する施設整備の状況からわかるように、球場の建て替えや改修、雨天時でも練習可能な屋内練習場やブルペンの併設など、よりレベルの高い練習環境の実現に努めており、こうした努力が球団側との信頼関係の構築に寄与している。

足元では、キャンプ受け入れ地である嘉手納町の嘉手納球場において、大規模な建て替え工事が行われており、県内初の全面人工芝を擁したプロ野球公式戦にも対応する球場施設として来季のオープンを見込んでいる。

一方で、老朽化が進む施設も多く、修繕や機能強化など更なるレベル向上を望む球団も多い。例えば、過去22年間宮古島でキャンプを実施してきたオリックスは、設備の老朽化などを背景に2015年からキャンプ地を宮崎市に移している。このことからキャンプ地として継続して選ばれるためには、設備の充実が大前提で

あることがうかがえる。安定したキャンプ実施に向け、引き続き球団側と密にコミュニケーションをとりながら、要望に出来る限り対応していくことが望まれる。

(2)消費行動の促進

今後、プロ野球春季キャンプ実施による経済効果の最大化を目指すにあたり、キャンプ地に訪れた観客の消費行動を促すことが重要である。各キャンプ地では球団のグッズ販売店が構えられ、ファンはキャンプ限定のTシャツやタオルを身に着けイベントムードを盛り上げていた。加えて地元飲食店の出店や導線を意識した会場づくりなど、キャンプ地の賑わい創出及び観客の消費を促進する仕掛けづくりに取り組む必要があろう。

例えば、宮崎市にてキャンプを実施したソフトバンクの会場では、20以上の店舗が立ち並び地元のグルメやお土産購入を楽しめるようになっている。また、バレンタイン限定メニューの販売や一定金額以上購入すると参加できる抽選会を設けるなど、観客の購買意欲を掻き立てる様々な工夫が凝らされている。

県内スポーツツーリズムの事例としては、毎年3月に南城市で開催される「ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメント」で、会場入り口に巨大なテントが設置され、南城市の人気レストラン『カフェくるくま』の出店や地元の特産品が販売されるなど、地場産業をPRする取り組みがなされている(写真1)。

(写真1)ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメントの様子



(出所)りゅうぎん総合研究所撮影



プロ野球春季キャンプでも各キャンプ地で複数のキッチンカーが並び飲食を楽しめるようになっているほか、例えば複数のキャンプ地では地元商店の周遊を促すスタンプラリーを導入している。沖縄県が発行する「プロ野球沖縄キャンプ攻略ガイドブック（以下、攻略ガイドブック）」には各キャンプ地周辺の飲食店や観光施設が紹介されるなど、キャンプ以外の沖縄観光を楽しめるような仕組みがある。こうした事業者と連携して地場産業を盛り上げる取り組みを強化し、より多くのファンを魅了するための施策を打ち出していくことは経済効果を高めるうえで必須である。

また、まずは観光消費額の多い県外客をメインターゲットとして誘客することが効果的だが、加えて県内客も来場したくなるような工夫を施すことも重要だと考える。それにより地元との一体感が増し、重要な観光コンテンツという位置づけのみならず、県内客にとっても一日中楽しめる総合イベントとしての定義が図れるだろう。

（３）交通問題の解消

交通面の課題も大きい。沖縄県の攻略ガイドブックでは、公共交通機関を使用する場合とレンタカーを使用する場合のモデルコースをそれぞれ提案しており、各球団へのアクセス方法がイメージしやすく、県外客の周遊を促す情報が充実している。

一方で、各キャンプ地では駐車場の不足や球場からの距離が課題となっている他、近隣観光施設や宿泊施設等への導線確保も十分であるとは言い難い。

例えば、宮崎キャンプでは、例年キャンプ地をつなぐシャトルバスが運行されており、アクセス性の向上、消費単価の向上を図る仕組みが構築されている（図表６）。

（図表６）宮崎市内キャンプ地周遊バス



（出所）宮崎県公式観光サイト みやざき観光ナビ「キャンプガイドマップ2024」より
<https://www.kanko-miyazaki.jp/sports/camp-list>
 （2024年7月12日閲覧）

スポーツツーリズムのみならず、交通面の課題は沖縄観光全体において対策が急務であり、裏を返せば沖縄プロ野球春季キャンプで好事例を創出することができれば、沖縄観光における交通問題解消の糸口となるのではないかと。本件に関しては特に、キャンプ関係者のみならず、観光産業に携わる全員で向き合うことが望まれる（図表７）。

(図表7) プロ野球春季キャンプの課題

プロ野球春季キャンプの経済効果拡大に向けた課題と施策案	
①設備強化	老朽化が進む球場施設の修繕や機能強化等、更なるレベル向上を図る
②消費行動の促進	観客の消費行動を促す仕掛けづくりで、県外客はもちろん県内客も楽しめる観光コンテンツとして進化させる 例) 地元飲食店や土産品店の出店促進、地場産業のPR
③交通問題の解消	周遊を促す情報発信を強化するとともに、各キャンプ地や観光施設等のアクセス性向上について、観光産業の関係者全体で検討する

⇒県・自治体・地元事業者が連携し、キャンプ集積地としての付加価値向上を図ること
(出所)りゅうぎん総合研究所

観光の閑散期に開催されるプロ野球春季キャンプは「観光消費額の平準化」に寄与する重要な観光コンテンツである。先述した課題に向き合い新たな施策を打ち出していくことは、プロ野球春季キャンプのイベントとしての魅力が向上するだけでなく、沖縄観光における新たな客層の獲得及びリピーター創出へとつながる。
また、温暖な気候を生かした「スポーツアイランド沖縄」の形成は沖縄観光発展の重要な位置づけを占めており、プロ野球春季キャンプはス

ポーツツーリズム推進の一翼を担う存在として、継続・進化していくことが期待される。それには県や自治体、地元事業者、そして地域住民を巻き込み、一体となって持続可能な受け入れ態勢を構築していくことが不可欠である。
各自治体の横連携、官民の連携強化によって、今後もキャンプ集積地としての付加価値向上を図り、県内のプロ野球春季キャンプが沖縄のスポーツ産業を牽引する観光コンテンツとしてさらに発展していくことに期待したい。

以上



【補注1】プロ野球春季キャンプの沖縄県内での実施状況(1979年～2019年)

暦年	日本ハム	広島	中日	DeNA	オリックス	ヤクルト	阪神	楽天	ロッテ	巨人	ソフトバンク	西武
1979	(投手陣) 名護市	◎						(○)				
80		◎						(○)				
81	(一軍) 名護市 ○									◎		
82		(一軍) 沖縄市	○									◎
83			(一軍) 石垣市							○		◎
84	(一軍) 名護市 (二軍) 宜野座村	◎			○							
85	(一軍のみ) 名護市		(投手陣) 具志川市				◎					○
86		○										◎
87			(一軍) 石川市 具志川市	(一軍) 宜野湾市						○		◎
88			○									◎
89			(一軍) 石川市 (二軍) 具志川市		(投手陣) 糸満市			(○)	(投手陣) 那覇市	◎		
90					(一軍) 糸満市					○	(一軍) 読谷村 (二軍) 嘉手納町	◎
91		○			(一軍) 糸満市 (二軍) 那覇市							◎
92						○						◎
93					(一、二軍) 平良市 糸満市	◎						○
94					(一、二軍) 平良市、糸満市、城辺町					◎		○
95					(一軍) 平良市 (二軍) 城辺町 ○	◎						
96	(一軍) 名護市 (二軍) 宜野座村		(一軍) 北谷町 (二軍) うるま市	(一軍) 宜野湾市 (二軍) 嘉手納町	◎					○		
97			(一軍) 石川市 (二軍) 読谷村			◎						○
98				◎								○
99			○								◎	
2000						(一軍) 浦添市				◎	○	
01						◎		(○)				
02										◎		○
03	(一軍) 名護市 (二軍) 東風平町						(一軍) 宜野座村 ○				◎	
04			(一、二軍) 北谷町 読谷村 ○		(一軍) 平良市 (二軍) 平良市、城辺町							◎
05			(一軍) 北谷町 (二軍) 読谷村 北谷町		(一軍のみ) 平良市		○	(一、二軍) 久米島町	◎			
06	(一軍) 名護市 (二軍) 八重瀬町→ 国頭村 ◎		(一軍) 北谷町 (二軍) 読谷村 ○		(一軍のみ) 宮古島市							
07	(一軍) 名護市 (二軍) 国頭村 ○		◎							○		
08									(一軍のみ) 石垣市	○		◎ ○
9	○				(一、二軍) 宮古島市	(一軍) 浦添市 (二軍) 八重瀬町				◎ ○		
10			○						◎		○	
11			○							(一軍のみ) 那覇市	◎ ○	
12	○									◎ ○		
13						(一軍のみ) 浦添市		◎ ○		○		
14									(一、二軍) 石垣市	○	◎ ○	
15					(二軍のみ) 宮古島市	○					◎ ○	
16	◎ ○	○										
17		○									◎ ○	
18		○						(一軍) 久米島町 一金武町 (二軍) 久米島町		(一、三軍) 那覇市	◎	○
19										○	◎	○

【補注1】プロ野球春季キャンプの沖縄県内での実施状況(2020年～2024年)

暦年	日本ハム	広島	中日	DeNA	オリックス	ヤクルト	阪神	楽天	ロッテ	巨人	ソフトバンク	西武
20		(一、二軍) 沖縄市								(一軍のみ) 那覇市 ○	◎ ○	
21		(一軍のみ) 沖縄市			○	◎ ○		(一軍) 金武町 (二軍) うるま市				
22					○ ◎	○			(一軍) 石垣市 →糸満市 (二軍) 石垣市			
23				(一軍のみ) 宜野湾市	○		(一軍) 宜野座村 (二軍) うるま市 ◎ ○	(一軍) 金武町 (二軍) 久米島町				
24												
一軍 キャンプ地	名護市	宮崎県/ 沖縄市	北谷町	宜野湾市	宮崎県	浦添市	宜野座村	金武町	石垣市/ 糸満市	宮崎県/ 那覇市	宮崎県	宮崎県
二軍 キャンプ地	国頭村	宮崎県	読谷村	鹿児島県	宮崎県	埼玉県/ 宮崎県	うるま市	久米島町	石垣市	宮崎県	宮崎県	高知県

(出 所) リゅうぎん総合研究所

- (備 考)
- 太線内のシャド一部分は沖縄県内で春季キャンプを実施。○はリーグ優勝、◎は日本シリーズ制覇。
 - 楽天の列の(○)は、05年からオリックスと合併した旧・近鉄のリーグ優勝。
 - 日ハム(1軍)の18年、19年の名護市キャンプは、新球場建築中のためサブグラウンドやブルペンでの練習となる。
 - ロッテ(1軍)は24年2月1日～11日まで石垣キャンプ、13日～25日まで糸満キャンプ。
 - 巨人(1軍)は、24年2月1日～14日まで宮崎キャンプ、16日～28日まで那覇キャンプ。
 - 楽天(1軍)は、24年2月1日～13日まで宮崎キャンプ、15日～27日まで沖縄キャンプ。

【補注2】

本調査で使した産業連関表について

本件調査では、沖縄県の平成27年産業連関表を用いた。産業部門数で表示する部門表は産業分類35部門表をベースにしたが、35部門表ではキャンプにおける主な支出項目である「宿泊業」や「飲食サービス」、「貸自動車業」などの部門が明示されていない。そのため、これらの産業部門については、県が公表した基本分類表(458行×367列)から該当する業種を抽出した。さらに、今回の分析において統合しても不都合がない部門を当社で統合し、本件調査の分析用に組み替えた。

また、産業連関表における各産業部門の自給率は、県内需要(＝県内居住者の需要)に対する

自給率であるため、移輸出(＝非居住者の需要)は対象外となる。このため、統計上移輸出である「県外からの滞在者の支出(＝非居住者の需要)」の経済効果を試算する際にそのままの自給率を用いると不都合が生じる。例えば、宿泊業の自給率は、県内居住者の宿泊需要(県外旅行などを含む)のうち県内宿泊部門を利用した割合を意味するが、県内居住者の場合、県外宿泊の支出額が県内宿泊の支出額より大きいため、県内宿泊業の自給率は低くなる。しかし、キャンプ関連の宿泊費や飲食費は全て県内で発生するため、こうした支出に対して県内での自給率が明らかに100%とみられる宿泊業、飲食店などについては自給率を100%に設定しなおして使用した。

経済波及効果を求める式は以下のとおりである。

$$\Delta X_1 = [I - (I - \widehat{M})A]^{-1}(I - \widehat{M})\Delta F$$

$$\Delta X_2 = [I - (I - \widehat{M})A]^{-1}(I - \widehat{M})c kw \Delta X_1$$

$$\Delta X = \Delta X_1 + \Delta X_2$$

ΔX_1 : 一次生産誘発額 (直接効果＋一次間接効果)

ΔX_2 : 二次生産誘発額 (二次間接効果)

ΔX : 総生産誘発額 (経済波及効果＝直接効果＋一次間接効果＋二次間接効果)

I : 単位行列

$\widehat{M}$: 移輸入係数 (対角行列)

A : 投入係数 (行列)

ΔF : 最終需要増加額

c : 民間消費支出構成比

k : 消費転換係数

w : 雇用者所得率



レポーター
金城 俊
(琉球銀行法人事業部)
則和企業管理顧問有限公司
(※弊行業務提携先 / 台湾現地コンサル
タント会社)へ出向中

台湾の経済・半導体産業の動向について

はじめに

皆様、こんにちは。琉球銀行法人事業部より台湾の則和企業管理顧問有限公司へ出向しております金城俊です。台湾では7月、8月の夏休みを利用し旅行へ出かける人が増えます。実際に私が7月末に搭乗した台湾から那覇行きの便では、ほとんどの利用者が台湾人の家族連れでした。

東京や大阪などの大都市や北海道、沖縄が人気の旅先ですが、今年はそれに加えて九州に行く人が増えているようです。その要因として、半導体受託生産の最大手である台湾積体回路製造(TSMC)の熊本進出があげられます。今年2月に熊本県に営業所が開設して以降、台湾ー熊本、台湾ー福岡を結ぶ航空便が相次いで増便しており、ビジネス、観光の両方で利用客が増加しているようです。熊本県内ではこれまでにないほど、台湾人で街が賑わっているようです。

今回はこのように日本にも大きな影響をあたえている台湾の経済・半導体産業の動向についてレポートいたします。

1. 台湾の経済・半導体産業の動向

台湾の経済はAI等の需要増加に伴い製造業が成長しており、株価指数が最高値を更新するなど好調を維持しています。2024年第一四

半期の実質GDP成長率は+6.56%(前年同期比)となっており、業種別では、卸売業3ヶ月、小売業33ヶ月、飲食レストラン業4ヶ月の連続プラス成長となっております。

また、内需面でも安定した雇用情勢や好調な株式市場の影響により消費の勢いが維持されることが期待できるほか、今後も世界的な最終需要の回復の恩恵を受け、AI商品を中心に輸出が拡大し続けると予想されます。

国内総生産(GDP)

項目/年 (単位: %)	2020	2021	2022	2023	2024/ Q1
実質GDP成長率 (前年同期比)	3.39	6.62	2.59	1.28	6.56
1人当たりGDP (米ドル)	28,549	32,944	32,625	32,319	8,229

出所: 行政院主計総局

卸売・小売・飲食レストラン業動態

項目/年 (単位: %)	2019	2020	2021	2022	2023	2024/ 5
卸売業	▲2.15	2.51	15.43	5.42	▲6.88	12.63
小売業	3.08	0.66	4.09	8.25	6.20	2.43
飲食 レストラン業	4.39	▲4.75	▲5.82	19.08	20.39	4.13

出所: 經濟部統計局

その中でも有望産業といえば台湾の半導体です。2023年に世界の半導体市場規模は約2%縮小し、半導体受託生産最大手の台湾積体回路製造(TSMC)の通期決算は減収減益となりました。その要因としては設備稼働率の全体的な落ち込みや、新たな回路線のプロセス生産体制の立ち上げ時期が重なったことがあげられま

す。しかし 2024 年は AI 関連の需要を追い風に、半導体産業は増収増益を見込んでいます。今年の 2 月には、TSMC が熊本県菊陽町に第 1 工場を建設し、開所式を行いました。同工場の開所は、日本だけでなく全世界に影響するような日本の半導体産業の復活の始まりと言われている。2024 年末には第 2 工場の建設も予定されるなど、半導体が経済安全保障上の重要な資源として位置づけられており、日本でも様々な動きが広がっています。

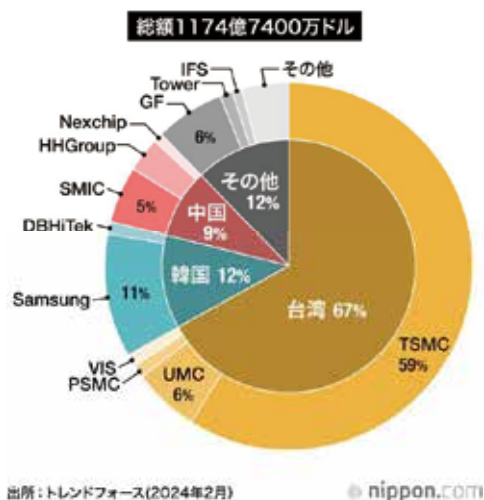
TSMC の熊本進出に伴う波及効果に照準を合わせて台湾経済部（経済省）も動いており、九州に半導体工業区の設置を計画しています。サプライチェーンを形成する台湾企業が日本に拠点を置き、TSMC や日本の顧客に近い場所でサービスを提供できるように支援をするのが狙いとなっています。

実際に、台湾半導体関連企業や金融機関が、相次いで日本に拠点を置き始めています。

例として、受託材料分析サービスを手掛ける会社や半導体専門の商社が熊本営業所を開設したり、台湾の銀行が福岡に進出したりしています。

また、九州・沖縄の発展に向けた一体的な活動を目指す「新生シリコンアイランド九州」の実現に向け、九州・沖縄の地方銀行間で連携協定も締結しており、今後ますます、半導体を起点とした広がりが期待されます。

半導体受託生産の世界シェア(2023年)



また過去 20 年間、半導体産業は台湾に製造を集中させたため、毎年世界で生み出されるコンピューティングパワー（計算能力）の 3 分の 1 以上は台湾製の半導体となっています。半導体受託生産会社（ファウンドリー）でガリバー的な地位にある TSMC の世界シェアは約 60% となっており、台湾企業全体では世界全体の生産額の 67% を占めると言われています。

2023 年の台湾の全産業輸出額のうち、半導体を含めた電子製品の割合は約 4 割を占めており、台湾における同産業の重要度がわかります。

電子製品の輸出入品目

年 (構成比%)	2019	2020	2021	2022	2023
輸出のうち 電子製品のシェア	34.2	39.3	38.5	41.7	41.3
輸入のうち 電子製品のシェア	20.8	24.3	24.0	23.0	23.1
出典：財政部統計処					

3. 最後に

台湾当局は、従来生産拠点を中国に構えていた企業が工場を台湾に戻す動きを奨励する「台湾回帰投資支援特別措置」を 2019 年～2021 年末まで実施し、半導体受託生産企業を中心に 250 社以上の台湾投資が実現しています。この計画は 2024 年まで延長が決定しており、今後も台湾への回帰投資および台湾経済の活性化が期待されます。

ぜひこの機会に、台湾への進出や台湾企業との協業を検討されてみてはいかがでしょうか。お気軽に、お取引店舗、もしくは私、金城宛にご連絡ください。

則和企業管理顧問有限公司

(※琉球銀行 業務提携先 / 金城赴任先)

Tel : 0988-958-295(※金城 / 台湾携帯)

080-9853-0629(※金城 / 日本携帯)

E-Mail : shun_kinjou@pr.ryugin.co.jp

※沖縄科学技術大学院大学のHPから許可を得て転載した記事です。

新時代の教育研究を切り拓く

～沖縄科学技術大学院大学の取り組みについて～

1. マルキデスOIST学長が、J-PEAKSキックオフシンポジウムに参加

本学が目指す10年後の姿を実現するための「OIST-neXus戦略」について説明しました。



2024年7月5日、日本学術振興会が主催する「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）キックオフシンポジウム」が東京とオンラインのハイブリッドで開催され、OISTよりカリン・マルキデス学長兼理事長が取組を紹介しました。

同シンポジウムでは、日本学術振興会の杉野 剛理事長、ならびに文部科学省の盛山 正仁大臣による開会挨拶、J-PEAKS事業推進委員会の山崎 光悦委員長による基調講演、そして、令和5年度に採択された全12の大学からそれぞれの取り組みの紹介がありました。

マルキデス学長は、OISTがJ-PEAKS事業の支援を受けて実行している「OIST-neXus戦略」について説明しました。これは、「卓越性」、「イノベーション」、「地域から世界レベルへ」という3つの原動力を相互に結び付けることによって、OISTやパートナー機関、そして地域の可能性を最大限に引き出すことを目的としたプログラムです。



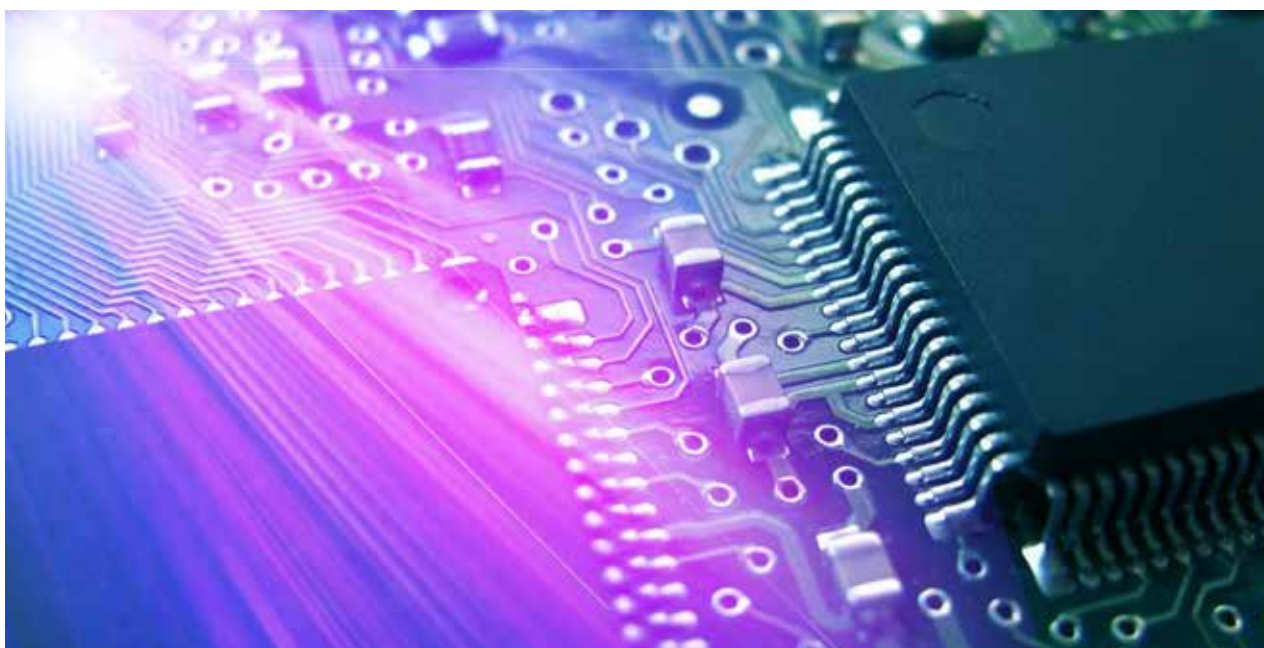
J-PEAKSキックオフシンポジウムにおいて、「OIST-neXus戦略」について説明するカリン・マルキデス学長兼理事長
写真提供：OIST

説明の中でマルキデス学長は、「OISTのような設立から間もないユニークな大学が直面する様々な課題を克服することで、世界のトップレベルの大学と伍する研究大学へ成長することを目指しています。その過程において、日本と世界の架け橋となり、日本の研究力強化を牽引する研究大学群のモビリティや連携を推進すべく、積極的に貢献したいと考えています」と述べました。

OISTは、相互の繋がり「neXus」を強化しながら、「One OIST」として大学全体で一丸となって、引き続き本事業への取組を進めて参ります。

2. エネルギー効率を飛躍的に高める革新的なEUVリソグラフィー先端半導体製造技術を発表

従来の常識を覆し、わずか4枚の反射ミラーで構成された新型EUVリソグラフィーが7nmノード以降の先端半導体の微細化に貢献。装置コストを削減し国産化も視野に。



この度、沖縄科学技術大学院大学(OIST)の新竹積教授が、これまでの先端半導体製造の常識を覆すEUVリソグラフィー(極端紫外線露光技術)を提案しました。

本設計によるEUVリソグラフィーは、小型のEUV光源でも動作するため、コストを削減し、信頼性と寿命を飛躍的に向上させます。また、消費電力は従来の10分の1以下となり、半導体業界のSDGs目標達成にも貢献します。

本技術は、これまでEUVリソグラフィーの分野で実現不可能とされてきた2つの課題に挑戦し、それを克服できることを理論的に証明したことで実現しました。ひとつは、たった2枚のミラーで構成されるプロジェクター光学系であり、もうひとつは、平面ミラー(フォトマスク)上に形成されたロジックパターンに、光路を遮ることなくフォトマスクの前方からEUV光を照射する新たな手法を見出したことです。

EUVリソグラフィーを取り巻く課題

昨今私たちの生活に欠かせない存在となっている人工知能(AI)サーバー用GPUや、携帯電話などのモバイル機器に使われる低消費電力チップ、高密度DRAMメモリなどの先端半導体は、EUVリソグラフィーを用いて製造されています。しかし、その

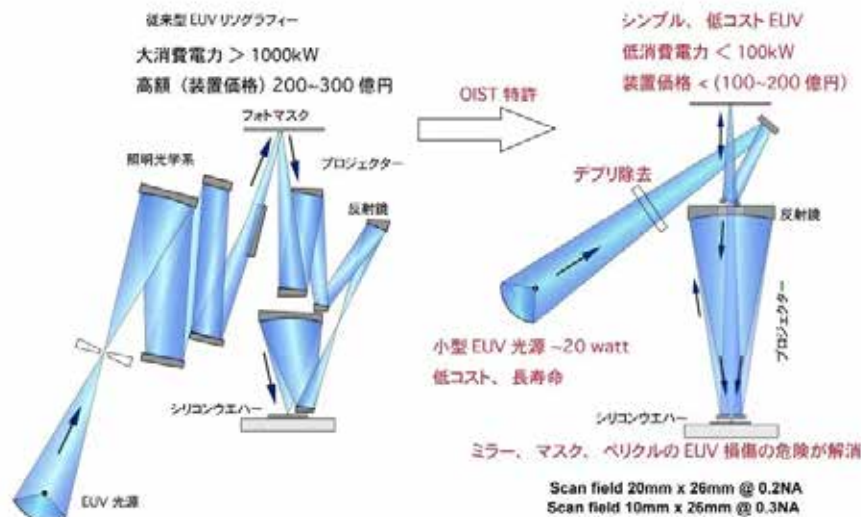
生産現場は大きな課題に直面しています。装置の消費電力の高さ、構造の複雑さによる装置価格の高さ、頻繁なメンテナンスの必要性などです。こうした課題は半導体の生産性に少なからぬ影響を与えます。新竹教授はこう述べます。「この発明は、このあまり知られてこなかった諸課題をほぼ完

全に解決できる画期的な技術です」

カメラや望遠鏡、そして従来のUVリソグラフィーに見られるように、光学系は基本的に直線上に並んだ軸対称光学部品で構成されています。この方法が最も高い光学性能を達成できるためです。しかし、EUV波は、極めて波長が短いため、このような常識が通用しません。EUVを透過させるガラスのような透明な材料がないため、レンズの代わりに反射ミラーを使う必要があります。しかし多数の反射ミラーを一直線に並べると光はまっすぐに通り抜けることがで

きません。そこで、現在実用化されているEUVリソグラフィーでは、反射ミラーを三日月のような形にし、空いた隙間をぬったEUV光を、往復する光路にそってジグザグに通過させる手法が採用されています。しかしこの方法では、光線が中心軸から遠く離れた所を走るため、数々の光学特性が犠牲になってしまいます。

OISTのリソグラフィー技術では、2枚の軸対称な、中心に小さな穴の開いたミラーを直線上に並べることで、本来の優れた光学特性を達成することができます。



左が従来型、右が今回発表した新型EUVリソグラフィー。従来型に比べて非常にシンプルな設計となることにより、高い安定性とメンテナンス性、高いコントラスト、マスク3D効果の減少など様々な利点が生まれる。また、わずか20Wの小型EUV光源で動作するため、消費電力がおよ1MWの従来技術に比べ、消費電力が100kW以下と10分の1となる。Credit：新竹積（OIST）

消費電力の大幅削減

EUVエネルギーはミラーでの反射ごとに40%ずつ減衰するため、従来技術では、EUV光源から10枚のミラーを通過して、ウェハに到達できるエネルギーは、わずか1%程度となります。このため、EUV光源に高い出力が要求されているのです。高い出力を出すためには、EUV光源用のドライブCO2レーザーに多大な電力が必要となり、同時に膨大な量の冷却水を必要とします。

本技術では、EUV光源からウェハまでわずか4枚（4段）のミラーしかなく、ウェハに10%以上のエネルギーが到達できるため、出力が数十ワットの小型EUV光源でも動作します。これは、消費電力の大幅な削減につながります。

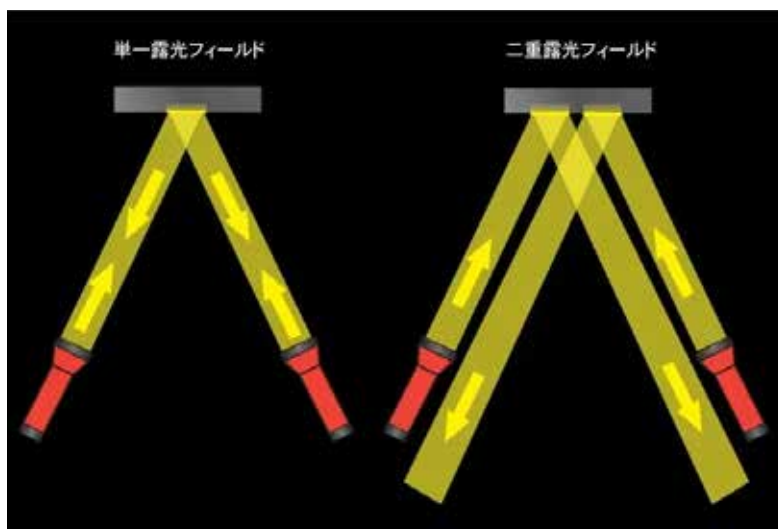
克服された2つの課題

EUVリソグラフィーの心臓部であるプロジェクター（フォトマスクの画像をシリコンウェハに転写する）は、わずか2枚の反射ミラーで構成され、天体望遠鏡に似た構成となっています。「従来のEUVリソグラフィーでは、少なくとも6枚の反射ミラーが必要という固定観念からすると、想像を絶するほど単純な構成です。これは光学の収差補正理論を慎重に見直すことで可能となりました。量子物理学以前の古典物理学の勝利です」と、新竹教授は説明します。さらに、「詳細な性能は光学シミュレーション・ソフトウェア（OpTaliX）を使って検証されており、先端半導体の製造に十分な性能が保証されています」とその性能

について語っています。

さらに新竹教授は、「二重露光フィールド」と名付けた新技術で、平面ミラーのフォトマスクを、光路を邪魔せずに正面からEUV光を照射する新方式の照明光学系を考案し、課題を解決しました。これについて新竹教授は、「一見不可能に思えるかもしれませんが、『コロンブスの卵』のようなアイデアで問題を解決しました。例えるなら、2つの懐中電灯を左右の手に持ち、正面の鏡に向かって斜めから同じ角度で光を当てます。このままでは、一方の懐中電灯

から出た光は必ず反対側の懐中電灯に当たってしまい、リソグラフィーには使えません。そこで、懐中電灯の角度を変えずに左右の手の位置を外側にずらせば、光は反対側の懐中電灯と衝突することなく通過できるのです」と説明します。2つの懐中電灯は対称に配置され、同じ角度でマスクを照らすため、平均してマスクは正面から照射され、EUVリソグラフィー特有の問題であるマスク3D効果を最小限に抑えることに成功したのです。



写真提供：OIST

本技術は、OISTが特許出願済みで、今後、実証実験を経て産業界で実用化されることが見込まれています。新竹教授は、「世界のEUVリソグラフィー市場は、2024年の89億米ドル（1兆3千億円）から2030年には174億米ドル（2兆5千億円）に、年平均成長率約12%で成長すると予測されており、この特許は莫大な経済効果をもたらす可能性があります」と述べています。

OIST首席副学長で、OIST Innovationを率いるギル・グラノットマイヤーは、次の

ように期待を述べます。「人類にインパクトを与える最先端の科学を創造することに全力を尽くしています。本技術は、不可能を可能にし、独創的なソリューションを創出するというOISTの精神を体現したものです。この技術の開発にはまだ長い道のりがありますが、私たちは全力で取り組んでいます。沖縄発のこの技術が半導体業界に変革をもたらし、エネルギー消費や脱炭素化といった世界的な課題の解決に貢献することを期待しています」



OISTでは下記のとおり一般見学の受け入れを行っております。

- ・自由見学—予約不要、毎日9時—17時
 - ・ガイド付き見学—要予約・先着順、平日のみ
- 詳しくはHPの見学ページ (<https://www.oist.jp/ja/guided-campus-tour>) をご覧ください。



見学ページ

りゅうぎんのローンから
沖縄の未来のために
できること

サステナブル ファイナンス フレームワーク型

地球の未来のために
できること

りゅうぎん グリーンローン

りゅうぎん ソーシャルローン

りゅうぎん サステナビリティ・ リンク・ローン

融資金額 3,000万円以上

対象

環境改善活動

資金使途 特定型

グリーンプロジェクト
への事業資金

環境改善効果のある設備など
に活用できます！

例 | 資金使途

- 再生可能エネルギー
(太陽光等)
- 省エネルギー
(LED化等)
- クリーンな運輸
(電気自動車等) など

対象

社会課題解決

資金使途 特定型

ソーシャルプロジェクト
への事業資金

社会課題に解決につながる設
備などに活用できます！

例 | 資金使途

- 基本的インフラ設備
(電気、ガス、水道等)
- 必要不可欠なサービス
(病院、福祉、教育等)
- 手ごろな価格の住宅
など

対象

SDGs・ESGの
取り組みの高度化

資金使途 不特定型

事業資金
(運転資金、設備資金)

資金使途自由。幅広い資金ニ
ーズに活用できます！

- 目標(KPI/SPTs)の設定

● KPI(例)

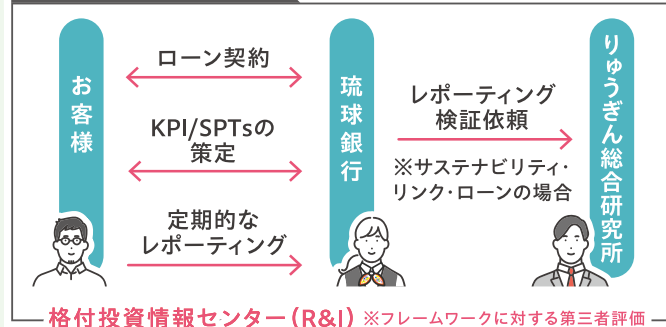
- 温室効果ガス排出の削減
- 再生可能エネルギーの利用拡大
- ZEH比率の拡大 など

💡 ここがポイント！

本フレームワークと本商品は、株式会社格付投資
情報センター(R&I)から国際的な原則や国内の
ガイドラインに整合していると評価されました！

本商品にて資金調達を行ったお客さまは、「サステナ
ビリティ経営の高度化」や「持続可能な活動推進」に
よるアピールを通じた社会的な支持の獲得などが期
待できます。

本商品のスキームイメージ



県内大型プロジェクトの動向 Vol.167

事業名：天然繊維産業創出・交流拠点整備事業

種別：公共 (民間) 3セク

関係地域	大宜味村
事業主体	主体名：株式会社フードリボン 所在地：沖縄県国頭郡大宜味村字田港1032番地1 電話：098-917-1830(代表)
事業目的	従来、廃棄されてきたパイナップル葉やバナナ茎を原料とする天然繊維製造等施設を整備することで新たな産業を創出し、雇用環境等を構築するとともに、未利用農産資源の付加価値化による農家所得の向上を図る
工期	2023年8月～2024年3月
工事費	約10億円
事業規模	延べ床面積1,844㎡（事務所棟875㎡、工場棟969㎡）
施設概要	■所在地：沖縄県国頭郡大宜味村字田港1032番地1 ■構造：鉄骨造り ■敷地面積：2,916㎡(882坪) ■建築面積：1,234㎡（事務所棟485㎡、工場棟749㎡）
経緯	2022年9月 内閣府沖縄振興特定事業推進費補助金交付決定 2023年8月 建設着工 2024年3月 竣工 2024年5月 開所式 2024年6月 SDGs教育旅行受入開始 2024年8月 生産開始予定
現況及び見通し	・天然繊維事業のフードリボンは、大宜味村に本社工場を開所した。 ・パイナップルの葉を使った繊維の生産のほか、地域の未利用資源を活用した産業創出、社会課題を解決する技術開発、教育の場などとしての活用を目指す。 ・2019年から研究開発を開始し、約100kgのパイナップルの葉から約1.5kgの繊維を作ることに成功、専用の機械で特許を取得した。 ・同社では「産業、教育、観光の三つの視点をそろえた施設であり、環境配慮や地域貢献などの価値を感じ取ってもらえる施設にしたい」としている。 《2024年度事業概要》 1. 繊維事業 ・パイナップル葉繊維生産（8月～11月）⇒県産素材を使った商品化の実現を目指す 2. 残渣活用循環事業 ・残渣活用の研究開発：バイオプラ、バイオエタノール、畜産餌への応用等（学術研究機関との共同研究など） 3. 人材育成・研修・交流事業 ・繊維技術者育成研修：縫製技術取得、製品制作実習など ・ファッション関係人材（クリエイター、デザイナー、学生、伝統織物担い手等）の交流を通じた新商品試作等支援 4. 情報発信・交流事業 ・SDGs体験学習コンテンツの提供⇒教育旅行等を受け入れ ・海外事業（インドネシア）と連携した「フードリボン」ブランドの発信

進捗状況	2024年5月29日 開所
熟 度	☐ 構想段階 ☐ 計画段階 ☐ 工事段階 ☒ 開業・供用段階

本社 外観



クリエイタールーム 刺繍マシン



パイナップルの葉っぱ



工場棟 繊維抽出機械



開所式テープカット風景



(写真はフードリボン 提供)

沖縄総合事務局経済産業部の取組について スタートアップ支援について

I J-Startup

世界で戦い、勝てるスタートアップ企業を生み出し、革新的な技術やビジネスモデルで世界に新しい価値を提供する。それが経済産業省が推進するスタートアップ企業の育成支援プログラム「J-Startup」です。2020 年からは、その地域版を展開しています。



【J-Startup OKINAWA】

沖縄地域では 2023 年 12 月に J-Startup OKINAWA の立ち上げを発表しました。

内閣府沖縄総合事務局経済産業部と沖縄県商工労働部の共同事務局体制により、沖縄地域から全国・世界へはばたく有望なスタートアップを選定し、公的機関と民間企業が連携して集中支援を実施することで、選定企業の飛躍的な成長をサポートしていきます。

また、沖縄発の有望なスタートアップ企業群を明らかにし、地域ぐるみで起業家を応援・支援する仕組みを構築することで、地域のエコシステムの強化を目指しています。



【J-Startup OKINAWA サポートーズの募集】

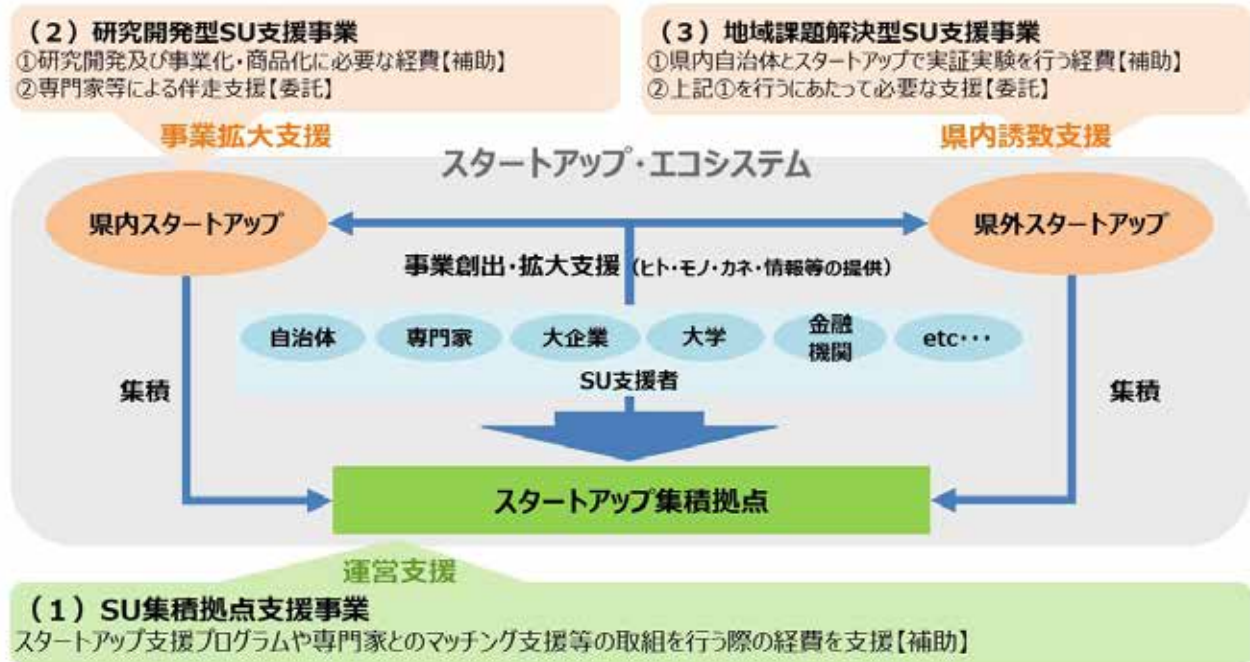
事務局と協力してスタートアップ支援を宣言いただける関係機関「J-Startup OKINAWA サポートーズ」を募集しています。J-Startup OKINAWA 企業に対する独自サービスの提供をぜひご検討いただき、県内スタートアップの成長を支援しましょう。



J-Startup OKINAWA
サポートーズ募集 HP

II 沖縄型スタートアップ拠点化推進事業

沖縄総合事務局では、スタートアップ・エコシステムの構築により、沖縄発スタートアップが大きく成長を遂げるための環境整備を支援しています。



(1) SU 集積拠点支援事業

県内のテレワーク施設等を「スタートアップ集積拠点」として、当該施設で実施するアクセラレーションプログラムの開催や、専門家・大企業とのマッチング支援、事業計画の作成支援等のスタートアップ事業者支援の取組を支援しています。

(2) 研究開発型 SU 支援事業

研究開発型スタートアップに対して研究開発及び事業化・商品化に向けた経費の支援や、研究者が弱い経営的な視点（資金調達・知財戦略等）のアドバイスができる専門家等による伴走支援を実施しています。

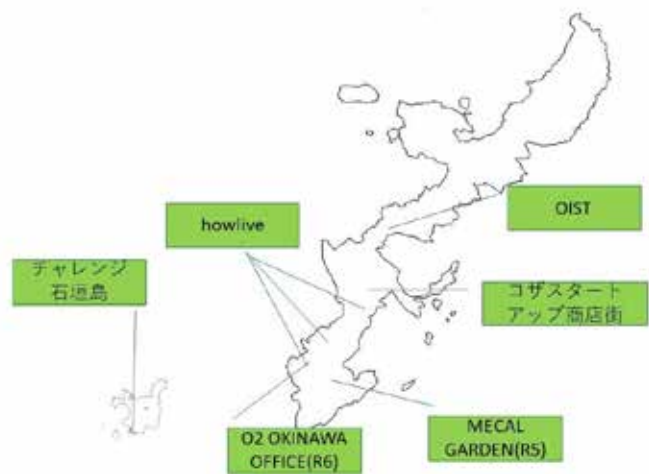
(3) 地域課題解決型 SU 支援事業

デジタル技術等を有するスタートアップをマッチングし実証実験を行う経費の支援、課題整理や実証協議等の実証実験を行うにあたって必要な支援を行政とスタートアップ双方に対し実施する施策もスタートしました。

さいごに

沖縄県内では様々なスタートアップ支援が実施され、公的機関・民間企業が連携しエコシステムの構築が図られています。今後も様々な取り組みを実施し、スタートアップ企業の成長をサポートしてまいります。

【(1) SU 集積拠点支援事業採択拠点】



内閣府 沖縄総合事務局
経済産業部

■本記事に関するお問い合わせについて
内閣府沖縄総合事務局経済産業部地域経済課

TEL:098-866-1730 担当：佐久本、新本、宮里

<https://www.ogb.go.jp/keisan>

約20億人以上の巨大マーケット
全国の特産品を沖縄からアジアへ

12th

沖縄大交易会

国際食品
商談会
2024

リアル商談会 × オンライン商談会

ハイブリッド開催

サプライヤー募集

参加対象
(商品カテゴリー)

- ・青果、農産加工品
- ・鮮魚、水産加工品
- ・精肉、畜産加工品
- ・食品加工品
- ・調味料
- ・お菓子、スイーツ
- ・飲料、茶、コーヒー
- ・酒類
- ・サプリメント、健康食品



オンライン商談会

全てのサプライヤーは「オンライン商談会」への参加が必須となります。

✦開催日程

2024年08月1日(木)～12月20日(金)

✦募集期間

2024年4月22日(月)～8月30日(金)

✦参加料

66,000円(税込)

✦開催規模

サプライヤー…260社 バイヤー………260社

オンライン商談会は、バイヤー&サプライヤー双方の拠点にてWeb会議システム「Microsoft Teams」を使用して、商談を行います。(商談時間は45分程度)



リアル商談会

リアル商談会へ参加希望のサプライヤーは実行委員会事務局が開催する「選定会」を経て、参加確定となります。

✦開催日程

2024年11月21日(木)～22日(金)

✦募集期間

2024年4月22日(月)～7月12日(金)

✦参加料

198,000円(税込)

本商談会は沖縄県からの負担金を活用して運営していることから、沖縄県内に本店、または支店登記がある事業者(個人事業者は住所を沖縄県内に有しているもの)の参加料は126,500円(税込)と致します。

✦開催規模

サプライヤー…220社(2日間出展)

バイヤー………220社

✦商談会場

沖縄コンベンションセンター(全館利用)

[主 催] 沖縄大交易会実行委員会

創設会員 沖縄県、沖縄県協会

正 会 員 (株)ANA Cargo、(株)沖縄海邦銀行、(株)沖縄銀行、沖縄ヤマト運輸(株)、コザ信用金庫、(株)琉球銀行

準 会 員 沖縄県農業協同組合、沖縄セルラー電話(株)、那覇空港貨物ターミナル(株)、那覇空港ビルディング(株)、琉球朝日放送(株)、琉球放送(株)

一般会員 ANAホールディングス(株)、(株)アカネクリエーション、イオン琉球(株)、(株)上間フードアンドライフ、沖縄NXエアカーゴサービス(株)、(株)沖縄コングレ、(株)沖縄タイムス社、沖縄テレビ放送(株)、沖縄電力(株)、沖縄ビル管理(株)、オリオンビール(株)、(株)サンエー、大同火災海上保険(株)、(株)大米建設、拓南製鐵(株)、南西海運(株)、日本航空(株)、琉球海運(株)、(株)琉球新報社、琉球通運(株)、琉球物流(株)、(株)りゅうせき

協力会員 INPIT沖縄県知財総合支援窓口、(一財)沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄経済同友会、(一社)沖縄県銀行協会、(一社)沖縄県経営者協会、(公社)沖縄県工業連合会、(公財)沖縄県産業振興公社、沖縄県商工会議所連合会、沖縄県商工会連合会、沖縄県情報通信関連産業団体連合会、沖縄県中小企業家同友会、沖縄県中小企業団体中央会、沖縄振興開発金融公庫、(独)中小企業基盤整備機構沖縄事務所、内閣府沖縄総合事務局、(独)日本貿易振興機構(JETRO)沖縄貿易情報センター

運 営 沖縄大交易会実行委員会事務局(公益財団法人 沖縄県産業振興公社内)

お申し込みは
コチラ!

<http://www.gotf.jp/> 大交易会

Q 検索

沖縄大交易会のホームページよりお申込み頂けます!



お問い合わせ

12th 沖縄大交易会2024
マッチングデスク (株式会社JTB 埼玉支店 内)

〒330-0845 さいたま市大宮区仲町2-75-7F
TEL: (048) 649-5254 (土・日・祝日を除く平日9:30～17:30)
E-mail: supplier.daikouekikai2024@jtb.com

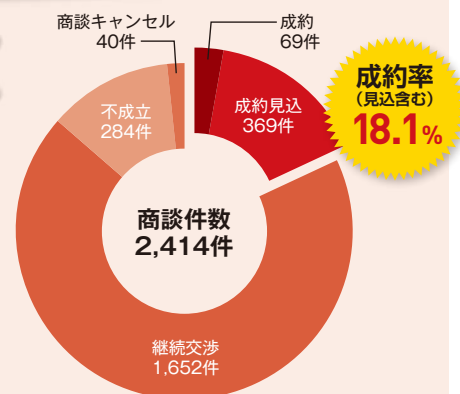
日本全国の特産品を沖縄から世界へ

2023年度リアル商談 開催実績 (沖縄コンベンションセンター)

サプライヤー 40都道府県より**194社**のご参加

バイヤー **223社**のご参加
(海外107社、国内48社、フリーバイヤー68社)

商談結果 商談件数**2,414件** 成約(見込含む)**438件**



(商談直後のバイヤー評価アンケート)

2023年度のオンライン商談 開催実績 (速報値)

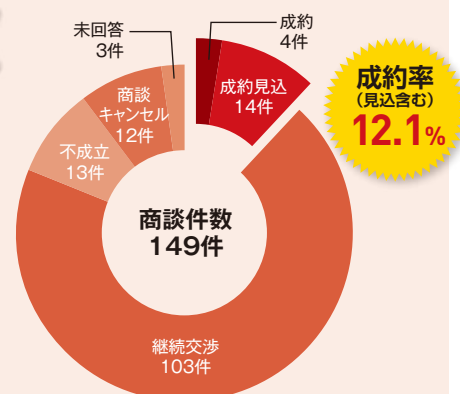
※オンライン商談開催期間:2023年8月1日(月)~2023年11月30日(木)

沖縄大交易会は日本全国より集めた選りすぐりの食材を、事前にWebマッチングを通して、国内外の優良バイヤーとオンライン商談を行っております。

サプライヤー 41都道府県より**211社**

バイヤー **13の国と地域から205社**のご参加
(海外145社、国内60社)

商談結果 商談件数**149件** 成約(見込含む)**18件**



(商談直後のバイヤー評価アンケート)

お申込みから商談までの主な流れ



オンライン商談会

事前マッチング無しの「フリー商談形式」で実施。
※「バイヤーオファー型個別商談」も一部実施予定

「沖縄大交易会2024」公式ホームページへアクセス。
ビジネスマッチングサイトで、必要事項を入力し登録。

登録されたメールアドレス宛に、ログインに必要な「パスワード」が自動返信されます。

ビジネスマッチングサイトへ、ログイン。
企業情報・商品情報等を登録。

早期に本登録を完了することで、バイヤーからの
オファー率が高まります。

お申し込み確定

参加料のお振込み後、バイヤー情報の閲覧や
マッチング希望の他、事前にバイヤーとメールの
やりとりが可能になります。

オンライン商談会へ参加



リアル商談会

従来通り、事前マッチング型「個別商談形式」で実施。

「リアル商談会」参加希望の
サプライヤー様を対象に「選定会」を開催

参加要件を満たしているか、実行委員会事務局
が開催する「選定会」を経て参加が確定します。

参加確定したサプライヤー様宛にメールで通知

事前アポイント型個別商談形式となるため、事前
に商談を希望するバイヤーへの「商談希望」を入
力してください。

リアル商談会へ参加
※サプライヤー固定型

●りゅうぎん調査● 県 内 の



景気は、緩やかに拡大している(10カ月連続)

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、消費マインドは底堅く継続しており、回復の動きが強まっていること、建設関連は資材価格が高止まりしているものの、民間工事の動きが活発化しており、回復の動きが強まっていること、観光関連は、前年同月に実施された全国旅行支援の反動減は多少あるものの、国内外の旅行需要は引き続き高く、緩やかに拡大していること、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、底堅い消費マインドと観光需要にけん引され、緩やかな拡大基調が継続するとみられる。



消費関連

百貨店売上高は、12カ月連続で前年を上回った。お中元ギフトセンターの早期展開やクリアランスセールの実施などにより、食料品や衣料品を中心に好調に推移した。スーパー売上高は、既存店・全店ベースともに25カ月連続で前年を上回った。県内客・県外客ともに来店客数の増加がみられ好調に推移した。新車販売台数は、7カ月連続で前年を下回った。一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響は和らいでいるものの、前年同月の反動などにより減少した。家電大型専門店販売額(5月)は、10カ月連続で前年を上回った。

先行きは、新車をはじめとする耐久消費財の先行きに懸念があるものの、消費マインドは底堅い推移が見込まれ、回復の動きが強まるとみられる。



建設関連

公共工事請負金額は、県は減少したが、国、市町村、独立行政法人等・その他は増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積(5月)は、居住用は減少したが、非居住用は増加したことから2カ月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数(5月)は、持家、給与、分譲は減少したが、貸家は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに減少したことから4カ月ぶりに前年を下回った。建設資材関連では、セメントは4カ月連続で前年を下回り、生コンは4カ月ぶりに前年を上回った。鋼材売上高は3カ月連続で前年を上回り、木材売上高は7カ月ぶりに前年を下回った。

先行きは、資材価格が高止まりしているものの、民間工事の動きが活発化していることなどから回復の動きが強まるとみられる。



観光関連

入域観光客数は、31カ月連続で前年を上回った。国内客は4カ月連続で減少し、外国客は21カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率は3カ月連続で前年を上回り、売上高、宿泊収入は2カ月ぶりに前年を上回った。主要観光施設入場者数は28カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は6カ月連続で減少し、売上高は4カ月連続で前年を下回った。前年同月の全国旅行支援の反動減や悪天候の影響もみられたが、外国客の増加もあり概ね好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、夏の旅行シーズン到来で国内客の増加も予想されることから、緩やかに拡大するとみられる。



雇用関連・その他

新規求人数は、前年同月比5.0%減と6カ月連続で前年を下回った。産業別では、運輸業、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業(他に分類されないもの)などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.07倍で、前月から0.03ポイント低下した。完全失業率(季調値)は2.9%と、前月から0.4ポイント低下した。

消費者物価指数は、前年同月比2.1%の上昇となり、34カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同2.0%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同2.3%の上昇となった。

倒産件数は8件で前年同月から3件増加した。負債総額は18億7,900万円で、前年同月比735.1%増となった。

2024.6

りゅうぎん調査

増減率(%)



消費関連

	前年同月比	前年同期比 (2024.4－2024.6)
(1) 百貨店(金額)	11.1	5.2
(2) スーパー(既存店)(金額)	8.7	4.7
(3) スーパー(全店)(金額)	9.3	5.0
(4) 新車販売(台数)	▲ 7.4	▲ 13.7
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(5月) 4.8	(3-5月) 12.1



建設関連

(1) 公共工事請負金額(金額)	51.0	30.1
(2) 建築着工床面積(m ²)	(5月) 30.4	(3-5月) 18.2
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(5月) 4.7	(3-5月) 5.7
(4) 建設受注額(金額)	▲ 55.1	18.3
(5) セメント(トン数)	▲ 2.7	▲ 3.4
(6) 生コン(m ³)	1.0	▲ 3.6
(7) 鋼材(金額)	P 0.1	P 2.9
(8) 木材(金額)	▲ 2.5	2.8



観光関連

(1) 入域観光客数(人数)	12.2	11.3
うち外国客数(人数)	114.8	121.3
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差)P 4.4	(前年同期差)P 3.5
	(実数) P 60.1	(実数) P 57.1
(3) // 売上高(金額)	P 8.7	P 5.2
(4) 観光施設入場者数(人数)	P 6.1	P 10.1
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 6.4	▲ 9.5
(6) // 売上高(金額)	▲ 1.2	▲ 3.9



その他

(1) 県内新規求人数(人数)	▲ 5.0	▲ 6.4
(2) 有効求人倍率(季調値)	1.07	1.10
(3) 消費者物価指数(総合)	2.1	2.8
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 3	(前年同期差) 3
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(5月) ▲ 0.4	(3-5月) 0.9

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。
(注2) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

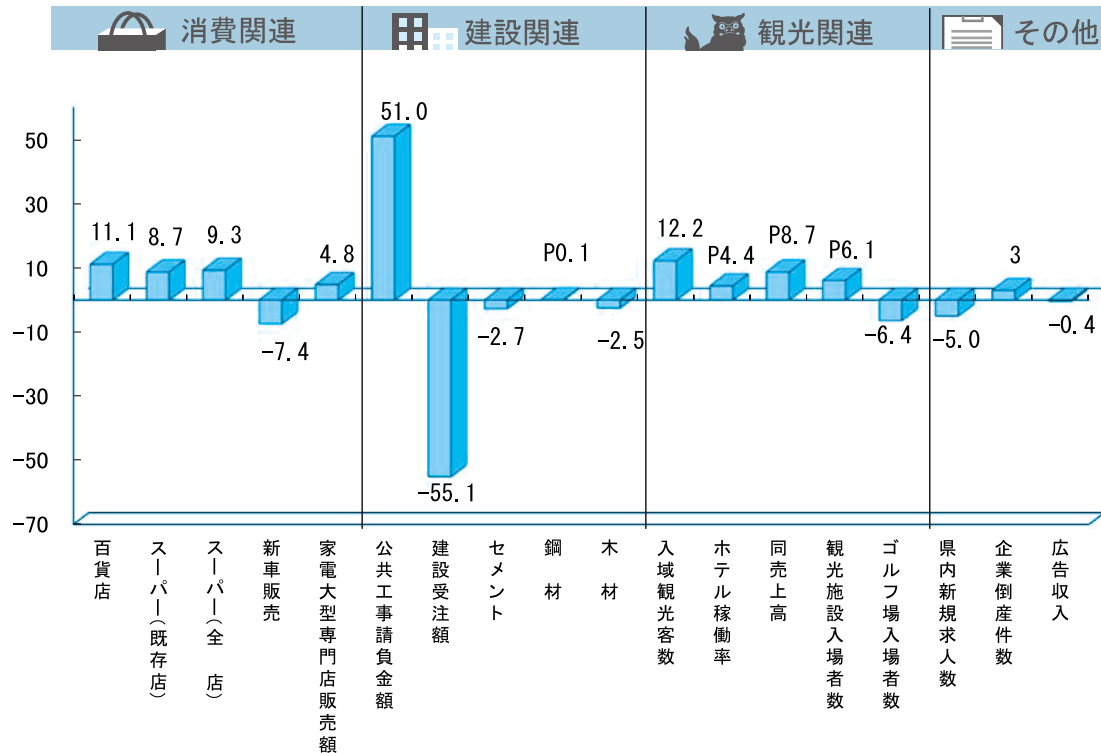
消費
費
関
連

建
設
関
連

観
光
関
連

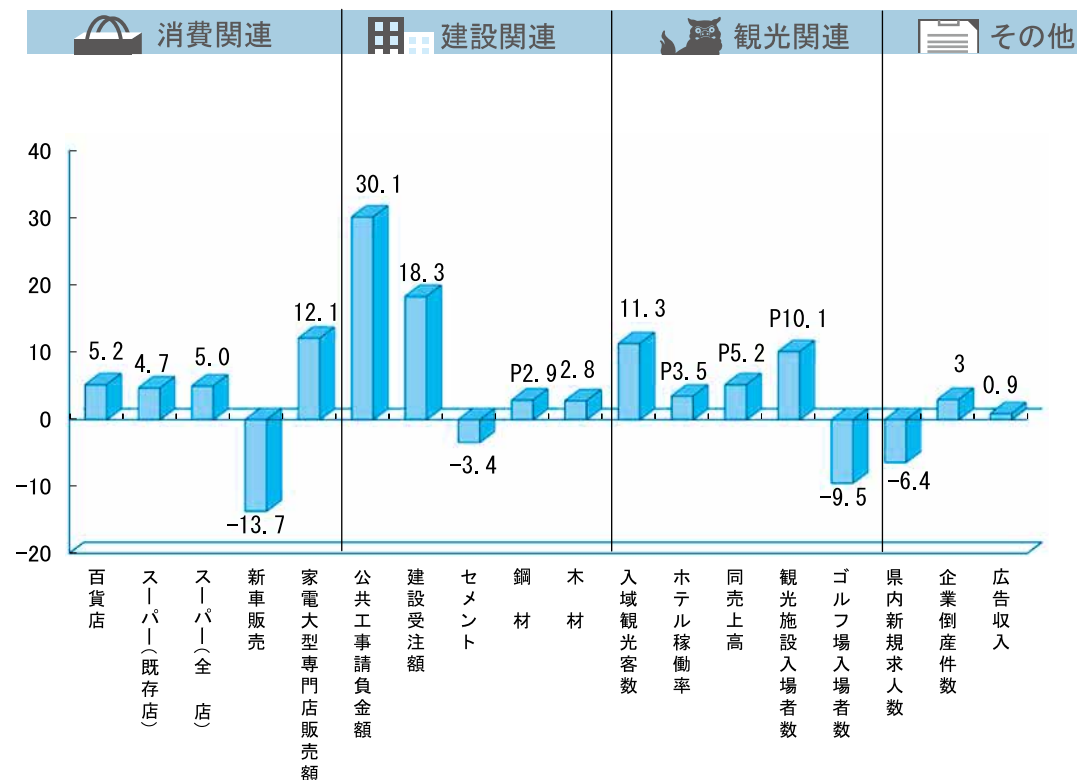
そ
の
他

項目別グラフ 単月 2024.6



(注)家電大型専門店販売額・広告収入は24年5月分。数値は前年比(%)。
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

項目別グラフ 3カ月 2024.4~2024.6



(注)家電大型専門店販売額・広告収入は24年3月~24年5月分。数値は前年比(%)。
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。



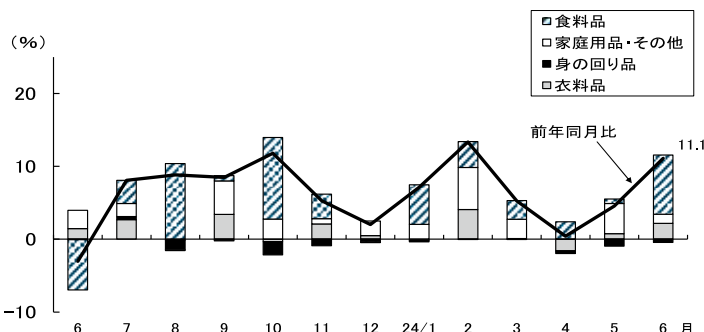
消費関連

① 百貨店売上高（前年同月比）

※棒グラフは品目別寄与度

12カ月連続で増加

- 百貨店売上高は、前年同月比11.1%増と12カ月連続で前年を上回った。
- お中元ギフトセンターの早期展開やクリアランスセールの実施、注目度の高い催事企画などによる集客効果がみられ、食料品や衣料品を中心に好調に推移した。免税では、化粧品などの雑貨類が好調となり、売上増加に寄与した。
- 品目別にみると、食料品が同25.2%増、衣料品が同6.9%増、家庭用品・その他が同4.1%増、身の回り品が同7.0%減となった。

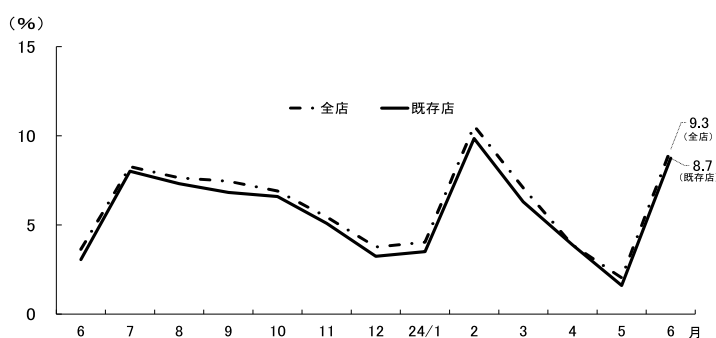


出所：リゅうぎん総合研究所

② スーパー売上高（前年同月比）

既存店・全店ともに25カ月連続で増加

- スーパー売上高は、既存店ベースは前年同月比8.7%増と25カ月連続で前年を上回った。
- 値上げによる単価上昇に加え、県内客・県外客ともに来店客数が増加し、消費マインドは底堅く推移した。衣料品は、梅雨明け以降、水着や浴衣など季節商材が好調となり同11.4%増、食料品は同8.2%増、住居関連は同10.3%増となった。
- 全店ベースは同9.3%増と25カ月連続で前年を上回った。



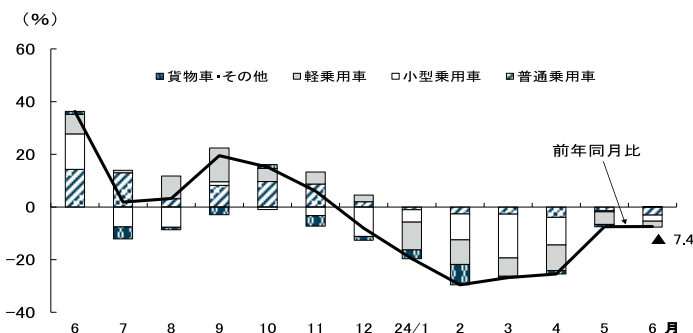
出所：リゅうぎん総合研究所

③ 新車販売台数（前年同月比）

※棒グラフは車種別寄与度

7カ月連続で減少

- 新車販売台数は4,385台で前年同月比7.4%減と7カ月連続で前年を下回った。
- 一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響は和らいでいるものの、レンタカーや乗用車など全車種が増加した前年同月の反動などにより前年を下回った。
- 普通自動車（登録車）は2,646台（前年同月比9.8%減）で、うち普通乗用車は906台（同14.0%減）、軽自動車（届出車）は1,739台（同3.5%減）で、うち軽乗用車は1,350台（同7.3%減）であった。



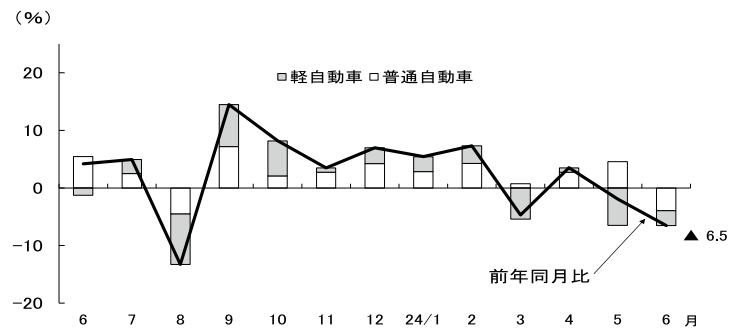
出所：沖縄県自動車販売協会

④ 中古自動車販売台数【登録ベース】（前年同月比）

※棒グラフは車種別寄与度

2カ月連続で減少

- ・中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、1万7,614台で前年同月比6.5%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・内訳では、普通自動車が7,350台（前年同月比9.1%減）、軽自動車が1万264台（同4.5%減）となった。

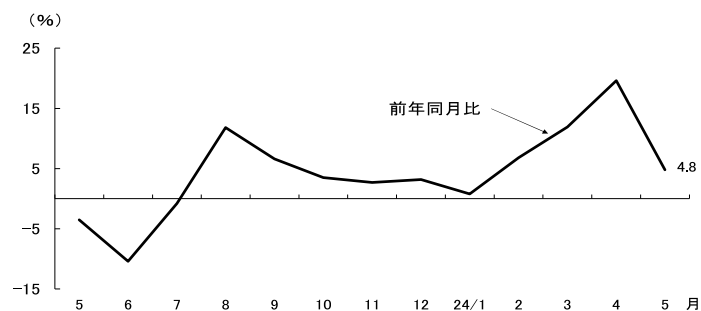


出所：沖縄県中古自動車販売協会 ※登録ベース

⑤ 家電大型専門店販売額（再掲、前年同月比）

10カ月連続で増加

- ・家電大型専門店販売額（5月）は、前年同月比4.8%増と10カ月連続で前年を上回った。
- ・6月より適用される県の補助事業「おきなわ省エネ家電買換応援キャンペーン」の開始を前に、対象となるエアコンや冷蔵庫の買い控えがみられたものの、値上げによる単価上昇などにより前年を上回った。



出所：経済産業省商業動態統計調査

消費
関連

建設
関連

観光
関連

その他



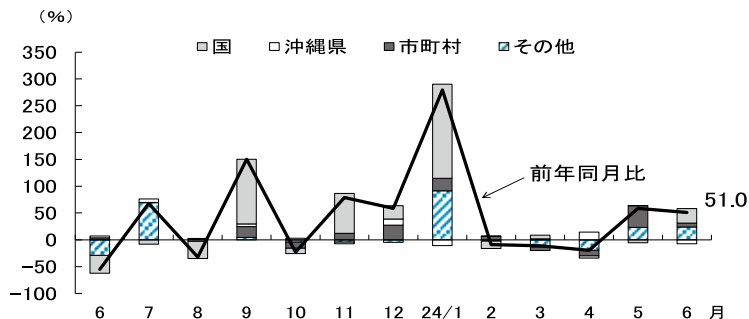
建設関連

① 公共工事請負金額（前年同月比）

※棒グラフは発注者別寄与度

2カ月連続で増加

- 公共工事請負金額は、340億88百万円で前年同月比51.0%増となり、2カ月連続で前年を上回った。
- 発注者別では、国は同107.3%増、市町村は同18.6%増、独立行政法人等・その他は同286.6%増と増加し、県は同25.9%減と減少した。



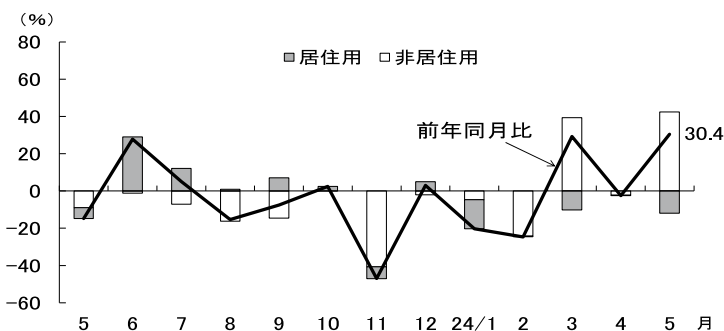
出所：西日本建設業保証株式会社沖縄支店

② 建築着工床面積（前年同月比）

※棒グラフは用途別寄与度

2カ月ぶりに増加

- 建築着工床面積（5月）は14万9,989㎡で前年同月比30.4%増と2カ月ぶりに前年を上回った。居住用は同20.1%減と減少し、非居住用は同104.1%増と増加した。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では居住専用、居住産業併用ともに減少した。非居住用では、教育・学習支援業用、卸売・小売業用などが増加し、電気・ガス・熱供給・水道業用などが減少した。



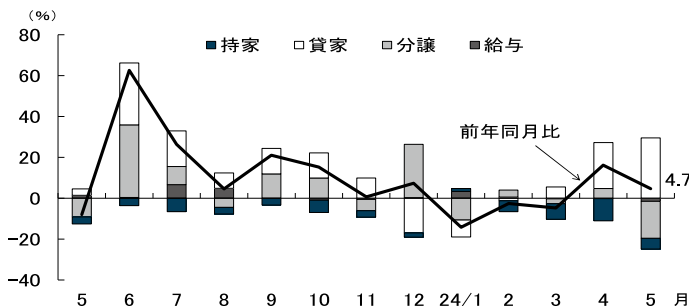
出所：国土交通省

③ 新設住宅着工戸数（前年同月比）

※棒グラフは利用関係別寄与度

2カ月連続で増加

- 新設住宅着工戸数（5月）は804戸で前年同月比4.7%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 利用関係別では、貸家（506戸）が同81.4%増と増加し、持家（185戸）が同17.8%減、給与（2戸）が同85.7%減、分譲（111戸）が同55.6%減と減少した。



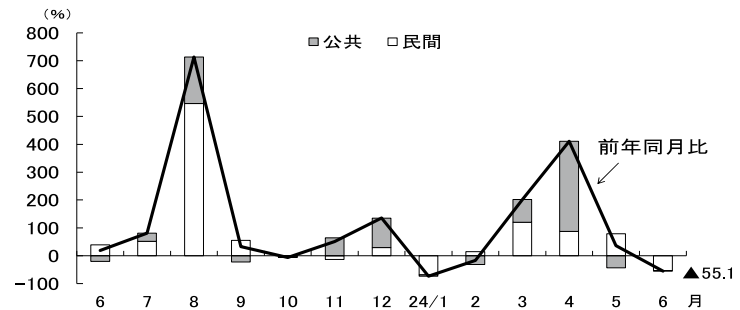
出所：国土交通省 ※給与は、社宅や宿舍などのこと。

④ 建設受注額（前年同月比）

※棒グラフは発注者別寄与度

4カ月ぶりに減少

- ・建設受注額（調査先建設会社：17社）は前年同月比55.1%減と4カ月ぶりに前年を下回った。
- ・発注者別では、公共工事は同9.3%減と2カ月連続で減少し、民間工事は同64.5%減と5カ月ぶりに減少した。

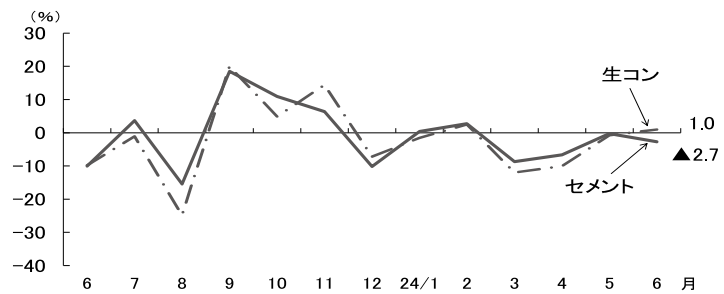


出所：りゅうぎん総合研究所

⑤ セメント・生コン（前年同月比）

セメントは4カ月連続で減少、生コンは4カ月ぶりに増加

- ・セメント出荷量は5万4,896トンとなり、前年同月比2.7%減と4カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量は9万1,562m³で同1.0%増と4カ月ぶりに前年を上回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、公営住宅向け、県企業局向けなどが増加し、学校関連向けなどが減少した。民間工事では、ホテル向け、店舗向けなどが増加し、個人住宅向けなどが減少した。

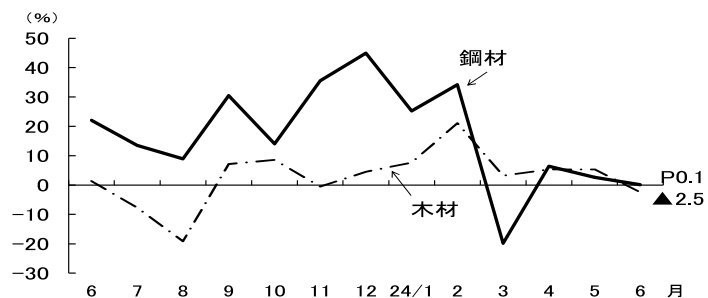


出所：りゅうぎん総合研究所

⑥ 鋼材・木材（前年同月比）

鋼材は3カ月連続で増加、木材は7カ月ぶりに減少

- ・鋼材売上高（速報値）は、前年同月比0.1%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・木材売上高は、出荷量が減少したことなどから同2.5%減と7カ月ぶりに前年を下回った。



出所：りゅうぎん総合研究所

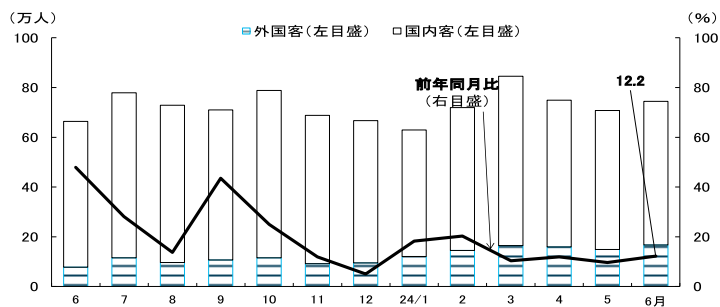


観光関連

① 入域観光客数(実数、前年同月比)

31カ月連続で増加

- 入域観光客数は、74万4,500人(前年同月比12.2%増)となり、31カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は68万9,700人(同6.9%増)となり31カ月連続で前年を上回った。海路は5万4,800人(同204.4%増)となり22カ月連続で前年を上回った。

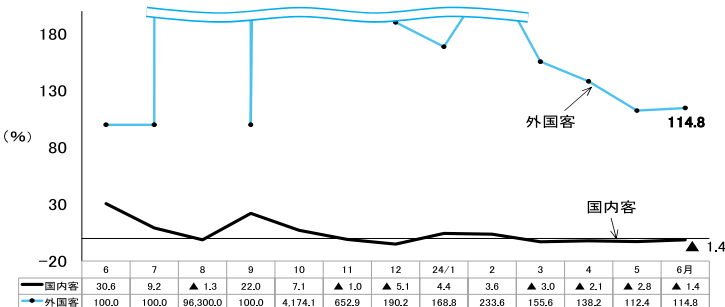


出所: 沖縄県観光政策課

② 入域観光客数【国内客、外国客】(前年同月比)

国内客は4カ月連続で減少、外国客は21カ月連続で増加

- 国内客は、57万7,600人(前年同月比1.4%減)となり、4カ月連続で前年を下回った。外国客は16万6,900人(同114.8%増)となり、21カ月連続で増加した。
- 前年同月も延長実施された全国旅行支援の反動減等により国内客は前年比では減少したものの、外国客の旅行需要は引き続き高かった。



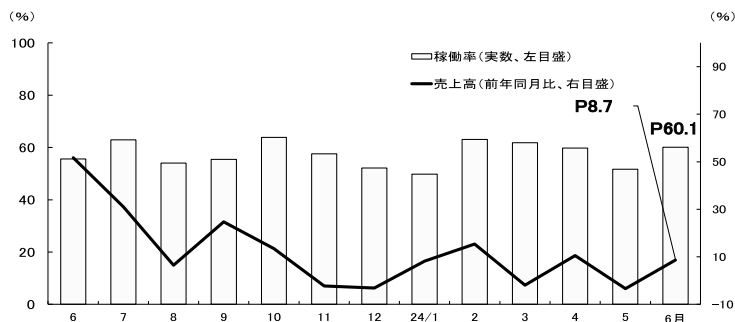
(出所) 沖縄県観光政策課

出所: 沖縄県観光政策課

③ 主要ホテル稼働率・売上高(実数、前年同月比)

稼働率は3カ月連続で上昇、売上高は2カ月ぶりに増加

- 主要ホテル(速報値)は、客室稼働率は60.1%と前年同月差4.4%ポイント上昇し3カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比8.7%増となり、2カ月ぶりに前年を上回った。
- 那覇市内ホテルの客室稼働率は64.4%と同8.9%ポイント上昇し、6カ月連続で前年を上回り、売上高は同19.5%増と7カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテル(速報値)の客室稼働率は58.4%と同2.8%ポイント上昇し、3カ月連続で前年を上回り、売上高は同6.8%増と2カ月ぶりに前年を上回った。



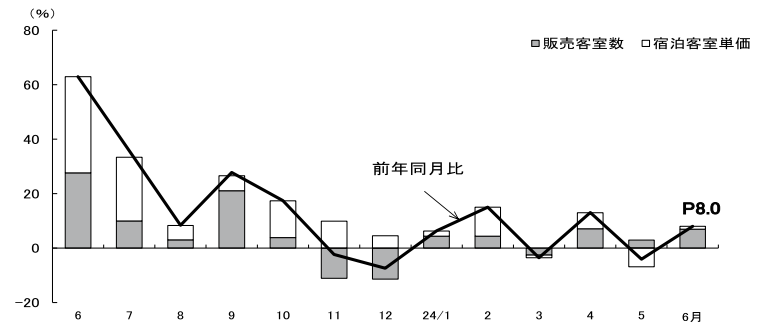
出所: リゅうぎん総合研究所

④ 主要ホテル宿泊収入（前年同月比）

※棒グラフは客室数・単価別寄与度

2カ月ぶりに増加

- ・主要ホテル（速報値）の売上高のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）は上昇し、前年同月比8.0%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価は上昇し同17.4%増となり、6カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテル（速報値）は販売客室数が増加、宿泊単価は上昇し、同6.5%増と、2カ月ぶりに前年を上回った。

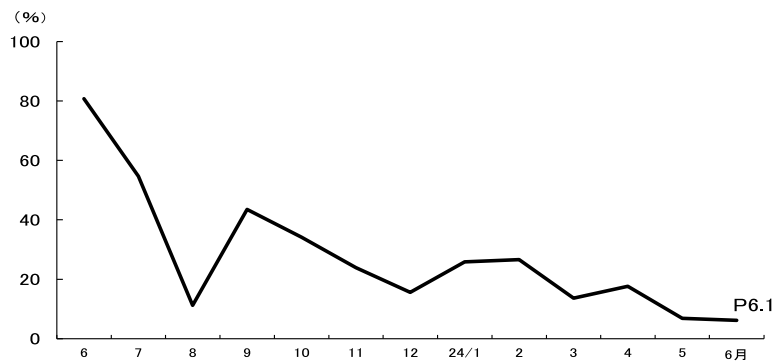


出所：りゅうぎん総合研究所

⑤ 主要観光施設の入場者数（前年同月比）

28カ月連続で増加

- ・主要観光施設の入場者数（速報値）は、前年同月比6.1%増と28カ月連続で前年を上回った。
- ・悪天候の日が多かったものの、慰霊の日もあり関連施設への県内小中学校の校外学習があったほか、一般団体客も増加傾向にあった。

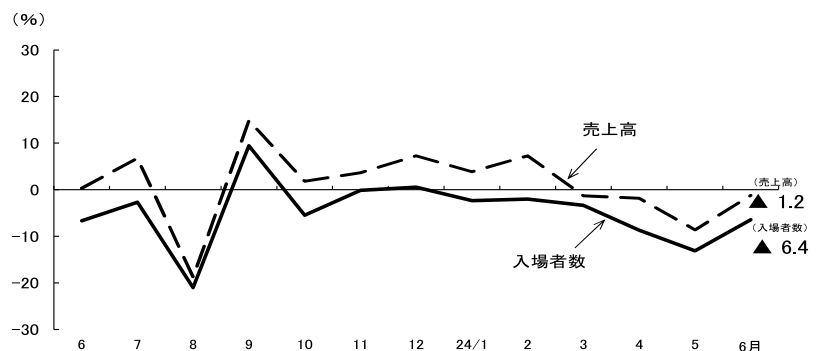


出所：りゅうぎん総合研究所

⑥ 主要ゴルフ場入場者数・売上高（前年同月比）

入場者数6カ月連続で減少、
売上高4カ月連続で減少

- ・主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比6.4%減と6カ月連続で前年を下回った。県内客は3カ月連続で前年を下回り、県外客は9カ月ぶりに前年を上回った。売上高は同1.2%減と4カ月連続で前年を下回った。
- ・豪雨の影響でクローズした日もあったほか、天候不良やコロナ罹患などによる直前のキャンセルも多く、入場者・売上ともに減少した。



出所：りゅうぎん総合研究所（注）調査先は6施設（うち県外客については4施設）からなる。

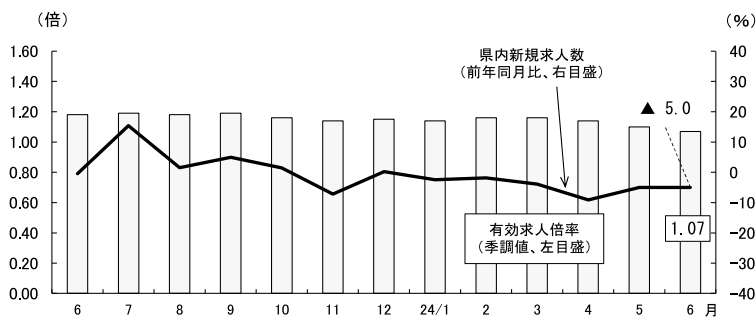


雇用関連・その他

① 雇用関連（新規求人数と有効求人倍率）

新規求人数は減少、 有効求人倍率(季調値)は低下

- ・新規求人数は、前年同月比5.0%減と6カ月連続で前年を下回った。産業別では、運輸業、生活関連サービス業・娯楽業、サービス業(他に分類されないもの)などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.07倍で、前月から0.03ポイント低下した。
- ・労働力人口は、78万人で前年同月比0.1%減となり、就業者数は、75万8,000人で同0.1%増となった。完全失業者数は2万2,000人で同8.3%減となり、完全失業率(季調値)は2.9%と、前月から0.4ポイント低下した。



出所：沖縄労働局(就業地別)

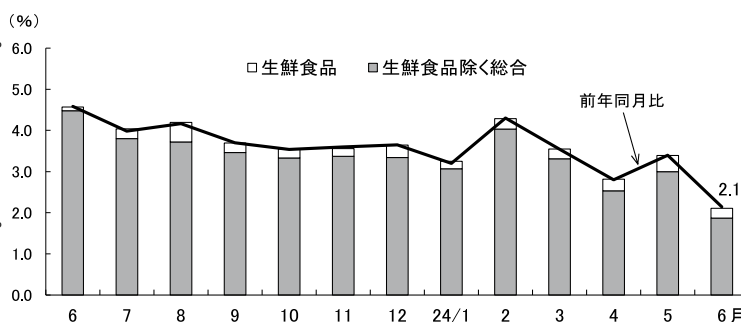
(注)有効求人倍率は、2023年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

② 消費者物価指数【総合】

※棒グラフは品目別寄与度

34カ月連続で上昇

- ・消費者物価指数は、前年同月比2.1%の上昇となり、34カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同2.0%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同2.3%の上昇となった。
- ・費目別の動きをみると、食料や交通・通信などで上昇し、光熱・水道などで下落した。

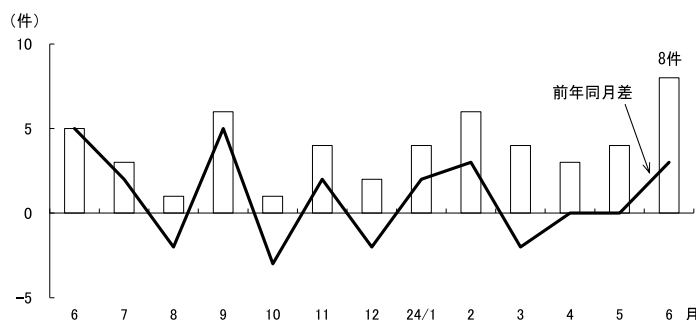


(出所)沖縄県

③ 企業倒産

件数・負債総額ともに増加

- ・倒産件数は8件で前年同月から3件増加した。業種別では、建設業3件、製造業1件、小売業1件、情報通信業2件、サービス業他1件となった。
- ・負債総額は18億7,900万円で、前年同月比735.1%増となった。



出所：東京商工リサーチ沖縄支店

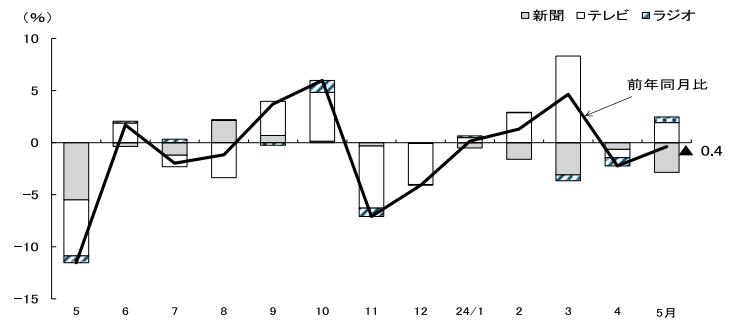
(注)負債総額1,000万円以上

④ 広告収入【マスコミ】（前年同月比）

※棒グラフはメディア別寄与度

2カ月連続で減少

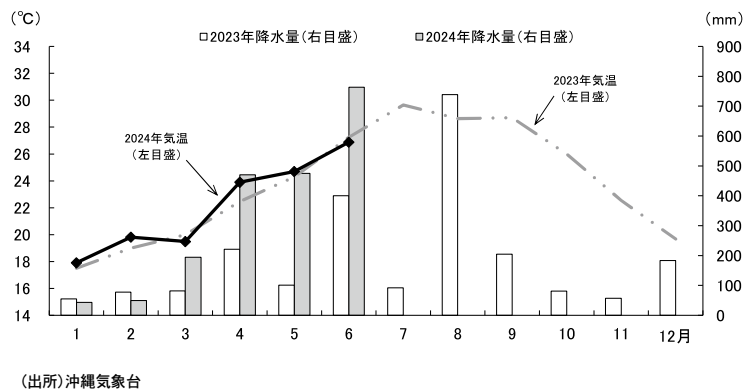
- ・広告収入（マスコミ：5月）は、前年同月比0.4%減と2カ月連続で前年を下回った。
- ・引き続き通販関連の広告に減少がみられた。



出所：リゅうぎん総合研究所

参考 気象：平均気温・降水量【那覇】

- ・平均気温は26.9℃で前年同月（27.2℃）より低く、降水量は763.5mmで前年同月（407.0mm）より多かった。
- ・月の中旬までは、梅雨前線や南からの暖かく湿った空気の影響を受けやすかったため曇りや雨の日が多かった。沖縄地方では6月20日ごろ梅雨明けしたとみられ、下旬は太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多かった。
- ・平均気温は平年並み、日照時間は平年より少なく、降水量は平年よりかなり多かった。



（出所）沖縄気象台



なんみん祭

～地域の融和と発展願う～

琉球銀行 若狭支店 支店長
糸数 幸弘

那覇市唯一の遊泳可能なビーチである波の上ビーチを見下ろし、那覇港を望む高台の上に建つ「波上宮」は、琉球八社の一つで最も格式が高く、琉球王国時代には国王が毎年参詣され、国家鎮護を祈られた由緒ある神社です。「なんみんさん」の愛称で親しまれ、初詣には多くの参拝者が訪れるなど、県民にとっても身近な存在となっています。

その波上宮で最も重儀とされる5月17日の例大祭に合わせ、地域の自治会・婦人会をはじめとする有志の皆さまによる実行委員会により、地域の融和と青少年の健全育成を願い、毎年「なんみん祭」がにぎにぎしく開催されます。本年も18日（土）から19日（日）にかけて、子供が主役のちびっこ相撲、力比への全島沖縄角力大会、波の上ビーチでは綱引きなどさまざまな熱戦が繰り広げられ、夕刻の演舞・のど自慢大会では多くの方々が和やかな時間を過ごしました。

お祭りで最大の盛り上がりを見せるのは千人近くの一団が、波上宮からパレットくもじまでを往復する勇壮な「おみこし行列」です。これは本みこしと若狭・天妃のこどもみこしを中心に、太太鼓・旗持ち・獅子舞・エイサー・旗頭・じゅり馬・ご婦人の踊り行列などが、心を一つにワッショイ（和一緒）のかけ声のもと、地域の平安と発展・交通安全・疾病退散を願って練り歩く一大行列で、戦前から行われている伝統行事です。

来年は地域一丸となって作り上げる「なんみん祭」に足を運んでみてはいかがでしょうか。

「なんみん祭」の主な概要	日程	主な祭行事
	2024年 5月16日(木)	・宵宮祭(前夜祭)
	17日(金)	・例大祭
	18日(土)	・ちびっこ相撲大会(第27回) ・演舞大会(第28回)
	19日(日)	・神幸祭(おみこし行列) ・奉納演舞 ・全島沖縄角力大会(第65回) ・ビーチ綱引き大会(第28回) ・のど自慢大会(第27回)

出所：実行委員会提供資料より
筆者にて抜粋



シェアリングサービス

～持続可能な消費の手段～

琉球銀行 総合企画部 サステナビリティ推進室
梶川 日菜子

シェアリングサービスとは、個人や企業間でモノやサービスを共有することで資源を有効活用し、新たな価値を生み出す経済モデルです。この動きは、新たな収益を生むビジネスだけでなく持続可能な消費を促し、地域社会の結びつきを強化する効果も期待されています。

一例としてカーシェアがあります。提供者は使用していない時間に所有車を貸し出すことで報酬を得て、利用者は必要な時だけ低コストで車両を利用できるサービスです。

日本化学工業協会によると、2014年の車両（ガソリン車）1台あたりの製造から走行、廃棄までのライフサイクル中に排出される温室効果ガスの量は23.1tと大きく、その削減が課題となっています。省エネ車の開発や電気自動車の普及は進んでおりますが、製造量を抑えられるカーシェアも温室効果ガスの排出量削減効果は大きいと考えられます。

自治体などでも、各世帯のエアコンの使用台数を減らし、公共施設に集まり涼しさを共有する「クールシェア」の取り組みが行われています。各世帯の電気量を減らすことによる温室効果ガスの排出量削減に加え、公共施設へ集まることで地域社会の結びつきの強化も期待できます。

シェアリングサービスは他にも幅広く普及しており、環境負荷の軽減や社会課題解決など、SDGsのさまざまな目標に貢献しています。気になるシェアリングサービスがあれば、積極的に利用してみてはいかがでしょうか。

5つのシェアリングサービス

- ① 空間のシェア 会議室・駐車場・民泊
- ② モノのシェア フリーマーケットサービス・レンタル
- ③ スキルのシェア 家事代行・育児・介護・教育・観光
- ④ 移動のシェア 相乗り・シェアサイクル・カーシェア
- ⑤ お金のシェア クラウドファンディング

出所：一般社団法人シェアリングエコノミー協会
「シェアリングエコノミー活用ハンドブック」より





台湾の商戦期

～「週年慶」県産品に商機～

琉球銀行 法人事業部（台湾現地コンサルタント会社へ出向中）

金城 俊

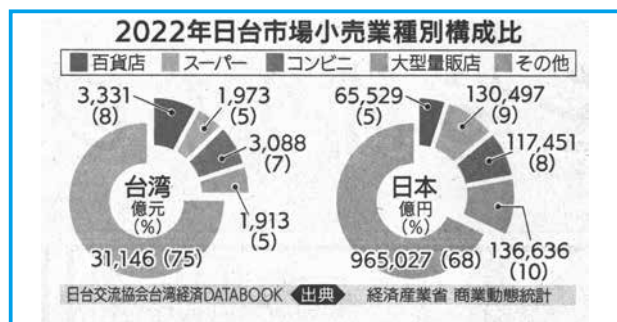
台湾の商戦期として代表的なセールイベントが春節と週年慶になります。春節は日本のニュースでもよく放送される旧正月の時期に開催されます。週年慶とは百貨店などで開催される年に1度の創業祭のことで、10～12月に開催されるのが一般的です。

週年慶が始まると、台北101ビルのショッピングモール、日本でもなじみのある新光三越やSOGOなどのデパートから繁華街の小売店まで大勢の買い物客で盛り上がりを見せます。テレビで取り上げられるほどの風物詩となっており、この期間の売り上げが年間の半分に相当する百貨店もあるようです。

台湾の小売市場の特徴として、百貨店、スーパー、コンビニ、大型量販店の中で百貨店の売上のシェアが高いことがあります。要因として、幅広い年代に向けて商品を取りそろえていること、百貨店の中にスーパーや飲食店なども数多くあるため子どもから祖父母世代までが一緒に楽しむ空間となっていることなどが考えられます。

百貨店では日本商品展などがよく開催されますが「日本製品＝価格は高い＝ハイクラス＝信頼できる」という消費者意識があり、人気があります。

今年も百貨店を中心に週年慶に向けて準備が進められていますが、台湾積体回路製造（TSMC）の熊本進出の影響から九州・沖縄の商品に注目が集まっております。この機会に自社商品の台湾展開を考えてみるのも良いかもしれません。



勝連城跡周辺事業

～ PFI 活用 多くの効果～

琉球銀行 赤道支店 支店長

吉山 朋幸

勝連城跡は2000年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一部としてユネスコ世界遺産に登録されました。これは琉球王国時代の歴史と文化を象徴する遺産としての価値が国際的に認められた結果です。世界遺産登録以来、年間で約18万人もの観光客が訪れ、沖縄を代表する観光地となっています。

うるま市は、勝連城跡周辺の整備事業においてPFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）を活用しています。この手法は、行政と民間が連携して行うことで、民間の創意工夫などを活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化を図ることを目的としています。

PFIの活用により、勝連城跡周辺事業は多くの効果を生み出すことが期待されています。観光インフラの整備もその一つです。公園や物販・飲食設備などの充実により訪問客の利便性や満足度が向上し、客数の増加や再訪意欲の高まりが期待され、地域経済への波及効果も大きくなります。

また、地元特産品の売上げが増加し、雇用創出にも寄与します。さらに、民間企業の参入により、多様な観光プログラムが提供され、観光サービスの質が向上します。これにより観光客の体験価値が高まり、勝連城跡の魅力が一層引き立つことでしょう。

PFIを活用した勝連城跡周辺事業は、うるま市の持続可能な発展と歴史的遺産の保全に大きく貢献していくことが期待されます。世界遺産としての価値を次世代に継承するための重要な一歩です。



経営情報

提供：太陽グラントソントン税理士法人



Grant Thornton

An instinct for growth™

経理部門の基本有用情報
太陽グラントソントン
今月の経理情報 2024年7月

今回のテーマ

相続登記の義務化

これまで任意であった相続登記（相続した不動産について不動産登記簿の名義を変更すること）が、2024年4月1日より義務化されました。相続人は不動産を相続することを知った日から3年以内に相続登記の申請をする必要があります。

必要となる申請

	相続人間の 遺産分割	必要となる申請	備考
遺言による 相続	—	相続登記	遺言執行者の有無に関わらず、不動産を相続した相続人が相続登記の申請をする必要があります。
遺産分割に よる相続	協議済	相続登記	不動産を相続した相続人が相続登記の申請をする必要があります。
	協議未済	「相続人申告」登記	相続人が相続人申告登記（相続人であることを登記し、将来不動産の所有者になる可能性がある人を公示すること）をし、その後遺産分割がまとまった場合、遺産分割の日から3年以内に相続登記の申請をする必要があります。

一次相続において相続登記が未了のまま二次相続が発生した場合

原則	二次相続人が一次相続の相続登記、二次相続の相続登記の順に申請（一次相続において遺言がない場合、二次相続人が一次相続に係る遺産分割協議をおこなう必要あり）
例外	一次相続の相続人が1人の場合、一次相続の被相続人から二次相続の相続人への相続登記の申請が可能

相続登記に係る税金

- ・登録免許税

納税義務者	相続登記の申請者
税額	不動産の価額×0.4%
免税制度	・一次相続の相続登記が未了の場合の一次相続に係る登録免許税が免税 ・不動産の価額が100万円以下の土地を相続した場合の登録免許税が免税

- ・不動産取得税・・・非課税

お見逃しなく！

- ・2024年3月31日以前に相続した不動産が未登記の場合、2027年3月31日まで（不動産を相続で取得したことを知った日が2024年4月1日以降の場合は、その日から3年以内）に相続登記の申請をする必要があります。
- ・正当な理由がないのに相続登記の申請をしない場合、10万円以下の過料となります。

応募不要



りゅうぎんで

ニーサ

NISA

スタートキャンペーン

キャンペーン期間

2024 5/1 水 8/30 金



期間中に琉球銀行で

NISA口座を

新規開設されたお客様へ

もれなく
現金1,000円

プレゼント!



プラス

さらに+で/

期間中、開設したNISA口座で

初めてつみたて投資信託を

1万円以上契約・購入すると

もれなく
現金2,000円

プレゼント!

※2024年11月までに、初回引落日から連続して3回以上の引落実績が必要となります。



ニーサ

NISA(非課税口座)とは

投資初心者をはじめとする、幅広い年代の方の資産形成をサポートする制度です。

NISAは投資で得た利益に税金がかからない点や、少額から投資できる点など、これから投資を始める方にもおすすめです。

りゅうぎんでNISAを活用して、将来に備えてコツコツお金を育ててみませんか?

NISAについて/



対象者	●期間中に当行でNISA口座を新規開設されたお客様 ●その枠内で初めて「つみたて投資信託」を1万円以上契約・購入する個人のお客様※ ※他金融機関にてNISA口座を設定中のお客様: 当年のNISA枠を利用されていない場合は、変更前の金融機関にてNISA口座廃止または勘定廃止をした後、当行にてNISA口座開設のお手続きが可能となります。
対象店舗	全店舗(東京支店除く) プレゼント時期 2024年10月以降順次
留意点	●投資信託を購入するにあたって不備などが発生し、期間中に購入手続きが完了できなかった場合等は、キャンペーン対象外となります。その他の留意点はパンフレットまたはホームページをご参照ください。
投資信託に係るリスクについて	投資信託は、値動きのある国内外の株式、債券、不動産投信などを投資対象としますので、組み入れた株式、債券や不動産投信などの価格の下落や、株式、債券や不動産投信などの発行者の財務・経営悪化などにより、損失が生じる可能性があります。また、外貨建資産に投資する投資信託は、為替の変動により損失が生じる可能性があります。各ファンドのリスクについては、「目論見書」でご確認ください。
投資信託に係る手数料等について	●お申込手数料の上限は、ご投資金額に3.85%(税込)を乗じて得た額とします。各ファンドにより異なりますので、目論見書等でご確認ください。●信託報酬の上限は、信託財産の純資産総額に対して、年率2.09%(税込)を乗じて得た額とします。ファンドの信託財産から差し引かれます。●信託財産留保額の上限は、解約時の基準価額に対し、0.3%を乗じて得た額とします。●その他詳細は、各ファンドの「目論見書」でご確認ください。※各ファンドに係る手数料等の最大合計額は、申込金額、保有期間等により異なりますので、表示することができません。
その他留意点について	●お申込みの際は、目論見書を必ずご覧ください。目論見書は全店の店頭または琉球銀行ホームページにご用意しております。●投資信託は預金ではなく、預金保険および投資者保護基金の対象ではありません。●投資信託は投資信託会社が設定・運用を行う商品です。●投資信託の運用による収益および損失は、ご購入のお客様に帰属します。●各ファンドのお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

商号等/株式会社琉球銀行 登録金融機関 沖縄総合事務局(登金)第2号 加入協会/日本証券業協会

詳しくは、お近くのりゅうぎん窓口までお問い合わせください。

琉球銀行

2024年5月1日 現在

沖縄県内の主要金融経済指標

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台 数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	21.2	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2023 5	10.6	7.1	8.4	▲ 3.5	69.8	8.5	14,118	2.8	115	▲ 14.8
6	▲ 3.0	3.1	3.6	▲ 10.4	36.3	4.2	22,582	▲ 55.0	159	27.8
7	8.1	9.4	8.3	▲ 0.8	1.9	4.9	44,353	68.0	99	5.0
8	8.8	8.6	7.6	11.8	3.2	▲ 13.3	26,976	▲ 32.3	97	▲ 15.3
9	8.5	6.8	7.5	6.6	19.5	14.5	73,429	150.2	107	▲ 7.5
10	11.8	6.6	6.9	3.5	15.1	8.2	22,851	▲ 23.0	145	2.4
11	5.3	5.1	5.4	2.7	6.1	3.5	30,627	78.9	89	▲ 47.0
12	2.0	3.2	3.8	3.2	▲ 8.1	7.0	17,812	58.8	139	3.0
2024 1	7.1	3.5	4.0	0.8	▲ 19.7	5.4	42,164	279.4	78	▲ 20.3
2	13.3	9.9	10.6	6.8	▲ 29.5	7.3	53,986	▲ 9.1	75	▲ 24.6
3	5.2	6.3	7.2	11.9	▲ 26.8	▲ 4.7	75,459	▲ 11.1	104	29.2
4	0.4	3.9	3.9	19.6	▲ 25.4	3.5	14,227	▲ 19.5	108	▲ 2.5
5	4.5	1.6	2.0	4.8	▲ 7.5	▲ 1.9	22,412	58.7	150	30.4
6	11.1	8.7	9.3	-	▲ 7.4	▲ 6.5	34,088	51.0	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 8.4	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 6.0	3.1	-	-	-
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	-	-	-
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	P14.6	▲ 2.5	-	-	-
2023 5	768	▲ 8.0	▲ 57.4	27.4	20.8	8.8	▲ 14.2	203.5	0.0	▲ 2.3
6	1,213	62.6	18.6	▲ 10.0	▲ 9.8	22.1	1.3	208.1	0.0	▲ 2.3
7	924	26.4	80.6	3.6	▲ 1.1	13.5	▲ 7.7	206.9	▲ 6.9	▲ 2.3
8	847	4.6	713.2	▲ 15.5	▲ 24.8	8.9	▲ 19.2	234.0	0.0	▲ 2.3
9	845	21.1	32.5	18.5	20.0	P30.4	7.2	245.2	6.9	0.0
10	747	15.3	▲ 6.4	10.9	4.9	P14.1	8.6	245.4	3.6	3.5
11	782	0.6	50.7	6.4	14.4	P35.5	▲ 0.5	250.5	▲ 10.7	▲ 0.1
12	1,102	7.3	135.0	▲ 10.1	▲ 7.2	P44.9	4.5	263.5	7.1	0.0
2024 1	768	▲ 14.2	▲ 73.8	0.4	▲ 1.5	P25.2	7.6	263.7	▲ 7.1	▲ 3.6
2	640	▲ 2.6	▲ 17.0	2.7	2.5	P34.2	21.1	261.1	0.0	0.0
3	638	▲ 4.8	201.5	▲ 8.7	▲ 12.0	P▲ 19.8	3.2	290.1	▲ 10.7	▲ 6.0
4	852	16.2	410.7	▲ 6.7	▲ 10.1	P6.4	5.3	288.0	▲ 3.6	▲ 4.8
5	804	4.7	36.0	▲ 0.3	▲ 0.8	P2.6	5.3	290.6	0.0	▲ 4.8
6	-	-	▲ 55.1	▲ 2.7	1.0	P0.1	▲ 2.5	281.5	0.0	▲ 1.2
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均＝100とする。

暦年	入域観光客数		入域観光客数 のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0	▲ 41.0	8.6
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	P62.9	3.3
2023 5	645.3	62.6	70.0	100.0	46.6	50.6	27.3	53.2	94.4	12.3
6	663.4	47.9	77.7	100.0		55.4	52.3	51.6	80.7	▲ 6.6
7	778.5	28.1	114.9	100.0	55.1	65.5	28.8	31.3	54.7	▲ 2.7
8	728.6	13.7	96.4	96,300.0	50.3	55.5	39.0	▲ 0.5	11.2	▲ 21.0
9	710.1	43.5	106.6	100.0	56.5	55.0	33.0	23.6	P43.5	9.4
10	788.4	25.0	115.5	4,177.8	60.8	64.9	18.4	12.7	34.2	▲ 5.5
11	688.0	11.9	90.9	651.2	57.8	57.4	▲ 6.1	▲ 1.4	23.9	▲ 0.1
12	666.6	5.0	95.1	189.9	63.9	47.7	3.8	▲ 4.8	15.6	0.5
2024 1	629.1	18.2	120.3	168.5	58.9	46.4	15.9	6.4	25.9	▲ 2.3
2	719.2	20.3	144.8	233.6	72.0	59.8	18.8	14.5	26.6	▲ 2.0
3	845.1	10.3	164.1	155.6	69.7	58.8	10.1	▲ 4.1	13.6	▲ 3.4
4	749.3	11.9	158.9	138.2	63.5	58.4	26.6	8.0	17.6	▲ 8.7
5	707.5	9.7	148.5	91.1	55.5	P50.2	17.6	P▲6.5	6.9	▲13.1
6	744.5	12.2	166.9	44.9	64.4	P58.4	19.5	P6.8	P6.1	▲ 6.4
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ					

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新 規 求人数 (県内)	広告 収入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.6	0.4	0.80	0.7	3.9
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6
2023 5	4	689	474.2	3.6	3.7	1.1	1.20	16.6	▲ 11.5
6	5	225	100.0	4.6	3.0	2.4	1.20	▲ 0.5	1.7
7	3	147	56.4	4.0	2.5	3.9	1.20	15.4	▲ 2.0
8	1	20	▲ 94.8	4.2	4.0	0.5	1.19	1.5	▲ 1.2
9	6	771	828.9	3.7	3.4	0.9	1.20	5.0	3.7
10	1	200	▲ 75.5	3.5	3.4	3.7	1.16	1.4	6.0
11	4	239	218.7	3.6	3.2	3.1	1.11	▲ 7.2	▲ 7.1
12	2	110	▲ 82.2	3.6	2.9	1.3	1.13	0.2	▲ 4.1
2024 1	4	416	225.0	3.2	2.8	1.2	1.14	▲ 2.4	0.1
2	6	157	▲ 63.5	4.3	2.8	1.7	1.16	▲ 1.8	1.3
3	4	113	▲ 22.1	3.5	3.3	1.1	1.16	▲ 3.9	4.6
4	3	188	▲ 36.1	2.8	3.9	0.8	1.14	▲ 9.1	▲ 2.2
5	4	55	▲ 92.0	3.4	3.3	1.9	1.10	▲ 5.0	▲ 0.4
6	8	1,879	735.1	2.1	2.9	0.1	1.07	▲ 5.0	—
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		りゅうぎん 総研調べ	

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年＝100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2023年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
年度	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2021FY	2,825	2,906	▲ 80	1.356	58,716	4.1	58,037	4.1	41,033	0.5
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	2,533	3,903	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2023 5	155	419	▲ 264	1.333	61,841	2.8	61,098	2.7	41,518	1.5
6	187	286	▲ 98	1.329	62,029	2.1	61,274	2.0	41,570	1.6
7	196	279	▲ 83	1.325	62,316	2.3	61,590	2.2	41,630	1.6
8	246	364	▲ 117	1.325	62,275	2.4	61,531	2.4	41,559	1.3
9	167	418	▲ 251	1.325	62,215	2.8	61,480	2.8	41,799	1.3
10	209	323	▲ 113	1.327	61,897	2.2	61,174	2.2	41,641	1.2
11	258	352	▲ 93	1.328	62,021	2.4	61,242	2.4	41,766	1.2
12	352	181	170	1.318	61,973	2.3	61,202	2.2	42,233	1.9
2024 1	148	500	▲ 352	1.320	61,654	2.5	60,873	2.4	42,248	1.9
2	161	178	▲ 139	1.317	61,590	2.3	60,821	2.1	42,428	1.9
3	183	362	▲ 179	1.297	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
4	246	307	▲ 61	1.317	63,353	2.4	62,633	2.4	42,615	2.7
5	166	489	▲ 323	1.321	63,137	2.1	62,331	2.0	42,700	2.8
6	-	-	-	-	-	-	62,838	2.6	42,858	3.1
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
年度	億円	前年比	億円	前年比	2015年=100	前年比	百万円	百万円
2021FY	10,428	1.0	3,005	4.9	-	-	44,890	126,238
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	-	-	75,417	302,815
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	-	-	52,671	288,310
2023 5	10,569	1.2	2,977	▲ 0.1	72.8	2.8	1,147	10,583
6	10,501	0.7	2,971	▲ 0.1	72.9	▲ 0.4	1,429	20,164
7	10,465	1.2	2,969	▲ 0.3	70.4	0.3	1,943	47,767
8	10,287	▲ 3.7	2,964	▲ 0.5	68.8	▲ 0.5	1,326	36,444
9	10,238	▲ 4.6	2,961	▲ 0.7	78.7	7.8	2,555	15,641
10	10,321	▲ 3.7	2,953	▲ 1.4	72.9	1.1	1,620	17,430
11	10,285	▲ 4.3	2,954	▲ 1.2	77.0	13.2	7,894	50,581
12	10,241	▲ 4.6	2,946	▲ 1.7	73.3	4.3	1,380	12,960
2024 1	10,203	▲ 4.9	2,936	▲ 2.2	83.7	11.6	2,138	14,788
2	10,211	▲ 4.8	2,924	▲ 2.4	84.2	11.3	1,691	16,725
3	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	80.7	4.4	16,581	10,902
4	10,144	▲ 4.5	2,885	▲ 3.4	76.5	6.2	4,260	20,379
5	10,079	▲ 4.6	2,856	▲ 4.1	74.4	2.2	2,123	19,958
6	10,018	▲ 4.6	2,841	▲ 4.4	-	-	7,384	25,091
出所	沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。 2019年4月より2015年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。

りゅうぎんポイントサービス



ポイント数に応じて
サービスいろいろ!

とくとく特典!

特典
1

ATM時間外手数料が
無料! ※当行ATM
利用時のみ

特典
2

当行本支店間の振込手数料が
無料! ※キャッシュカード
使用時のみ

ポイントサービスとは

日頃お世話になっているお客さまに対し、毎月のお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて手数料割引または金利優遇等の特典が受けられるサービスのことをいいます。

シルバーコース **50point** 以上 ゴールドコース **100point** 以上 エクセレントコース **200point** 以上

ポイントサービスのお申し込みがまだの方は、店頭
のポイントサービス申込み用紙にご記入のうえ、窓
口または郵便にてお申し込みください。



お問い合わせは右記のフリーコールまで **0120-19-8689** 受付/9:00-17:00
(銀行休業日は除きます)

特集レポートバックナンバー

■令和4年

12月 No.638 経営トップに聞く 株式会社沖縄スイミングスクール
(RRI no.197) 企業探訪 株式会社アイノン
特集1 沖縄のSociety5.0を考える
特集2 本土復帰後の50年における県内個人消費の
動向について

■令和5年

1月 No.639 経営トップに聞く 株式会社ゆがふホールディングス
(RRI no.198) 特集1 沖縄のSociety5.0を考える
特集2 沖縄県における借家世帯の動向について
特集3 沖縄県経済2022年の回顧と2023年の展望

2月 No.640 経営トップに聞く 株式会社 光貴
(RRI no.199) 特集1 沖縄のSociety5.0を考える
特集2 本土復帰後の県内観光の動向

3月 No.641 経営トップに聞く 株式会社開成
(RRI no.200) An Entrepreneur 合同会社ブラッサム
特集 沖縄のSociety5.0を考える

4月 No.642 経営トップに聞く 株式会社沖縄環境保全研究所
(RRI no.201)

5月 No.643 経営トップに聞く 株式会社A&S
(RRI no.202) 特集1 県内ゴルフ場の状況とゴルフツーリズムの可能性
特集2 2022年度の沖縄県経済の動向

6月 No.644 経営トップに聞く 一般社団法人OGU未来者
(RRI no.203) 特集1 okinawa society5
特集2 沖縄県の主要経済指標

7月 No.645 経営トップに聞く 株式会社 長嶺産業
(RRI no.204) 特集1 沖縄におけるサイクリスト誘客効果の推計
特集2 okinawa society5

8月 No.646 経営トップに聞く 三栄工業株式会社
(RRI no.205) 特集1 沖縄県内におけるレンタカー業界の動向と
充足率推計
特集2 コロナ禍での県内景気と労働市場の動向

9月 No.647 経営トップに聞く 株式会社すこやかホールディングス
(RRI no.206) 特集1 県内の観光目的税導入を巡る動向と導入に
向けた提言
特集2 沖縄県内における2023年プロ野球
春季キャンプの経済効果

10月 No.648 経営トップに聞く 株式会社琉球光和
(RRI no.207) 特集 okinawa society5

11月 No.649 経営トップに聞く 株式会社仲本工業
(RRI no.208) 特集 防衛省関連予算の推移と経済効果について

12月 No.650 経営トップに聞く 社会医療法人仁愛会
(RRI no.209) 特集1 県内の一般廃棄物処理の状況と資源循環
(リサイクル)推進に向けた提言
特集2 沖縄県と全国の所得格差についての分析

■令和6年

1月 No.651 経営トップに聞く 医療法人HSR
(RRI no.210) 特集1 県内在留外国人の動向と多文化共生社会の
実現に向けた提言
特集2 沖縄県経済2023年の回顧と2024年の展望

2月 No.652 経営トップに聞く 琉球フットボールクラブ株式会社
(RRI no.211) 特集1 沖縄県の労働需給問題について
特集2 高齢化による沖縄の社会経済の構造変化

3月 No.653 経営トップに聞く 株式会社レイメイコンピュータ
(RRI no.212) 企業探訪 株式会社立神鐵工所
特集1 沖縄県内におけるカーシェアリング市場の動向
特集2 労働基準法改正が県内企業に及ぼす影響
(2024年問題)

4月 No.654 経営トップに聞く ニッシン株式会社
(RRI no.213) 特集 台湾における自転車利用促進に向けた取組み

5月 No.655 経営トップに聞く 琉球スポーツアカデミー株式会社
(RRI no.214) 特集1 宮古島の観光と水問題について
特集2 沖縄県のデジタルツイン実現に向けた 3D
都市モデル整備と活用促進
特集3 2023年度の沖縄県経済の動向

6月 No.656 経営トップに聞く 学校法人興南学園
(RRI no.215) 企業探訪 株式会社佐佐美
特集1 沖縄県の主要経済指標

7月 No.657 経営トップに聞く 株式会社日進商会
(RRI no.216) 特集1 ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナ
メント開催が沖縄にもたらす効果
特集2 県産品利用実態アンケート調査にみる製造
業振興に向けた課題と提言

バックオフィスから 働き方改革はじめませんか？

あなたの会社は大丈夫ですか。

バックオフィスは利益に直結する業務がないため、後回しにされがちです。そのため、いまだにタイムレコーダーのデータ集計や給与計算を手で行っていたり、年末には従業員に年末調整の用紙を配付したりと負担が大きいままです。



バックオフィスのIT化ができるシステムを多数取り扱いしています。

勤怠管理

給与計算

人事・労務

販売管理

会計

その他

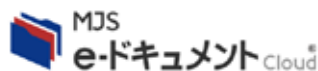


その他取り扱いしておりますので
お気軽にご相談ください

電子帳簿保存法の対応はお済みでしょうか。

2024年1月1日から適用

電子データで授受した請求書・領収書・注文書等は一定の要件を満たした上で電子データによる保存が求められます。



月額4,980円～ コスパの高いクラウドサービス・各種プランをご用意しております。

電子取引は無いけど、文書を電子保管したいだけの方にもおススメです。

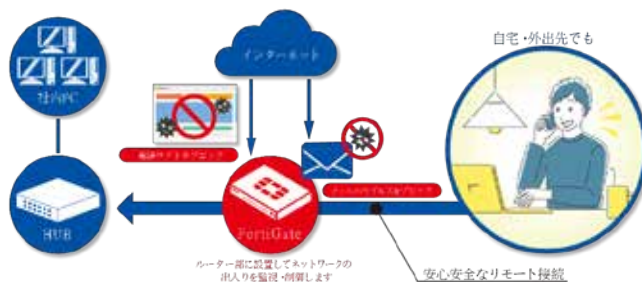
「FortiGate」で安心・安全なテレワークを始めませんか。

「FortiGateシリーズ」は、企業のインターネットゲートウェイに必要な9つのセキュリティ機能を一台で実現するUTMとして、世界シェア首位、日本市場でもシェアは70%を超えています。

UTM (統合脅威管理機能) 対応
次世代ファイアウォールを導入することで



会社のセキュリティ強化と
安全なテレワーク環境構築を実現！



お客様のニーズに合わせた提案をはじめとし、導入からその後の運用までしっかりサポートいたします！
お気軽にお問い合わせください。



沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号
琉球リースビル総合ビル11階

お問い合わせはこちらから
システムソリューション部

☎ 098-869-5003

平日9時～17時受付

WEBサイトからも
お問い合わせ頂けます

リウコム

検索



りゅうぎん調査

No.658

令和6年8月13日発行

発行所：株式会社りゅうぎん総合研究所
〒900-0025 那覇市壺川1丁目1番地9
りゅうぎん健保会館3階
TEL 835-4650 FAX 833-3732
印刷：沖縄高速印刷株式会社